

# 官報號外

大正十一年二月十九日 日曜日

印 刷 局

## 第45回 衆議院議事速記録第十四號

大正十一年二月十八日(土曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十三號 大正十一年二月十八日

午後一時開議

第一回 (第二號) 大正十一年度歳入歳出總豫算追加案

第二回 露國政變及西班牙事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

第三回 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四回 和賀輕便軌道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第五回 道路法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六回 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七回 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八回 六大都市行政監督ニ關スル法律案(政府提出)

第九回 少年法案(政府提出)

第十回 縣正院法案(政府提出) 第一讀會

第十五回 未成年者飲酒禁止法案(根本正君外四名提出)

第十二回 身元保證ニ關スル法律案(上島益三郎君外二名提出)

第十三回 家產法案(上島益三郎君提出) 第一讀會

第十四回 裁判所構成法中改正法律案(大道寺慶男君提出) 第一讀會

第十六回 民事訴訟法中改正法律案(大道寺慶男君提出) 第一讀會

第十七回 軍備縮少ニ基因シテ生スヘキ失業勞働者ノ善後ニ關スル建議案(大岡育造君外二十九名提出)

第十八回 小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案(本田恆之君外七名提出)

第十九回 市町村教育費國庫負擔額增加ニ關スル建議案(鶴澤總明君外一名提出)

第十八回 小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案(本田恆之君外七名提出)

第十九回 市町村教育費國庫負擔額增加ニ關スル建議案(鶴澤總明君外一名提出)

第二十回 決議案(中野正剛君提出)

第二十二回 (特別報告第一號) 城内郵便局ニ電信、電話事務開始ノ請願 (委員長報告)

第二十三回 (特別報告第二號) 五日町郵便局ニ電話事務開始ノ請願 (委員長報告)

第二十四回 (特別報告第三號) 神邊ニ福山區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第二十五回 (特別報告第七號) 大田、荒原間鐵道敷設工事ニ關スル請願外一件 (委員長報告)

第二十六回 (特別報告第八號) 小松島町、後免町間(阿土海岸線)鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第二十七回 (特別報告第九號) 彼杵、武雄間鐵道新設ノ請願 (委員長報告)

第二十八回 (特別報告第十號) 酒田町、觀音寺村間輕便鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第二十九回 (特別報告第十一號) 元寇殉難將士 / 祀靈並史蹟保存ノ請願 (委員長報告)

第三十回 (特別報告第十二號) 青年局急設ノ請願 (委員長報告)

第三十一回 (特別報告第十三號) 富士山ヲ國立大公園ト爲スノ請願 (委員長報告)

第三十二回 (特別報告第十四號) 鴛泊漁港修築ノ請願 (委員長報告)

第三十三回 (特別報告第十六號) 鐵術灸瘻醫師法制定ノ請願 (委員長報告)

第三十四回 (特別報告第十七號) 軍人恩給並扶助料增加ノ請願外八件 (委員長報告)

第三十五回 (特別報告第十八號) 大保村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十六回 (特別報告第十九號) 沼江郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)

第三十七回 (特別報告第二十號) 洞戶郵便局ニ電話架設ノ請願 (委員長報告)

第三十八回 (特別報告第二十一號) 宇久島平戸島間海底電線敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十九回 (特別報告第二十二號) 黒木村ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十回 (特別報告第二十三號) 池田村ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)

第四十一回 (特別報告第二十四號) 田名部町ニ區裁判所設置ノ請願 (委員長報告)

第四十二回 (特別報告第二十五號) 羽田村ニ水澤區裁判所設置ノ請願 (委員長報告)

第四十三回 (特別報告第二十六號) 和寒村ニ名寄區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第四十四回 (特別報告第三十號) 鐵道敷設法ノ確定並鐵道既定線ノ敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第四十五回 (特別報告第三十一號) 白濱北條間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第四十六回 (特別報告第三十二號) 田島、古町間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第四十七回 (原田書記官朗讀) 一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大正九年度豫備金支出ノ件

大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正九年度大正三年臨時事件

豫備費支出ノ件

(以上二月十七日提出)



春日君ハ醜穢ナル言辭ヲ發シタルコト、及又議長ノ命令ニ抗拒致シタト云フコトニ付キマシテ、一ツノ茲ニ懲罰事犯トモナルベキ事實ヲ產出シテ居ルト云フ事ハ、洵ニ明瞭ナル事實ニアリマス、幸ニ清瀬一郎君ガ、第一ノ事實ニ付キマシテハ、之ヲ懲罰委員ニ附スルト云フコトノ動議ヲ提出致シマシテ、只今申ス如ク與黨ノ諸君、春日君ガ席ヲ置キマスル所ノ政友會ノ諸君モ、滿場一致ヲ以テ之ニ賛成セザルベカラズコト程、左様ニ立派ニ此動議ガ成立致シマシタコトデアリマスルガ、併シ吾ニカラ考ヘテ見マスルト、此場合ニ於キマシテ、議長ノ處置ト致シマシテハ、只今申ス通り第一及第二ノ所為ニ對シマシテ、適當ナル處置ヲシナケレバナラヌ、議長ハ此場合ニ於テ怠慢、或ハ不公平、若クハ故意ノ過失力ニ依リマシテ、其處理ヲ執ラナカッタ云フ非難モ、到底免ルルコトハ出來ナイト云フコトヲ確信スルノアリマス(拍手)

其當時ニ於ギマシテ、我黨ノ小泉又次郎君ハ、此事實ニ關シテ、議長ニ對シテ警告的質問ヲ發シタ云フコトモ、是亦速記ニ依テ寔ニ明瞭ナル事實ニアリマス、然ルニ此事實ニ對シマシテ、議長ハ取消命令ナルモノハ官報ノ速記ニ取消ヲ命ズルノアルソレ故ニ議長ノ命令ノ效果ハ、必ず實現サル、コト、信ジマス、斯ウ云フコトニ依リマシテ、唯官報カラ是ガ取除カレタナラバ即チ宜シイ、是ダケノ御満足ヲ以テマシテ、此事件ヲ終局セラル、ヤウニ致シタコトニアリマスガ是ハ甚ダ本員共ノ敬服ノ出來ザル點ニアリマス、少クトモ此第二ノ命令抗拒ト云フ事實ニ對シマシテハ、議長ハ相當ナル處置ヲ執ラナケレバナラヌ、國民黨ノ清瀬君ノ動議ナルモノハ是亦速記ニ明ニナシテ居リマスガ如ク「レハ備措

キ議員一人ニ對シ、斯ノ如キ亂暴狼藉ナル言ヲ爲ス者ハ此事實ニ依リマシテ、彼ノ醜穢ナル事實ニ依リマシテ之ヲ懲罰委員ニ付スベシト云フ動議ニ限局サレテ居ルコトモ淘ニ明テアリマスソレ故ニ議長ハ只今申ス如ク、一度マデモ發シタレ命令不行ハレサルコト、即チ春日君ガ之ヲ抗拒致シタト云フ事實ニ對シマシテハ、適當ノ處置ヲ執ラナケレバナラヌ、然ルニ議長ノ態度ハ、只今申上ダマシタル百四十條ノ解釋ヲ以テ満足致シマシテ、春日君ニ對スル態度ガ甚ダ寛容アリシコトハ、寔ニ争フベカラザル事實アフル、議長ハ斯ノ如キ二回ニ及ブ所ノ命令抗拒ト云フ事ヲ以テ、之ニ對シテ法律或ハ規則ノ命ズル所ニ依リマシテ、適當ナル處置ヲ執ルノ必要ナシ、即チ斯ノ如キ事實ヲ重大視スル程ノ必要ナナイモノアルト云フ御答アルヤ否ヤ、言換レバ——寧口之ヲ露骨ニ言ヒマスレバ、斯ノ如キ行爲ハ議長ノ平生

フ云フ譯ニアリマセウカ、此點ヲ第一ニ伺ヒタイ、ソレカラ又シテ、只今申ス如ク與黨ノ諸君、春日君ガ席ヲ置キマスル所ノ政友會ノ諸君モ、滿場一致ヲ以テ之ニ賛成セザルベカラズコト程、左様ニ立派ニ此動議ガ成立致シマシタコトデアリマスルガ、併シ吾ニカラ考ヘテ見マスルト、此場合ニ於キマシテ、議長ノ處置ト致シマシテハ、只今申ス通り第一及第二ノ所為ニ對シマシテ、適當ナル處置ヲシナケレバナラヌ、議長ハ此場合ニ於テ怠慢、或ハ不公平、若クハ故意ノ過失力ニ依リマシテ、其處理ヲ執ラナカッタ云フ非難モ、到底免ルルコトハ出來ナイト云フコトヲ確信スルノアリマス(拍手)

○森田茂君 只今ノ御説明ニ依リマシテハ、益々私ハ議長デアルト致シマスレバ、是ハ衆議院規則第百四十條ニ對シマスル所ノ誤解ニアリハシナイカ、斯ウ云フ事が又伴ヒマシテ、議長ノ御説明ヲ得ナケレバナラヌノアリマス、サレバ私はシマシタ如ク、我黨ニ對シテハ頗ル懲罰權ヲ濫用スル、而シテ與黨ニ對シテハ、甚ダ其偏頗ナル御處置ヲ執ラレルト、斯ウ云フ非難ハ此事實ニ依テ寔ニ明瞭セラル、モノアアルト考ヘル次第ニアリマス(拍手)是ハ議場ノ神聖ノ爲ニモ、亦議長ノ尊嚴ノ爲ニモ、此場合遺憾ナキ御説明ヲ承ルト云フコトハ當然アラウト考ヘマス、殊ニ此言ヲ爲シマスルノハ、是非私ノ唯一家言ニアラズシテ、本日ノ各新聞等ヲ御覽二十リマシテモ分リマス如ク、是レ議長ノ偏頗ナル處置ニアリマシテ、議長ハ今日ヨリモ尚且ツ適當ナル處置ヲ執ルト云フコトヲ、何レノ新聞モ言ウテ居ルヤウニ私ハ見テ居ル、云ハシマシタハ、法律ノ誤解デアルカ、或ハ他ニ之ヲ重大視スル程ノ必要ガナイト、斯ウ云フヤウニ御考ニナシタモノナルモノハ是亦速記ニ明ニナシテ居リマスガ如ク「レハ備措

○議長(奥繁三郎君) 森田君ノ質疑ニ一言御答致シマス、議長ハ春日君ノ發言ノ或ル一齣ノ取消ヲ命ジマシタ、速記ニアル通り——而シテ春日君ハ私ノ述ベタ事ハ事實アリマスト言ハレマシタ故ニ、事實ノ有無ヲ問ハズ取消ヲ命ジマシタ、其後デ春日君ハ取消ハ致シマセストカ、應ジマセストカ云フヤウナ發言ガアタコトモ、耳ニ致シマシタケレドモ、アリマスルカ、詳シク御説明ヲ得タイト思フ 次第ニアリマス(拍手)

(三)

○議長(奥繁三郎君) 森田君ノ質疑ニ一言御答致シマス、議長ハ春日君ノ發言ノ或ル一齣ノ取消ヲ命ジマシタ、速記ニアル通り——而シテ春日君ハ私ノ述ベタ事ハ事實アリマスト言ハレマシタ故ニ、事實ノ有無ヲ問ハズ取消ヲ命ジマシタ、其後デ春日君ハ取消ハ致シマセストカ、應ジマセストカ云フヤウナ發言ガアタコトモ、耳ニ致シマシタケレドモ、アリマスルカ、詳シク御説明ヲ得タイト思フ 次第ニアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 森田君ハ昨日執ツタ處置、ソレニ

付テドウ云フ考デアタカト云フ御尋デゴザイマシタカラ、今

セナカッタノアリマス、而シテ今森田君ノ御尋ノ取消ト云

フコトニナシテ居リマス、サウスレバ是ハ議長ノ命令ハ行ハレ

タコトニナシテ居ル(ノウ——ト呼フ者アリ)ノウ——ハアナタ

方ノ御考、議長ハ斯ウ考ヘマシタカラ、此上春日君ヲ追窮

ニ付シテ、議長ガ命令致シマシタハ、速記ニ載セナイト云

フコトニナシテ居リマス、サウスレバ是ハ議長ノ命令ハ行ハレ

タコトニナシテ居ル(ノウ——ト呼フ者アリ)ノウ——ハアナタ

方ノ御考、議長ハ斯ウ考ヘマシタカラ、此上春日



於テ、被害者若クハ關係者ニ相當ノ救恤ヲ致シテ、因テ以テ他日彼等ノ露國內若クハ露支國境ニ於テ發展ヲ致シマスル地歩ノ便ニ供セント致ス。次第アリマス、此救恤金ノ總額ハ日露戰役當時、個人損害申請者ニ對シマスル救恤ノ先例ヲ追ヒマシテ、大凡金額百五十万圓以内ト致シマシテ此爲ニ救恤審査會ヲ設ケテ、詳細嚴密ナル調査ヲ遂ゲテ各個々ノ場合ニ付テ救恤スペキ程度ノ金額ヲ定メル苦デゴザイマス、以上ノ趣意ニ依テ本案ヲ提出致シマシタルニヨリ、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレントヨリ希望致シマス(拍手)。

○議長(奥繁三郎君) 本案ニ對シマシテ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、荒川五郎君

(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 諸君、西比利亞引揚被難民ノ救濟ニ付キマシテハ、昨年來私共政府ニ交渉致シマシテ、彼等身ヲ以テ纔ニ生命ヲ免レテ居リマスル同情スペキ人ニ對シテ、一日モ速ニ救濟セラレタイト云フコトヲ警告シ追テ居タノデアリマス、然ルニ爰ニ殆ンド滿二年ヲ經タル今日、漸ク此案ガ出マシタコトハ、洵ニ遇々トシテ手緩ルイト言ハナケレバナラヌ、抑、西比利亞ニハ明治四年ヨリ弗ト日本入ガ入リ込、マシテ、日露戰爭後ニハ大ニ發展致シタノアリマス、彼等勇士ハ母國ヲ離レテ遠ク異域奥地ニ入り、或ハ荒涼不毛ノ地ニ進ミマシテ、惡戰苦闘シテ漸次其基礎ヲ造リ我が國民ノ平和的發展ノ先驅ヲ爲シタ者アリマス、國家國民ハ大ニ尊敬ヲ拂ヒ、彼等前途ニハ出來得ル後援ヲシナカレバナラヌノアリマス、然ルニ一朝出兵致シ、且ツ無謀ノ駐兵ヲ致シ、ソレガ爲ニ却テ急遽匆忙トシテ是等ヲ引揚ダレシテ、意外ニモ巨大ノ困難不幸ヲ與ヘ、流離顛沛今日ノ窮狀ニ陥レマシタコトハ、實ニ政府ノ無謀ノ出兵、駐兵ノ罪デアルノアリマス、「ノウ」「ト呼フ者アリ」洵ニ掬同情ノ涙ニ堪ヘナイ次第アリマス、政府ハ今ヤ漸ク其罪ヲ悟テ、昨年遣支議員トシテ哈爾賓ニ參リマスルヤ、到ル處ニ多ク生ジタル費用ヲ國家が負ヒ、國民ノ膏血ヲ以テ其罪ヲ塗ラントスルコトハ、洵ニ是レ遺憾ノ至リテハアリマセヌカ、私ハ昨年遣支議員トシテ、其事實、實ニ間キシニ優ルノ避難民ノ窮状ヲ訴ヘル有様、而シテ只今ノ御説明三体レバ、是殘酷慘絶ノ有様アルノアリマス、而シテ其損害高ナドモ既ニ政府ニモ調ハッテ居ルコト、思ヒマスルノニ、本案ニハ只今外務大臣ノ御説明ノ如ク、僅ニ五十万圓以内ヲ限テ救濟スルト云フノアリマス、而シテ只今ノ御説明三体レバ、是ハ日露戰爭ノ當時ノ引揚民ト此度ノ西比利亞引揚民ハルガ、日露戰爭當時ノ引揚民ト此度ノ西比利亞引揚民ハ全ク事情ガ違フノアリマス、政府ハ如何ニ此金額ノ目安

ヲ出サレタモノニアリマスカ、此中ニハ尼港ノ慘状、ソレ等ノ救濟モ籠テ居ルト思ヒマスガ、果シテサウデアレバ、露西亞ノ政情安定ノ上ハ、露西亞ニ對シテ請求スペキモノモ多々アリト思フノアリマスガ、ソレ等モ此中ニハ舍シテ居ルノデアリマスカ、全體此引揚ノ仕方ト云フモノハ、恰モ敗戦ノ大軍ガ潰エ走ルカ如ク、國民ハ殆ド坐ル隙ナク、立ツニ隙ナキ有様ヲ以テ引揚ゲタヤウナ有様アリマス、諸君一例ヲ舉グレバ「ハバロフスク」ノ引揚ゲ「ハバロフスク」ハ浦潮ヨリ日本ノ里數ニ一百里許リアル所アリマス、其州ノ首府デ總テノ機關モ備テ、又我國ノ人モ中ミ發展致シテ居リマシテ、商業會議所モ、帝國銀行、露西亞銀行、其他ノ銀行モ數箇、商業會議所、日本商工會ト云フヤウナモノモアリテ、非常ニ發展シテ居タノアリマスガ、西比利亞ノ政情幾分カ危險ヲ感ズルニ至テ、ソレ等商工會等ハ引揚ゲキカ、如キニスベキカヲ協議シテ居ル所ヘ、大正七年八月ニ我が出兵ニシテナカルト共ニ、彼等居留民ハ此所ニ安ンヅルヲ得、又政府ニ於テハ新ニ此所ニ領事館ヲ置キソレカラ朝鮮銀行ノ支店モ開キ、有ユルカヲ注ガレタモノニアリマスカラ、サナキタニ發展シテアル此「ハバロフスク」ノ如キハ、非常ニ盛ニナリツ、アタノアリマス、露西亞人モ非常ニ我ヲ信賴致シテ、「ハバロフスク」ノ露西亞市會ニ於テハ、我ガ朝鮮銀行ノ支店長、其他日本ノ實業家ヲ聘シテデアリマスカラ、サナキタニ發展シテアル此「ハバロフスク」ノ如キハ、非常ニ盛ニナリツ、アタノアリマス、露西亞人モ非常ニ我ヲ信賴致シテ、「ハバロフスク」ノ露西亞市會ニ於テハ、我ガ朝鮮銀行ノ支店長、其他日本ノ實業家ヲ聘シテ特ニ市會ニ列シサセテ、サウシテ「ハバロフスク」ノ商業上ノ問題ヲ會議ラシタ云フヤウナ有様、進シテハ日本商工會ヘ露西亞人民モ加ハラシテ貴ヒタイト云フノデ、日本商工會ヲ日露商工會トマデシヤウト云フコトナシタノアリマス、然ルニ大正九年ノ三月、遽然トシテ茲ニ撤兵ノ方針ヲ執リ直ニ是等ノ居留民ニ對シテ引揚ゲセシメラレル、是迄僅カ數日前マテハ此至レル保護ニ安心シ、露西亞人モ安心シテ賴タ其モノガ、大正九年三月二十六日、二十九日此兩日ニ直ニ引揚ゲサセラレルコトニナリマシテ、我ガ居留民ハ賣掛代金ノ取集ノドコロデハアリマセヌ、開イタ農園ノ收穫下コロデハアリマセヌ、家ヲ疊ミ、店ヲ疊ム追モアリマセシテ、我身ノ廻リスラ之ヲ片付ケルコトガ出来ナリ、有様アリマシテ、其當時ノ命令ニハ、僅ニ手廻品ハ三個ニ限ル、僅ニ三箇月バカリヲ經テ、四月ノ末ニハ更ニ我軍隊ハ其所ニ駐シタク、其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府ノハ、全ク政府無謀ノ出兵、無謀ノ駐兵ノ其結果ナル罪ニ外戰争ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府ナラヌノアリマス(拍手)。本案ハ即チ其政府ノ謝マリ證文ヲ此法律ヲ以テ出シタモノアリマス、吾ニハ斯ル事情ニ對シテ、年苦心經營以テ築キ上ダタ其根據ヲ失ヒ、斯ル困難ニ陥タ易ナラヌ巨額ニ達シテ居ルノアリマス、是等ハ決シテ日露多ク哈爾賓ニ集テ食フニ食無ク、若ルニ衣無キヤウナ有様ニ合ニ官憲ガ深切アッタ認メラレテ、他ノヤウニ困難不平ヲ懇フル事情ハ少ナイヤウデアルガ、ソレデスマラ之ニ猶豫ヲ與ヘズシテ、直ニ之ヲ追拂ヒテ歸ラシメ、是等多クノ者ハ今ヤ多ク哈爾賓ニ集テ食フニ食無ク、若ルニ衣無キヤウナ有様ニ陷テ居ルノアリマス、是等引揚難民ノ狀況ハ、既ニ昨年來請願委員會、其他ニモ現レテ居リマスガ、其金額ハ中ミ容易ナラヌ巨額ニ達シテ居ルノアリマス、是等ハ決シテ日露戰争ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府ガ兵ヲ出シテ安心ヲ與、兵ヲ以テ追拂ヒ、而シテ彼等ハ多シタル根據ヲ見捨テ、彼等ハ憐ニモ此所ヲ引揚ゲルニ至シタノアリマス、然ルニソレガ三月ノ事アリマシタノニ、僅ニ一年内定ムル云フコトハ、洵ニ其事情ニ逆タル、實際三距リタルコロデハアリマセヌ、家ヲ疊ミ、店ヲ疊ム追モアリマセシテ、其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府モト謂ハナケレバナラヌ、政府ガ茲ニ唯百五十万圓ト限ラタル其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府ノ責任ニ關スル事ニモ含シテ居ルノアリカ、其等ノコトモ此際其説明ヲ請ヒマス

(國務大臣伯爵内田康哉君登壇)  
○國務大臣(伯爵内田康哉君) 荒川君ノ御質問ニ答ヘテタル根據ヲ見捨テ、彼等ハ憐ニモ此所ヲ引揚ゲルニ至シタノアリマス、然ルニソレガ三月ノ事アリマシタノニ、僅ニ一年内定ムル云フコトハ、洵ニ其事情ニ逆タル、實際三距リタルコロデハアリマセヌ、家ヲ疊ミ、店ヲ疊ム追モアリマセシテ、其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府モト謂ハナケレバナラヌ、政府ガ茲ニ唯百五十万圓ト限ラタル其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府ノ責任ニ關スル事ニモ含シテ居ルノアリカ、其等ノコトモ此際其説明ヲ請ヒマス

○國務大臣伯爵内田康哉君登壇)  
○國務大臣(伯爵内田康哉君) 荒川君ノ御質問ニ答ヘテタル根據ヲ見捨テ、彼等ハ憐ニモ此所ヲ引揚ゲルニ至シタノアリマス、然ルニソレガ三月ノ事アリマシタノニ、僅ニ一年内定ムル云フコトハ、洵ニ其事情ニ逆タル、實際三距リタルコロデハアリマセヌ、家ヲ疊ミ、店ヲ疊ム追モアリマセシテ、其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府モト謂ハナケレバナラヌ、政府ガ茲ニ唯百五十万圓ト限ラタル其根據茲ニ是等ハ曩ニ申シタ「ニコライウスク」其他露國政事ノ避難民ト同様ニスベキモノデハナイノアリマス政府ノ責任ニ關スル事ニモ含シテ居ルノアリカ、其等ノコトモ此際其説明ヲ請ヒマス

浦 二方面ノ政情未ダ安定ヲ告ダマセヌカラシテ、他ノ方面ニ於テ二万内外ノ兵ヲ尙ホ驅メナラニ次第デアル、  
最初七万何千ノ兵ヲ出シタモノヲ、漸次撤退シタ次第デア  
リマス、此撤兵ニ伴ウテ起リマスル所ノ我が國民ノ引揚、即  
チ本日此救恤ニ關スル法律案ヲ出シマスコトニナシク次第  
デアリマスカ、是ハ海ニ已ムヲ得ヌ次第デアル、唯荒川君ハ  
何カ政府ガ強制的ニ命令ヲ下シテ引揚ゲシメタト云フコト  
ヲ言ハレマスカ、是ハ大變間違シテ居ル、之ニ根據シテ、政府  
ハ當然其損害ヲ賠償スル義務ガアルト云フ御論断ノヤウデ  
アリマスカ、是ハ私ハ間違シテ居ル、事實ニ於テ間違シテ居ル、  
政府ハ決シテ退去ヲ命令シタノデアリマセヌ、併シ軍が引揚  
レバ、其所ヘ留シテ居ルト云フコトハ、甚ダ危險ニ感ジマスカラ  
シテ、寧ロ引イタ方ガ宜シトイト云フ忠告ヲ與ヘタ、併シ中ニ  
自分ノ責任ヲ以テ、自分ノ危險ヲ冒シテ、踏留マル者マデモ  
無理ニ引揚ゲタノデハナイ、之ガ即チ政府ニ於テ是等ノ損  
害ヲ賠償スル義務ガ無イト私ガ申シタ所以デアリマス、海ニ  
引揚ダザルヲ得ナイヤウニナシタ我國民ニ對シテ同情ニ堪ヘ  
ナイ次第デアリマス、併シ是等ニ政府ガ一々賠償スル義務  
ハ當然執ルコトガ出來ナイ、即チ救恤金ノ形ニ於キマシテ、  
我が財政ノ許ス範圍ニ於テ、出來得ル限り同情ヲ表シタイ  
ト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、ソレ尙ホ其救恤ヲ致  
シマスル事件ニ付キマシテハ、寧ロ是ハ私ハ委員會ニ於テ、詳  
細ニ御話フシタ方が宜カラウト思フ、併シ大要ヲ申上げマス  
レバ、無論尼港ノ分モ此中ニ這入シテ居リマス、又漁業ニ關  
スル分モ這入シテ居リマス、其他各地方ニ設在シテ居ル各我  
ガ臣民ヨリ頗出マシタ件數ノ如キハ、殆ド七百八十一件ニ  
達シテ居ルヤウナ譯デアリマス、デ勿論是等ニ對シテ十分ナ  
ル救恤ヲ致シタイトハ思ヒマシタレドモ、是ハドウモ思フヤウ  
ニイカヌ話デアリマス、ソコデ何カ標準ヲ取ラナケレバナラヌ  
ノデアリマスカラシテ、之ヲ曰露ノ場合ノ例ニ取シタ譯デアル、  
日露ノ場合ト今日ノ場合トハ、大變事情が違シテ居ルト云  
フコトヲ御話デアリマシタケレドモ、私ハサウハ見テ居ラナイ、  
是モ荒川君ガ何カ今度ノ露國政變、若クハ西比利亞政變  
ニ對シテ、我ガ國民が引揚ダタノハ、政府ガ命令シタカラト  
云フ意味合カラシテ、其相違ヲ述ベラレタヤウデアリマスク  
レドモ、決シテサウ云フ次第ナシ、先刻私が申述べ通り  
デアリマス、日露ノ際ト、今日ノ場合ト、何等私ハ區別ヲスル  
必要ガナシ、唯其例ヲ取リマシタノハ、主ニ我ガ臣民ヨリ頗  
出デマシタル金額ニ對シテ、凡ソ此位ノ率デアレバ宜カラウ、  
ノ事ハ何レ委員會デ申上ゲマス(拍手)  
○議長(與繁三郎君) 高草 美代藏君

○高草美代藏君　私共モ本案ヲ審議スル上ニ付キマシテ、ク案ニ近寄リマシタ問題ヲ極ク簡單ニ御尋スルノアリマス、無論申スマデモアリマセス、此救恤ト云フ事ト、損害賠償ト言ヒマスル事ハ異ニテ居リマスノデ、只今提案ニナツテ居リマスル所ノ救恤金ト申シマスルモノハ、無論是ハ私共一時之ヲ救恤スルト云フ意味ニ解シテ居ルノダアリマス、所ガ此百五十万圓ノ救恤金ト申シマスル金額ハ、何ヲ基礎トシ、何ヲ標準トシテ之ヲ御出シニナツダモノカ第一ニ承リタインデアリマス、ソレカラ其次ニ私共ノ考デハ露國ノ政變ニ依リマシテ損害ヲ被リマシク高ト申シマスルモノハ、非常ナ金額ニ上ニテ居ルト考ヘルノデアリマス、多クノ損害者ノ中ニ一例ヲ舉ゲマシテモ御承知ノ通り「オコック」海ニ於キマスル所ノ此三十一ノ漁場ガ、悉ク「バルチザン」ニ破壊セラレタト云フコトハ、皆様御承知ニアラウト思フノデアリマス、是ハ倉庫若クハ漁具、漁船、其他色々設備ヲ致シタ物ガ悉ク焼拂ハレ、悉ク之ガ破壊セラレタノデアリマス、故ニ此一兩年下申シマスルモノハ、漁業ヲ爲スニ殆ド其資産ヲ盡シテモ出来ヌト云フ現狀ニアシタノデアリマス、是等ヲ考ヘテ見マシテモ、其損害ノ額ハ殆ド此三十一ノ漁場ノ「バルチザン」ノ爲ニ焼カレ、破壊セラレタト云フ金高ガ、殆ド七百三十万圓ノ高ニ上ニテ居ルト申ス程デアリマス、斯ウ云フ事カラ考ヘマスルト、陸三於テ亦水產ニ於キマシテモ殆ド幾千万圓ノ金額ノ損害ヲ確ニ被シタト思フノデアリマス、政府ハ是等ニ付キマシテ、如何ナル調査ガ出來テ居リマセウカ、モセ既ニ餘程ノ年數ヲ經テ居リマスルガ故ニ、綿密ニ御調査ガ出來テ居ラウト考ヘマスルカラ、此際序ニ是等ノ調査ヲ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、而シテ又此損害高ガ分、テ居リマスレバ、此損害ノ賠償ト云フコトニ付キマシテ、政府ハ露西亞ニ向ハレマシテ、交渉ヲ爲スニテ居ラル、カドウカ、尤モ先刻ノ説明ヲ承リマスルト、確カリシク政府ガ出來ナケレバムヅカシイト云フヤウナ御話モアリマシタガ、然レドモ御承知ノ通りニ、大連ニ於キマシテ先日來長ク色ニナ事ヲ此會議ニ於テ御交渉モ出來テ居ルノデアリマスカラ、矢張此漁業問題、其他ニ付キマシテモ損害ノ賠償ノ交渉ハ確ニ爲サルベキ責任ガアリ、又爲サッテ居ラル、事ト考ヘマスルガ、サウ致シマスレバ、其交渉ヲ致シテ居ラレマスル經過ヲ、此際御報告ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ其次ニ今回ノ此事件ニ依リマシテハ、御承知ノ通り軍人ヲ除キマスレバ、レバ實業者ト申シマスレバ、無論事農商務省ニ關係アル事項ガ多イノデゴザイマスカラ、外務省ハ農商務省二十分ノ交渉ヲ遂ダラシマシテ、此百五十万圓ノ救恤金ヲ御出シニナツ

○議長(奥繁三郎君)　内田國務大臣

長(奥繁三郎君) 内田國務大臣

○國務大臣（伯爵内田康哉君）只今ノ高草君ノ御質問ニ御答致シマスガ、此百五十万圓ヲ限ルト云フ事ニ致シタノハ、是マデ外務省ノ側ニ分テ居リマスル損害高、即チ被害者、若クハ關係者ヨリ頤出タ額デゴザイマス、ソレト外務省ノ方ニ於テ凡ソ其他ニモ此位ノモノガアラウト云フコトモ、算用ニ入レマシテ、先ツ百五十万圓デ宜カラウト、斯ウ云フ風ニ極メタ次第デアリマス、ソレハ尙ハ御質問ガアリマスカラ、此所デ内容ヲ申上ゲマスガ、其事ヲ申上ゲマスレバ、百五十万圓ノ出マシタ基礎モ御分リニナルダラウト思フ、ソレデ申請件數々、今日マデ外務省ニ來テ居リマスノハ、七百八十九件デアリマス、其金額ハ邦貨ニ致シマシテ二千五百九十七万九千二百十圓、ソレカラ英貨デ六万二千九百磅餘、又露貨デハ一千九百六十萬餘、斯ウ云フ事ニナツテ居リマス、是等ヲ總計致シマスレバ、三千万圓内外ニナツテ居ル次第デアル、ソレデ此中ニハ一般引揚民ノ分ガ、其申請ノ件數ガ七百六十九件ニナツテ居ル、其金額ハ邦貨ノ分ガ、千五百万圓餘、英貨ガ六万一千磅餘、露貨ガ千九百万餘ソレカラ尼港ノ分ニ付キマシテハ、多ク死亡ヲ致シマシタカラシテ、申請シテアル件數ハ甚グ少ナイ、先ツ六件デゴザイマス、其金額ハ四百六十五万圓餘ニナツテ居ル、ソレカラ漁業ニ關スル分ガ、是ハ即チ高草君ノ言ハレマシテ「オコソク」方面ニ損害モ含マシテ居ルモノト思ハレル、是ガ七百十何万ニナツテ居ル次第デアリマス、ソレデ申請金額ヲ總計致シマスレバ、斯ノ如ク多額ノ金ニナツテ居ル、果シテ是等ノ要求額ガ過當ニ積シテアルカ、ナイカト云フコトハ、嚴重ニ審査シナイト分リマセヌ、日露戰爭ノ場合ニ於テモ、多額ノ申請額ニナツテ居ルタ次第デ、之ヲ審査シテ相當ノ額ニ縮メテ、之ニ對

シテ救恤金ヲ出シタ次第アリマス、即チ其標準ニ依リテ今

回モ百五十万圓ト云フコトニ限リタ次第アリマス、ソレカ

テ露國ニ向テ交渉スル積リデアルカ、只今大連ニ於テ會

議ヲシテ、此會議ニ於テ損害モ交渉シ、アルガ、其經過ノ

報告ヲ得タ云コトデアリマス、是等ノ損害ニ對シマシ

テハ、追テ露國政府ノ——當然力アル露國政府が樹立シタ

ル上デナイト、到底是等ノ損害ヲ賠償シ得ル力ハ私ハ無イ

ト思ズテ居リマス、唯事件ニ依リマシテハ、只今ニ於テモ交渉

シテ居ルモノモアリマス、即チ「オコック」方面ノ事ニ付テハ「メ

ルクロフ」政府ニ對シテ交渉ラスル積リテ居リマス、御承知

ノ通り政變ガ度々相次グ地方ニアリマスカラ、此交渉モ思

ハシク行カナイ次第アリマス、其他ノ方面ニ於ケル損害ニ

對シテモ、未ダ對手トスベキ政府ガ樹立シナイト言テモ宜

シテ、「チタ」政府ト云フモノモ、未ダ日本ニ於テハ認メテ居

リマセヌ、是亦今般大連ニ於テ會議ヲシタ結果、幸ニ協商

ガ旨ク成立チマスレバ、無論彼等ヲシテ此交渉ニ應ゼシム

積リテアリマス、今日ニ於テハ未ダ其域マデ達シテ居リマセ

ヌ、ソレカラ西比利亞方面ニ於ケル損害ハ、多ク實業者ノ

損害ニナシテ居ルガ、農商務省ト相談ヲシタカ、是ハ無論農

商務省側トモ十分ニ相談ヲシタ次第アリマス、尙ホ救恤

審査會ハ如何ナル人ヲ以テ組織スルカト云フ御質問アリ

マシタガ、是ハ追テ勅令ヲ以テ定メル積リテアリマス、即チ此

事件ニ關係アル必要十人ニハ、成ベク網羅シテ審査ヲ正確

ニ致シタイ積リテ居リマス、尙ホ分配ノ事ニ付テ、其分配ハ

申請シタル金額ニ依ルカ、又ハ損害ヲ被シ實情ニ依ルカト

云フ御質問デアリマシタカ、是ハ兩方共ニ考慮ニ加ヘル積リ

デアリマス、即チ申請シタ所ノ金額モ無論第一ニ考慮シナ

ケレバナラヌ次第アリマスガ、其實情ニ依リテハ、或ハ其方ニ

多ク救恤金モ出サナクチヤナラヌ場合モアルダラウト思ヒマ

ス、デ是等ノ事ハ個々ノ事件ニ對シテ審議ヲシ、割當ヲスル

ヨリ外ナイト思ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第三右議案ノ審査ヲ付託ス

コトヲ望ミマス

〔贊成=贊成下呼者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第四、和賀輕便軌

道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發

行ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

### 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ議長ニ於テ指名アラン

コトヲ望ミマス

〔贊成=贊成下呼者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六道路法中改

正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

### 第六 道路法中改正法律案(政府提出)

#### 第一 読會

道路法中改正法律案

第八條中「五種」ヲ「四種」三改メ「三 郡道」ヲ削リ第四

號ヲ第三號トシ第五號ヲ第四號トス

第十一條中「數郡市ヲ連結スル幹線」ヲ「數市町村ヲ連

結スル重要ナル幹線」ニ改メ第八號ヲ第九號トシ左ノ一

號ヲ加フ

八 樞要ノ港津又ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關

係ヲ有スル國道又ハ府縣道ニ連絡スル路線

第十二條削除

第二十條ニ左ノ一項ヲ加フ

### 第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ十八名トシ議長ニ於テ指

名アランコトヲ望ミマス

〔贊成=贊成下呼者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七、右議案ノ審査ヲ付託

スベキ委員ノ選舉

### 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選

擧

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ議長ニ於テ指名アラン

コトヲ望ミマス

〔贊成=贊成下呼者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六道路法中改

正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

道路法中改正法律案

第八條中「五種」ヲ「四種」三改メ「三 郡道」ヲ削リ第四

號ヲ第三號トシ第五號ヲ第四號トス

第十一條中「數郡市ヲ連結スル幹線」ヲ「數市町村ヲ連

結スル重要ナル幹線」ニ改メ第八號ヲ第九號トシ左ノ一

號ヲ加フ

八 樞要ノ港津又ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關

係ヲ有スル國道又ハ府縣道ニ連絡スル路線

第十二條削除

第二十條ニ左ノ一項ヲ加フ

### 第四 和賀輕便軌道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル法律案(政府提出)

和賀輕便軌道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル法律案

和賀輕便軌道株式會社所屬黑澤尻仙人間ノ軌道經營廢止ニ對スル法律案

主務大臣必要アリト認ムルトキハ國道ノ新設又ハ改築ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ道路管理者ノ權限ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣之ヲ行フ

第三十三條中「國庫ノ負擔トス」ノ下ニ「第二十條第二項ノ規定ニ依ル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ニ付

亦同シヲ加ヘ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十條第二項ノ規定ニ依ル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ管理者タル行

營ノ廢止ニ對スル補償ノ爲政府ハ該補償ニ必要ナル額ヲ限度トシテ公債ヲ發行スルコトヲ得

和賀輕便軌道株式會社所屬黑澤尻仙人間ノ軌道經營廢止ニ對スル法律案

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第八、六大都市行政監督ニ關スル法律案第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、坪田十郎君

### 第八 六大城市行政監督ニ關スル法律案

(政府提出)

#### 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 大都市行政監督ニ關スル法律案(政府提出)  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告

候也

大正十一年二月十七日

六大城市行政監督ニ關スル法律案委員長

坪田十郎

衆議院議長奥繁三郎殿

坪田十郎

(坪田十郎君登壇)

○坪田十郎君 本案ハ昨年本院ヲ通過致シマシタル法  
律案デゴザイマス、故ニ格別ノ質問モアリマセヌ、唯主トシマシ  
テハ市制第百五十七條ノ「二重監督ヲ脱セシムルコトガ委  
員会全部ノ意見デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ政府ト相容  
レマセヌ故ニ、茲ニ之ヲ希望條件ヲ委員會ニ於テ附シマ  
シタノデゴザイマス、第一ト致シマシテハ「六大城市ニ限り主  
務大臣ノ許可認可ヲ要スル事件ニ關シテハ申請書二通ヲ  
作製シ其一通ヲ第一次監督官廳ニ提出スルト同時ニ他ノ  
一通ヲ主務大臣ニ提出シ得ル途ヲ開カレンコトヲ望ム」、第  
二「政府ハ速ニ都制法ヲ提案セラレンコトヲ望ム」此二箇ノ  
希望條件ヲ附シマシテ本案ハ滿場一致可決致シマシテゴ  
ザイマス、此段御報告申シマス

○議長(奥繁三郎君) 賛成ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマ  
ス太田信治郎君

(太田信治郎君登壇)

○太田信治郎君 本員ハ委員長ノ御報告ニナリマシタ通  
り、政府ハ速ニ都制法ヲ提案セラレンコトヲ望ムト云フ希望  
條件ヲ附シテ、本案ニ賛成致シマシタ理由ヲ一言申述ベタ  
イトイ思ヒマス、本案ハ既ニ昨年ノ議會ニ於テ、本院ヲ通過  
致シテ居リマシテ、此六大城市ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依ッ  
テ、府縣知事ノ認可又ハ許可ヲ要セガルコトニナル次第ア  
リマスカラ、市ノ公共事務ノ手續上非常ニ事務ノ進捗ヲ  
圖リ、手續ヲ省略スルト云フ利便ガ確ニアルコト、信ジマス  
併ナガラ此大城市ノ市民ガ年來希望致シテ居リマスル所  
ノ、市制ノ第百五十七條ノ所謂二重監督ヲ撤廢シ、内務  
大臣ノ直屬タラシムル特別市制ノ目的ニハ副ハナイノデア  
リマス、殊ニ東京市ノ如キハ帝都ノ首府、王城ノ地デ、人口口

ハ既ニ二百十七万餘ノ人口ヲ有シ、又面積ニ於テ五里四  
方ノ面積ヲ有シ、歲計モ一億万圓以上、斯ノ如キ厖大ナル  
行政事務ヲ取扱テ居ル所ノ都市モ、總テ之ヲ同一ノ法案  
ノ下ニ律スルト云フコトハ間違テ居ルト云フコトハ、今更  
私が嘆々申ス必要ハナイノデアリマス、故ニ此問題ニ付キマ  
シテハ、既ニ政府ニ於テモ之ヲ必要ト認メラレ、又貴衆兩院  
ニ於テモ屢々此特別市制上云フ問題ニ付テハ、慎重審議セ  
ラレテ居ルノデアリマスガ、不幸ニシテ未ダ其成案ヲ見ズシ  
テ、而シテ其一部分ノ免ニ角進歩トシテ、本案ヲ提出セラレ  
タノデアリマス、故ニ之ヲ物ニ譬ヘテ申シマスレハ、電燈ノ必  
要ヲ感ジテ居ル所ヘ、丁度行燈ヲ點ケタヤウナモノデアル、  
併シ行燈デモ無キニ勝ルト云フ意味ニ於テ、確ニ首肯セラ  
ル、ノデゴザイマス、併ナガラスルコトガ

底セシメテ、而シテ二重監督ヲ除イテ、内務大臣ニ之ヲ直  
屬セシノテ、サウシテ以テ此大城市ニ經營ヲスル上云フコトガ  
現下ノ必要ニ迫テ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ其必要  
ヲ認メマシテ、既ニ昨年ノ當議會ニ於テモ、本年ニ於テモ、是  
ガ調査ヲ爲シツ、アッテ、調査ノ歩ヲ進メテ居ルト云フコトヲ  
御言明ハ得テ居リマスケレドモ、今ニ於テ是ガ提案ヲ得ナイ  
ノデアリマス、故ニ或ハ調査ニ名ヲ藉リテ、御提案ノ果シテ  
誠意ガアルヤ否ヤト云フコトヲ疑フ次第アリマス、併ナガ  
ラ前ニ申上ダタ如ク、免ニモ角ニモ、一步進ンデ利便ヲ得タ  
ル案デアリマスカラ、本案ニ賛成ヲ致シマスト同時ニ、前ニ  
申上ダタ如ク、速ニ此特別市制所謂特別市制ニ對スル何  
ト申シマスカ、政府ノ此用語ニ依リマスト、都制案トナッテ居  
リマスガ、特別市制案ヲ御提案セラレンコトヲ望ミマシテ、  
此希望ヲ附シテ本案ヲ賛成致シマシタ次第アリマス

○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ  
御誼リ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナイト  
認メマス

○岩崎勤君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省  
略シテ、委員長報告通り可決確定アランコトヲ望ミマス  
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メ  
マス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

### 六大城市行政監督ニ關スル法律案

(第一讀會(確定議))

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ本案

ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ——日程第九、第  
十八同一委員ニ付託シタ議案ニアリマスカラ、一括シテ議  
題ニ供スルニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、日程第九  
少年法案日程第十矯正院法案ヲ一括シテ、其第一讀會  
ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長戸水寛  
人君

### 第九 少年法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告  
候也

大正十一年二月十七日

少年法案委員長

戸水寛人

衆議院議長奥繁三郎殿

戸水寛人

(戸水寛人君登壇)

第一讀會ノ續(委員長報告)

矯正院法案委員長

戸水寛人

衆議院議長奥繁三郎殿

戸水寛人

(戸水寛人君登壇)

第一讀會ノ續(委員長報告)

矯正院法案委員長

戸水寛人

衆議院議長奥繁三郎殿

戸水寛人

大正十一年二月十七日

矯正院法案委員長

戸水寛人

衆議院議長奥繁三郎殿

戸水寛人

(戸水寛人君登壇)

第一讀會ノ續(委員長報告)

矯正院法案委員長

戸水寛人

衆議院議長奥繁三郎殿

戸水寛人

(戸水寛人君登壇)

第一讀會(確定議)

ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ——日程第九、第  
十八同一委員ニ付託シタ議案ニアリマスカラ、一括シテ議  
題ニ供スルニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

雖も少年審判所ノ審理ヲ受ケルコトニナルノア、即チ此候文ハ感化院ト矯正院ト調停ヲ圖ル爲ニ出來タモノナルノデ、本年ノ案ハ昨年ヨリモ少シク勝テ居ルト思ヒマス、委員會ニ於テハ審議ノ末、兩案共全會一致ヲ以テ可決致シ

マシテ、本會ニ於テモ速ニ可決アランコトヲ希望致シマス、御報告申上ダマス(拍手)○議長(奥繁三郎君)兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕〔聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君)第一讀會ヲ開クニ御異議無イト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○岩崎勲君 日程第九及第十ノ兩案ヲ一括シテ直ニ其可決確定アランコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕〔下呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ勲議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

〔第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定アランコトヲ望ミマス〕

○岩崎勲君 日程第九及第十ノ兩案ヲ一括シテ直ニ其可決確定アランコトヲ望ミマス

〔第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定アランコトヲ望ミマス〕

○岩崎勲君 日程第九及第十ノ兩案ヲ一括シテ直ニ其可決確定アランコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 两案トモ御異議無イト認メマス仍テ本案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマス——日程第十一、未成年者飲酒禁止法案ノ第一讀會ヲ開キマス提出者根本正君

〔第二讀會(確定議)〕

〔贊成〕〔贊成〕〔聲起ル〕

第四條 営業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ

本法ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有

スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタル

トキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトニナッテ居リマスケレドモ、衆議院ハ明治四十一年ヨリ過ル十五箇年間通過サレテ居ルノアリマス、尤モ大正三年大隈内閣ノ時分ニハ否決サレタ、テ斯ノ如キ履歴ヲ持テ居リマズル所ノ法案アリマシテ、是非此法案ハ通過致サセタクイ、或ノ人論旨ニ依リマスト云フト、道徳上ノ問題

本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔根本正君登壇〕

附 則

○根本正君 諸君未成年者飲酒禁止法案ノ理由ヲ申上ゲマスガ、本案ニ付キマシテハ、諸君が御承知ノ通り過ル二十三年間御研究ニナリマシテ、能ク御承知ノ問題アリマスカラシテ、極テ簡單ニ申上ゲテ、此理由トスル所、又參考書ハ例ノ通り議長ノ御許ヲ得テ、速記ニ遺スコトニ致シマス、本案ハ明治三十三年ニ提出サレマシテ、其理由トスル所ハ國民教育ニ最モ重大ナル所ノ關係アル法案アリマス、此未成年者禁酒法案ヲ提出スル以前ニ於テ、即チ明治三十二年ニ於テ、本員ハ國民教育國庫補助法案ト云フモノヲ提出シタノアリマス、是が即チ通過サレマシタ結果、年其當時二百万圓宛國庫ヨリ支出サレ、大正七年以來ニナリマシテハ一千萬圓、即チ今日ニ於キマシテハ、種々ノ國稅補助ヲ合セマシテ、國庫ヨリ一千二百五十五萬圓程出テ居ルノアリマス、テ明治三十二年ニ於キマシテハ、國民教育ノ全體ノ費用ト云フモノガ、僅ニ一千五百万圓デアタノアリマシテハ、然ルニ今日ハ御承知ノ通り、殆下一億七千萬圓ニナリ、斯ノ如ク此國民教育ノ結果、法律ヲ以テ授業料ト云フモノヲ廢止シ更ニ租稅ヲ徵收スルコトニナラノデアリマス、故ニ國民教育ヲシテ國費ヲ以テスルモノモアリ、又地方稅ヲ以テ其大部分ヲ出スコトアリマス、テ明治三十一年ニ於テ、即チ立憲政治ニ最モ適フ所ノ教育法ガ、今育ヲスル所ノ、即チ立憲政治ニ最モ適フ所ノ教育法ガ、今ノ御認ノ通リテアリマス必スヤ軍備縮少ノ結果ハ、道路、鐵道其他ニ劣ラズ、此教育ノ方面ニ數千万圓ノ金ヲ國庫ヨリ支出サレテ、地方稅ト云フモノヲ減ズルト云フコトアリムコトヲ得ス

○根本正君 第一條 第二項、第三項ノ規定ニ違反シタル者未成熟年者飲酒禁止法案

○根本正君 第二讀會(確定議)

ニハ、其子弟ヲシテ最モ有效ナル所ノ國民ト爲サシメルノガ目的アリマス、故ニ未成年者タル者ヲシニ、先ツ第一三明治三十二年ニ喫煙禁止法ト云フモノが出タノアリマス、所謂煙草ヲ喫シテハナラヌト云フ、是ハ直ニ諸君ノ御贊成ニナッテ、法律トナッテ今日行ハレテ居ル、併ナガラ酒ノ方ニ至リマシテハ、今日マデ過ル二十三年間、年々歲々提出スルコトニナッテ居リマスケレドモ、衆議院ハ明治四十一年ヨリ過ル十五箇年間通過サレテ居ルノアリマス、尤モ大正三年大隈内閣ノ時分ニハ否決サレタ、テ斯ノ如キ履歴ヲ持テ居リマズル所ノ法案アリマシテ、是非此法案ハ通過致サセタクイ、或ノ人論旨ニ依リマスト云フト、道徳上ノ問題

本法トナッテ今日行ハレテ居ル、併ナガラ酒ノ方ニ至リマシテハ、今日マデ過ル二十三年間、年々歲々提出スルコトニナッテ居リマスケレドモ、衆議院ハ明治四十一年ヨリ過ル十五箇年間通過サレテ居ルノアリマス、尤モ大正三年大隈内閣ノ時分ニハ否決サレタ、テ斯ノ如キ履歴ヲ持テ居リマズル所ノ法案アリマシテ、是非此法案ハ通過致サセタクイ、或ノ人論旨ニ依リマスト云フト、道徳上ノ問題

本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔根本正君登壇〕

附 則

本法ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有

スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタル

トキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトニナッテ居リマスケレドモ、衆議院ハ明治四十一年ヨリ過ル十五箇年間通過サレテ居ルノアリマス、尤モ大正三年大隈内閣ノ時分ニハ否決サレタ、テ斯ノ如キ履歴ヲ持テ居リマズル所ノ法案アリマシテ、是非此法案ハ通過致サセタクイ、或ノ人論旨ニ依リマスト云フト、道徳上ノ問題

本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔根本正君登壇〕

附 則

本法ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ

國ノ一ツニ加ハタモノデアリマス、故ニヨモノ子弟ヲシテ益、國家ノ爲ニ忠勤ナラシメ、大ニ國力ヲ發展セシメ、實業ヲ盛ニスルノニハ、此法案ヲシテ是非貴衆兩院共ニ通過スルコトヲ私ハ切ニ望ム者アリマス、終ニ臨ンニ一言申上ダテ置キタイコトハ、或人ハ斯ウ云フ事ヲ述ベル、此未成年者飲酒禁止法案モ、此喫煙禁止法ト同ジテ、ドウモ實行カ出来マジトヤウナ事ヲ御述ニナル御方ガアルノデアリマス、今日未成年者喫煙禁止法案ハ、能ク實行サレテ居ルノデアリマス、明治三十二年ヨリ大正十一年ノ十一月末迄ニ、警官ノ取締ヲ受テ、此煙草ガ未成年者ニ對シテ宜シクナイト言ッテ、覺タク者ガ、内務省ノ警保局ノ調査ニ依リマスレバ、九十九万百四十六人アリマス（拍手）若シ此法律が無カクナラバ、此過グル二十三年間ニ九十九万百四十六人ト云フ所ノ子弟ハ、或ハ落第ヲシ、或ハ其結果親不孝トナル者ガアタカモ知レナイノデアル（拍手）此實例ヲ見マシテモ、決シテ未成年者飲酒禁止法案ガ行ヘレナイト云フコトハナイノデアリマス、故ニ何法案ト雖モ決シテ完全無缺ニ行ハレル法ト云フモノハ無イ、何卒諸君ノ御賛成ヲ得テ、本年ハ日本帝國ノ輿論トシテ通過スルコトヲ特ニ願ヒマス（拍手起ル）○議長（奥繁三郎君）本案ニ對シテ提出者ニ質疑ノ通

セヌ、根本君ハ帝國議會開會以來、每議會之ヲ御出シニナフテ居ル、其熱心、熱誠實ニ感佩致シテ居リマスルガ、之ヲ容易ニ通過スルコトガ出來ナカタノデアル、所ガ近來ニ於テ衆議院ニ於テ之ヲ通過シタ實例ヲ見テ居リマス、然ルニ此法案ガ貴族院ニ廻ルヤ、貴族院ハ未ダ一回モ之ヲ通過シマセヌカラシテ、無論御裁可ガアリマセズ、法律トナシテ出マセヌノアリマス、其處ニ就テ、私共ハ餘程是ハ攻究セラケレバナラヌモノナルト云フコトヲ考ヘタノアリマス、反對デハアリマセヌ——反對デハアリマセヌガ、此世界ニ於ケル澤山ナ宗敎ガアリマスルガ、何レノ宗敎ニ於テモ、何レノ道徳大家ニ於キマシテモ、何レノ哲學者ニ於テモ、酒ハ大ニ飲ムベシ、酒ハ飲シテ宜シトイ云フヤウナル格言ヲ吐カレタ御方ハナイヤウニ私ハ思ヒマス、殊ニ世界ニ於テ最モ行ハレント居ル所ノニ一大宗教タル佛教ノ如キモ、梵網經ナドニハ酒器ヲ人ニ供與致シテ飲マシメ、若クハ自ラ飲ンダ者ハ、五百世シテ、之ヲ戴ク例ニナシテ居リマス、是ハ決シテ酒ヲ飲ムト云フ譯デハトイサウデアリマス、サウ云フヤウナコトデアリマシテモ、非常ニ嚴重ニ戒メラレテ居リマス、併ナガラ此基督教ニ於テハ、或ル儀式ニ於テ葡萄酒ヲ基督ノ血ナルト云フ教ハ更ニアリマセヌノアリマスルガ、然ルニ此世界萬國、凡ソ文化ノ進ンダ國デモ、又野蠺

其害ヲ受ケタ實例ガ多イノアリマス、殊ニ佛蘭西ノ國ナドリマスガ、此舊教國ニモ拘ラズ、禁酒ヲ最モ勵行シテ居ル國ニ拘ラズ、女學生ガ驚クベキ酒ヲ飲ンデ居ル事實ヲ私ハ實地目撃致シマシテ、實ニ其社會狀態ノ隱レタル大弊害ヲ認メタ居リマス、斯フ云フ國ニ於テハ、未成年者ニ於ケル禁酒法ト云フモノハ極テ必要デアルト信ジマス、然ルニ私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、近時我ガ日本帝國ニ於テ二十歳以下ノ所謂未成年ナル人々、酒ヲ飲ンデ醉パラテ甚シキ不沽行爲ヲ爲シ、爲ヤウナ人ハ、私共多年餘程營業上注意致シテ居リマスケレドモ、殆ド見當リマセノアリマス、ソレヨリカ不良壯年、不良老年ノ中ニ酒ニ醉バラタ入ヲ見受ケルノアリマス、是ハ悲ムベキ次第ト考ヘマスノアリマス、是ニ於テル、洵ニ是ハ悲ムベキ次第ト考ヘマスノアリマス、此法案ニ於キマシテ、私ハ一ソノ質問ガアルノアリマス、此未成年者飲酒禁止法、第一條ノ一項ニ於キマシテ、斯ウ云フ規定ガアリマス「營業者ニシテ其業態上酒類ヲ販賣又ハ供與スル者ハ未成年者ノ飲用ニ供スルコトヲ知リテ酒類ヲ販賣又ハ供與スルコトヲ得メ」洵ニ明カナ條文アリマスガ吾ミ酒ノ商賣ヲ致シテ居ル實驗ニ依リマスレバ、日暮レテノ勞働ヲ致シテ居ルカラ、今晚晚酌ヲシタイト云フノデ、五合德利一升德利ヲ持テ買ヒ來ル、小サイ未成年者ガアリマス

○吉良元夫君　只今當壇上ニ於キマシテ、私共ノ最モ尊  
敬致シマスル所ノ根本正君ヨリ、此未成年者飲酒禁止法  
案ニ於ケル大體ノ御説明ガゴザイマシタ、勿論私ハ此法案  
根本精神ニ於テハ何等反對ヲ唱ヘル者デハアリマセバ、實  
ニ未成年者ガ酒ヲ飲ミマシタ爲ニ、身體ヲ害シ、及一生ノ  
方向ヲ誤ルガ如キ事ガアリマスト致シマシタナラバ、是ハ由  
由シキ國家ノ一大損害デアリマスカラシテ、斯ウ云フ法案ガ  
一日モ早ク成立スルコトヲ希望スル者デアリマスケレドモ、實  
私ハ自分ノ營業即ち自分ノ職業ガ酒造デゴザイマスカラ  
(笑聲)此飲酒禁止法案ト云フモノニ向テハ、餘程慎重ニ  
考慮ヲ費シタ者デゴザイマス、凡ソ國法ナルモノハ日本帝國  
ノ七千万人ガ悉ク之ヲ遵奉シナケレバ、國法トシテノ權威  
ハアリマセヌ、若シ立法院ニ於テ之ヲ議決致シマシテモ、其  
國法ヲ輕ンジ、若クハ其國法ト云フモノヲ守ラナイ國民ト  
云フ者ガアリマシタナラバ、其法律ハ徒法三屬シ、實ニ法律  
トシテノ權威ヲ失ヒマシテ、國法上一大憂慮スベキ事ニナル  
デアリマス、デ此酒ヲ飲ンデ宜シカ飲ンデハ宜シクナカト  
云フコトハ、簡單明瞭デアリマシテ、今日ノ國定教科書ニ於  
テモ、酒ト煙草ハ養生ニ害アリト云フヤウニ教エテアリマス、  
アリマスルガ、今日此本案ハ今日御出シニナクタノデハアリマ

國ハ無イト云フコトモ、是亦明カナ事實デアリマス、其邊ヲ考ヘテ見マスト云フト、酒ハ無論百毒ノ長デアリマセウ、併シ又或點ニハ百藥ノ長デアリマセウ、絕對的不都合ナモノトハ信ジラレマセヌノデアリマス、併ナガラ少年トシテ之ヲ飲ムト云フコトハ、甚ダ宜シクナインデアリマス、所ガ外國ニ於テハ、英國ノ如キハ五十年前ヨリ既ニ禁酒法案——未成年者禁酒法案ダ成立シテ居リ、米國ノ如キモ二十五年前ヨリアル、又此參考書ニ列舉サレテ居リマスルモノヲ見マスレバ、何レノ國モ文明國ニハ斯ウ云フ法ガアリマス、而シテ比較的的文化程度ノ進ンデ居ラヌ國ニハ、此提案ガナインハ甚ダ殘念デアルト云フヤウナ御話デアリマシタケレドモガ、是ハ私共大ニ見方ガ違ヒマスノデアリマス、西洋各國ニ參テ見マスルルト云フト、此未成年者が酒ヲ飲ムト云フコトノ弊ガ甚シキマシテモ、中々日本ノ清酒ノ如キ「アルコール」分ガ強烈デアリマス、麥酒ハ麥湯見タヤウナモノノデアリマシテ、餘程「アルコール」分ガ少ウゴザイマスケレドモ、「ウヰスキーニシマシテモ「ベルモット」ニシマシテモ「ブランデー」ニ致シマシテモ「アルコール」分デハアリマス、然ルニ之ヲ少年ガ飲ミマシテ、覺エル如ク強イノデアリマス、然ルニ之ヲ少年ガ飲ミマシテ、

リマス、然ルニ是ハアナタタガ飲ムノデアルカ否ヤト云フコトヲ  
一々尋ネ、パナラヌト云フコトニナシテ來ルノアアル、而シテ  
又自分之ヲ飲ムニアラズト答ヘマセウ、併ナガラ實際ソレヲ  
飲ムヤモ圖リ難イノアリマスカラ、之ニ對シテ營業者ガ盡  
ク制裁ヲ受ケルト云フ場合ト云フモノハ、大ニアルト云フコト  
トヲ想定致サナケレバ、ナラヌノアリマス、決シテ惡意デハア  
リマセズシテ、非常ナル國法ヲ犯ス、苟モ法律ヲ犯スト云フ  
コトハ、國民トシテ恥ゾベキコトデアルガ、無意識的ニ犯サナ  
ケレバナラヌ破目ニ陷ルト云フ憂ガアルノアリマス、斯ウ云  
フコトハドウ云フヤウニ御制裁ヲ御設ケニナレバ、左様ナ事  
ノ無イト云フ御考アリマスヤ否ヤヨ伺ヒタイノアリマス、  
ソレカラモウ一ツハ此禁酒法ノ末項ニ於テハ「營業者ハ其  
ノ代理人人主家族同居者雇人其他ノ從業者ニシテ其ノ  
業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサル  
ノ故ノ以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス」ト云フコトガ書イテア  
リマス、是ハ何レノ法律ニ於テモ斯ノ如キ事例ハ多々アリマ  
スノアリマス、營業主自ラが關知シナイ雇人ガシタノデア  
ルカラト言テハ、制裁ガ付キマセヌカラ、是ハ已ムヲ得マセヌ  
斯ウ云フ制定ヲ致サナケレバナラヌガ、吾モ餘り多數ノ人  
ヲ雇ウテモ居リマセスケレドモ、營業期節等ニハ、或ル場合  
ニハ四五十人雇ウテ居リマス、之ニ對シテ一々此事ハ申シ

聞カセ致シマスガ、今未成年者ガ酒買ニ來ル事實ハ澤山アリマス、其場合知ラズシテ此國法ヲ犯スニ至ラ時ニ、其雇人、從業者、悉ク此法ノ制裁ヲ受ケバナラヌト云フ事が出来ルノデアリマス、斯様ナ點ニ至リマシテ、甚ダ此法律ヲ執行スル上ニ付テ、營業者トシテ恨ヲ懷カナレバナラヌノアリマス、又根本君ハ曰ク此未成年者喫煙、禁止法案ト云モノガ執行サレテ、九十九万人ノ喫煙ヲ止メタ者ガアル、是ハ済ニ法律制定ノ效果デアルト云フコトヲ、述ベラレマシタ、成程表面上左様ナコトモザイマセウ、併ナガラ此参考トシテ出サレマシタノ詳細ニ見マスルト、此法案ヲ制定サレテ以來、此法案ニ依リマシテ罰則ハ受ケヌト致シマシテモ説論ヲ受ケタ人ノ數ニ致シマシテモ、九十三万人ノ多キニ及シニ居ルノデアリマス、實ニ未成年者禁煙法案ノ如キハ、實際ニ於テハ社會ニ本當ニ行ハレテ居ルト云フコトハ申シ惡イノデアリマスドウモ田舎ノ中學校ノ生徒等ニハ、能ク窓ニ喫ンデ法網ヲ濫テ居ル者ガアルノデアリマス、併ナガラ煙草ノ點ハ先ツ宜シト致シマスケレドモ、日本ノ風俗慣習ニ於テ甚ダ困ルコトガアル、例へ冠婚葬祭ノ如キ、又直ニ參リマス三月三日ノ雛節句ノ如キ、家庭ニ於キマシテハ、從來ノ慣習ト致シマシテ、白酒ヲ少シ、戴イテ雛様ノ祭ヲスルト云フ所ニ、甚ダ美ナル風俗ガアリマス、是モ絶對ニイケナインデアルカ、或ハ又婚禮が行ハレルトキハ、夫婦盃ハ申スニ及バヌコトデアリマスガ、親子盃ト云フモノガアル、是ヲモ禁ジナケレバナラヌモノデアリマスカ、其時ハ水盃デ宜イデハナルト云フカ知レマセヌガ、水盃デハ御祝儀ニハナリマセヌト思ヒマス、其邊ニ付テ甚ダ此法ノ權威ヲ、事實ニ上ニ法律トシテ行フト云フコトガ済ニ容易ナラヌ考慮ヲ要スベキコトト云フ事ハ議論ハナイ、イケナイ事デアリマスガ、是ハ俄ニ國デアルト思ヒマス、蓋シ貴族院ガ容易ニ之ヲ通過シナイモノ其邊ノ考慮デハナカラウカト想像致シテ居ルノデアリマス、大體ニ少年ニ酒ヲ飲マセルナドト云フコトガ、善イカ惡イカト云フ事ハ議論ハナイ、イケナイ事デアリマスガ、是ハ俄ニ國法ヲ以テ文明國ノ御仲間入ヲスルヤウナ流行カブレヲ致シマセズトモ、私ハ良き方法ガアリハシナイカ、又之ヲ行ハントシテ眞ニ法ノ權威ノ無イ國法ヲ制定致シマスノハ、済ニ日本帝國ノ爲ニ喜バナイコトニナリハセヌカト思ヒマス、此點ニ付テ御辯明ヲ請ヒマス

解ラヌ時デアリマシタ、併シ今日ハ水ト云フ物ハ諸君ノ御話ノ中ニ、労働者が疲レテ來大時分ニハ、酒ヲ飲マナイデハ可哀相アアルト云アノガ間違デアル、飲マセレバ可哀相飲マセレバ其細君ニ對シテ若物ヲ買ッテヤルコトガ出來ナイノ分テ双方ガ反対ナサルノデアラウト思ヒマス、殊ニ吉良君ノ御話ノ如ク、労働者ガ疲レテ來大時分ニハ、酒ヲ飲マナイデハ可哀相アアルト云アノガ間違デアル、此「エッチー、オ」デ出來テ居ル、此「エッチー、オ」ノ分テ双方ガ反対ナサルノデアラウト思ヒマス、殊ニ吉良君ノ御話ノ中ニ、労働者ガ疲レテ來大時分ニハ、酒ヲ飲マナイデハ可哀相アアルト云アノガ間違デアル、飲マセレバ可哀相飲マセレバ其細君ニ對シテ若物ヲ買ッテヤルコトガ出來ナイ立テ双方ガ全ク間違テ居ルノデアル(議長ハドウダ)ト呼フ此勢効者ガ酒ヲ飲ミマスレバ、子弟ニ物ヲ買ッテヤルコトが出来ヌ譯デアリマス、此労働者ニ酒ヲ飲マセナイト云フノガ即チ此社會政策ノ根本デアルノデアル、是ニ於テ此議論ノ立テ双方ガ全ク間違テ居ルノデアル(議長ハドウダ)ト呼フ者アリソレハ別物ダ、諸君此酒ヲ労働者ニ飲マセナイト云フノハ、即チ此所謂共產主義ナドノ起ラナイコトニナルノデアリマス、亞米利加ニ酒ヲ禁ズルノハ、全ク労働者ノ爲ニ労働者三酒ヲ飲セナインガ始リノ元デアリマス、労働者ガ御承知ノ通リ亞米利加ニ於テ、大概土曜ノ晚ニ日給ヲ貰フ、土曜ノ晚ト日曜ニ酒ヲ賣セナインハ五年十年前デアタノデアリマス、若シ労働者ニ酒ヲ飲マセテ宜シイ、可哀相ダト云フナラバ、吉良君ノ御子サン、二ツ三ツノ者ニ剃刀ヲ御宛行ヒナサルノト同ジ事デアリマス、飴ガ嘗メタイト言テ朝カラ晩マデ飴ヲ嘗メセセルノト同ジ事デアリマス、子供ニ斯ノ如ク健康ヲ害スル所ノ飴菓子ヲ、朝カラ晩マデ嘗セルト同ジ道理デ、殊ニ労働者ニ朝カラ晩マデ酒ヲ飲マセルトニ云フ者が此議場ニ在ルコトハ、私ハ日本帝國ノ爲ニ悲ムノデアリマス(拍手)下ウカ諸君、此労働者コソ可哀相デアルカラ酒ヲ飲マセナイヤウニニスル月給ヲ取クナラバ「ボケド」ニ入レル月給ヲ取クタナラバ銀行ヘ持テア行テ入レル、サウシテ此子孫ヲ益シ健康ニシテ、家モ立派ニシ、隣子モ張替ヘ、疊モ取替ヘルヤウニシナケレバナラヌ、若シ此労働者ニシテ朝カラ晩マデ可哀相ダトシテ酒ヲ飲マセタラ、成程酒屋サンハ儲ケルカ知ラヌガ、千万人ノ労働者ハ貧乏ニナシテシマヒマス、其結果ハ何デアルカト云フト、即チ共產主義ニナルノデアリマス、是ガ即チ見解ノ違テ居ルノデアル、可哀相ダ可哀相ダト言ウテ潰シテシマフ、貧乏ニシテシマフ、ソコヨドウカ吉良君ハ御研究ニナリマシテ、此可哀相ノ程度ト云フモノガ、ドウモ私ノ諒解ト、御酒屋サンノ諒解トハ少シ違フト思フ、ドノデアリマス(諒解シマシタ)ト呼フ者アリ其他御質問ノ事ガ色アリマシタケレモ、是ハ私ガ大概此一ノ問ノ事ハソレデ分ルト思ヒマス、第二ノ事をヲ以テ十ヲ知ル吉良君ルノデアル、身代限スル所ノ青年ヲ拘ヘルノデアリマセヌコトデモアリマスカラシテ、一々御説明ヲスルニモ及ビマセヌ、所謂方針目的ト云フモノガ違フト云フト、即チ西へ行ク

官報號外

大正十一年二月十九日

衆議院議事速記錄第十四號

未成年者飲酒禁止法案 第一讀會

ベキ者ガ東へ行ク、東へ行クベキ者ガ西へ行ク、ドウカ諸君ハ此法案が假ニ行ハレナイコトガアルシテモ、即チ成立スレバ其實ヲ行フト云フコトガ極シテ居ルノデアリマスカラシテ、

彼此レ小ナル所ノ事ハ取テ捨テ、シマラテ、善イ事ヲ取テ以テ、國ノ法律トスルノガ即チ國家ノ爲ニ忠良ナルモノデア

ル、吾ニハ諸君ノ御子サン、諸君ノ御子孫、日本帝國ノ國民ト云フ者ヲ立派ニシテ、英吉利ノ國ヨリモ、亞米利加ノ國ヨリモ尙ホ優タ、本當ノ列強ノ位置ニ立ツニハ、此禁酒ヲ

以テ此國ヲ先ヅ以テ教育ヲシ、サシナシテ益、有力ニシナケレバナラス、若シ禁酒セズシテ教育ダケテアリマシタナラバ、一億七千万圓ノ國民教育ノ費用ト云フモノハ、河ノ中ニ拠テシマフト同ジ事デアリマス、諸君是ヲ以テ此答辯ニ代ヘマスカラ、御贊成アランコトヲ望ムマス

○鈴木錠藏君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ムマス  
〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕下呼フ者アリ  
○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十二、第十三ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、日程第十二身元保證ニ關スル法律案、日程第十三家產法案ヲ一括シテ議題トシマス、其第一讀會ヲ開キマス、上畠益三郎君

## 第十一 身元保證ニ關スル法律案(上畠益三郎君提出)

### (三郎君外二名提出)

### 第一讀會

#### 身元保證ニ關スル法律案

第一條 身元保證契約ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年ヲ經過シタルトキハ身元保證人ニ於テ之ヲ解除スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ契約ノ解除ハ六箇月前ノ豫告ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 身元保證契約成立ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ其ノ契約ハ當然解除セラタルモノト看做ス

但シ此ノ期間ハ商工業見習者ノ身元保證ニ付テハ之ヲ十年トス

第三條 身元保證契約ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ生ス

第四條 前三條ノ規定ニ反スル特約ニシテ身元保證人ニ不利益ナルモノハ之ヲ爲サリシモノト看做ス

附則 本法ノ規定ハ本法施行前ニ成立シタル身元保證契約

ニ亦之ヲ適用ス但シ第一條第一項及第二條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第一條 不動産ノ所有者ハ本法ノ規定ニ依リ家產ヲ設定スルコトヲ得

第二條 家產ヲ組成スル不動産ハ質權、抵當權、不動產ノ先取特權、永小作權、留置權及賃借權ヲ負擔セサルモノニシテ且左ノ各項ノ一二該當スルモノニ限ル

一 設定者カ其ノ所有權ヲ有シ且其ノ者又ハ其ノ家族シ設定者カ職業ノ爲又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ一時他ノ地方ニ寄留スル場合ハ本號ノ適用ニ於テ之ヲ現ニ住居スルモノト看做ス

二 設定者カ所有權ヲ有シ且其ノ者又ハ其ノ家族カ自ラ耕作又ハ管理スル田畠、山林

三 前二號ノ不動産ハ同時ニ家產ノ目的ト爲スコトヲ得但シ其ノ田畠又ハ山林カ家屋ト同一又ハ隣接セル市町村内ニ在ルトキニ限ル

四 家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者

第五條 親權ヲ行フ父、母又ハ後見人ハ未成年者ノ爲家產設定ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第六條 家產設定ニ依ル權利ヲ害セラル者ハ前條ノ期間内ニ區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第七條 家產設定ニ依ル權利ヲ害セラル者ハ前條ノ期間内ニ區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第八條 裁判所カ前二條ノ規定ニ依リ申請ヲ受理シタルキハ其ノ不動產ノ目錄ヲ登記所、市町村役場及申請人ノ住所ニ一箇月間掲示シ且其ノ掲示シタル日ヲ調書ニ依リテ明確ニスヘシ

第九條 家產設定ニ依ル權利ヲ害セラル者ハ前條ノ期間内ニ區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第十條 異議ニ付テノ裁判ハ申請人及異議申立人ニ告知スヘシ

申請人又ハ異議申立人ハ自己ノ主張ニ反スル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得此ノ抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十一條 第八條ニ定メタル期間カ異議ナクシテ満了シ又ハ異議申立ヲ却下スル裁判カ確定シ及第十二條ニ據ル登記ナキトキニ限り且裁判所カ申請ヲ第二條乃至第七條ノ規定ニ適合スルモノト認メタルトキハ決定ヲ以テ家產設定ヲ認可スヘシ但シ數箇ノ不動產又ハ從物中其ノ一部分ヲ不適法ト認メタルトキハ其ノ殘餘ニ付テノミ此ノ認可ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ職權ヲ以テ速ニ家產設定ノ登記ヲ囑託スヘシ

右囑託アリタルトキハ登記官吏ハ土地又ハ建物登記簿ノ甲區事項欄ニ該裁判ノ年月日裁判所名及申請者ヲ記載スヘシ

第十二條 第八條ニ定メタル期間ノ満了ニ至ル迄ハ其ノ日付ヲ公正證書ニ依リテ證明スルモノニ限リ其ノ権利ヲ有效ニ登記スルコトヲ得

一家產タルベキ不動產ノ登記簿謄本

二 従物ノ目錄

三 第三條ノ關係ヲ明ニスヘキ戸籍謄本

不動產カ數個ノ區裁判所ノ管轄地ニ跨ルトキハ各裁判所ヲ併セテ管轄スル直近上級ノ裁判所ハ申請ニ因リ管轄裁判所ヲ指定ス

第七條 不動產ノ所在地町村ナルトキハ前條ノ申請ハ其ノ書類ヲ町村役場ニ提出シテ之ヲ爲ス

町村長ハ遲滞ナク申請ニ關スル各事項ヲ調査シ其ノ報告ヲ添付シテ一切ノ書類ヲ管轄區裁判所ニ送致スヘシ

不動產所在地カ數箇ノ町村ニ跨ルトキハ先ツ書類ヲ受理シタル町村長ハ前項ノ書類ヲ關係アル他ノ町村役場ニ回付スヘシ

不動產所在地位カ數箇ノ町村ニ跨ルトキハ先ツ書類ヲ受領シタル町村長ハ前項ノ書類ヲ關係アル他ノ町村役場ニ回付スヘシ

不動產ノ所有者ハ前條ノ規定ニ依リ申請ヲ受理シタルキハ其ノ不動產ノ目錄ヲ登記所、市町村役場及申請人ノ住所ニ一箇月間掲示シ且其ノ掲示シタル日ヲ調書ニ依リテ明確ニスヘシ

第九條 家產設定ニ依ル權利ヲ害セラル者ハ前條ノ期間内ニ區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第十條 異議ニ付テノ裁判ハ申請人及異議申立人ニ告知スヘシ

申請人又ハ異議申立人ハ自己ノ主張ニ反スル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得此ノ抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十一條 第八條ニ定メタル期間カ異議ナクシテ満了シ又ハ異議申立ヲ却下スル裁判カ確定シ及第十二條ニ據ル登記ナキトキニ限り且裁判所カ申請ヲ第二條乃至第七條ノ規定ニ適合スルモノト認メタルトキハ決定ヲ以テ家產設定ヲ認可スヘシ但シ數箇ノ不動產又ハ從物中其ノ一部分ヲ不適法ト認メタルトキハ其ノ殘餘ニ付テノミ此ノ認可ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ職權ヲ以テ速ニ家產設定ノ登記ヲ囑託スヘシ

右囑託アリタルトキハ登記官吏ハ土地又ハ建物登記簿ノ甲區事項欄ニ該裁判ノ年月日裁判所名及申請者ヲ記載スヘシ

第十二條 第八條ニ定メタル期間ノ満了ニ至ル迄ハ其ノ日付ヲ公正證書ニ依リテ證明スルモノニ限リ其ノ権利ヲ有效ニ登記スルコトヲ得

第十三條 前條ニ定メタル條件ヲ具備セサル權利ニシテ右掲示ノ初日ヨリ家產設定登記ノ日迄ニ爲シタル總テノ登記ハ當然無効トス

登記所ニ於テ前項ノ事情カ顯著ナルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記申請ヲ却下スヘシ  
第十四條 本節及以下數節ニ定メタル申請及裁判ニ關シテハ非訟事件手續法ニ依ル

## 第二節 家產／效力

第十五條 家產設定登記アリタルトキハ不動產登記法第一條ニ掲ケタル所有權移轉ノ登記、地上權、永小作權、地役權、先取特權、質權、抵當權及賃借權設定ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス但シ土地收用法及耕地整理法ニ依リ權利ニ異動ヲ生スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 前條但書ノ場合ニ於テハ其ノ異動ヲ生シタル日ヲ以テ其ノ部分ニ限リ家產ハ當然解除セラルモノトス收用者又ハ耕地整理施行者ハ收用地又ハ整理施行地ニ關スル登記申請又ハ囑託ヲ爲スト同時ニ家產設定登記ノ抹消登記ノ申請又ハ囑託ヲ爲スヘシ

耕地整理ノ場合ニ於テ換地アルトキハ家產ノ效力ハ當然其ノ換地ノ上ニ存續スルモノトス耕地整理施行者ハ家產設定登記ヲ換地ニ移轉スル申請ヲ爲スヘシ

第十七條 家產設定ノ登記アリタルトキハ此ノ設定ヲ妨クヘキ一切ノ權利及一般ノ先取權ハ家產ニ對シテ消滅シ且發生セス但シ民法第三百一十五條第一號第二號ニ該當スル債權ハ家產廢止後ニ於テ有效ニ先取特權ノ登記ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ登記ノ日ニ先取特權ノ原因發生シタルモノト看做

第十八條 家產ハ如何ナル債權ニ依ルモ之ヲ差押フルコトヲ得ス

家產ヨリ生スル果實ハ左記ノ債權ニ依ルトキニ限りニヲ差押フルコトヲ得

二 其ノ不動產ノ爲ニスル火災保険料及蟲害、旱水害其ノ他各種ノ農業保險料

三 傭人給料並日用品及種子、肥料供給代金  
四 其ノ不動產ノ保存又ハ修繕ノ工事費

第十九條 家產設定者ハ如何ナル行為ニ依ルモ前條ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得ス

第二十條 公用土地收用法ニ依リ家產ヲ組成スル土地ヲ收用スルトキハ收用者ハ其ノ補償金ヲ國又ハ府縣ノ出納事務ヲ取扱フ銀行ニ預金スヘシ此ノ預金

ハ預入ノ日ヨリ五年間元金ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス又如何ナル債權ニ依ルモ其ノ元利ヲ差押フルコトヲ得ス但シ所有者カ該預金ヲ他ノ不動產ノ買入代金ニ充當スル場合ニ限り區裁判所ノ認可ヲ得テ自己又ハ

第三者ノ爲該預金ノ支拂ヲ求ムルコトヲ得  
第二十一條 家產ヲ成ス建物カ滅失シタル場合ニ於テ保険者カ家產設定ノ事實ヲ知リタルトキハ其ノ保險金ノ支拂ニ付テモ亦前條ヲ準用ス

第三節 家產／變更及廢止  
第二十二條 家產設定者カ死亡シタル後五年ヲ經過シタルトキハ家產ハ當然廢止セラル但シ其ノ以前ニ於テ現所有者ハ更ニ設定繼續ノ申請ヲ爲スコトヲ得此ノ申請ニ付テハ總テ設定ノ手續ヲ準用ス

前項但書ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ニ依リ先取特權ノ登記ヲ爲スコトヲ得ル債權者ニ限り異議申立ヲ爲スコトヲ得  
第二十三條 家產繼續中ハ相續人及受遺者ヨリ分割ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條 設定者ハ正當ノ事由アルトキハ配偶者及家族ノ承諾ヲ受ケ且尊族親アルトキハ其ノ許可ヲ受ケテ家產ノ廢止ヲ家產設定ニ付テノ所轄區裁判所ニ申請スルコトヲ得但シ家族中ニ未成年者アルトキハ親族會ノ同意ヲ要ス

第二十五條 裁判所ハ家產廢止ノ正當ナル事由ナシト認ムルトキハ該申請ヲ却下スヘシ

却下ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス申請ヲ許可スル決定ニ對シテハ親族利害關係人及檢事ヨリ即時抗告ヲ爲スコトヲ得此ノ抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第二十六條 廢止ノ裁判確定シタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ其ノ登記ヲ囑託スヘシ

第二十七條 家產ヲ組成スル不動產ヲ他ノ不動產ト交換スルコトハ其ノ新不動產カ舊不動產ト同等以上ニシテ且家產設定ノ各條件ヲ具備スル場合ニ限リ之ヲ許ス但シ新不動產ノ價格カ第五條第二項ノ制限ヲ超エル場合ト雖舊不動產ノ價格ト同等ナルトキハ其ノ設定ヲ妨クルコトナシ

前項ノ申請及裁判ニ付テハ家產設定ノ手續ヲ準用ス附則

家產設定登記ニ付テハ登錄稅法第二條第一號、第二十一號ノ稅率ヲ適用ス

本法施行ノ時期及其ノ細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
〔上島益三郎君登壇〕

○上島益三郎君 簡單ニ提出ノ趣旨ヲ申上ダマス身元

保證法案ハ、從來我國ニ於テ銀行、會社、商店等ガ雇人ヲ使用スル初メニ於テ、身元保證人ト云フ者ヲ付ケシメテ、雇人ガ雇主ニ加ヘタル一切ノ損害ニ付テ、代々賠償ノ責任ヲ負擔セシムル慣習ハ、廣ク我國一般ニ行ハレテ居ルノデア

リマスルガ、此保證人ノ責任タルヤ其金額ニモ制限ガ無ク、其期間ニモ制限ガゴザイマセヌカラ、一旦保證ヲシタナラバ、

假令幾十年ノ久シキニ及ビマシテモ、何時雇主カラ晴天ノ霹靂ノ如ク巨額ノ損害賠償ヲ請求セラル、カ分ラスト云フ、至テ危險至極ノ位置ニ陷ラレルノデアリマス、故ニ此法案ハ、一面ニ於テ身元保證ト云フモノ、制度ヲ認ムルト共ニ、是ガ賠償責任ノ程度ヲ實際的ノ必要ナ點ニ制限ヲ致シマシテ、少シモ雇主ニ不安、危險ヲ感ゼシメズシテ、而モ此契約ノ無限ニ付ケルカラ生ズル所ノ不安ニシテサウシテ殘忍ナル法律上ノ結果ヲ除却セントスルノガ本案ノ目的デアリマス、本案ハ前期議會ニ於キマシテ、既ニ委員會並本會ハ満場一致ヲ以テ通過シタ次第ニアリマスカラ、ドウカ宜シク御審議ノ程ヲ願ヒマス、ソレカラ其次ハ家產法案デアリマス、此家產法案ハ國民ノ最少限度ノ恆產ヲ保護スル趣意デアッテ、就中小サキ土地ヲ所有シ、自己並ニ其家族ガ之ヲ耕作シテ、由テ以テ其質素サウシテ堅實ナル所ノ生活ヲ營ンデ居ル全國大多數ノ自作農夫ヲ保護シテ、其土地ト其住宅トヲ保全シテヤルト云フ事ガ主タル目的デアリマス、此法案ノ結果ト致シマシテハ、第一ニ國ノ基本タル農夫、而シテ農夫ノ基本タル自作農夫ヲ保護シテ、其家族ガ之ヲ耕作シテ、由テ以テ其質素サウシテ堅實ナルナラナイ、又家族ノ自由ニモナラナイ所ノ一ノ特殊ノ財產ヲ家ニ附屬セシムテ、之ニ由テ以テ家ト云フモノノ社會ノ實生活動ニ連絡セシムテ、家ニ經濟上ノ權威ヲ附シテ、之ニ實在の意義ヲ與ヘテ、由テ以テ國家組織ノ單位ヲ鞏固ニスルコトガ之ニ依テ出來マス、ソレカラ第三ニハ我國ノ長子相続法カラ、必然生ズル所ノ弊害ト致シマシテ、財產ハ總テ戶主一人ノ所有ニ係シテ、無資產ナル所ノ家族、戶主ノ父母、戶主ノ妻子、戶主ノ兄弟、姊妹ト云フ者ガ、悉ク資產ヲ有シテ居ル戶主一人ノ無分別、或ハ無思慮ナル放蕩、若クハ投機ノ犧牲ニナリマシテ、夢ニモ知ラナイ間ニ自己ノ住居シテ居ル家屋カラ、追出サレ自己ノ耕作シテ居ル土地ヲ競賣デアル、吾々ハ法律的職業ニ從事スル結果トシテ、屢々斯ノ如キ實例ニ遭遇致シマシテ、最も此愁ムベキ弱者ノ境遇ニ

對シテ、同情ノ涙ヲ灑イダルコトハ其幾何ナルヲ知ラナイデア



○議長(奥繁三郎君) 賛成ノ演説ノ通告ダサウデアリマス  
○佐々木千秀君 〔佐々木千秀君登壇〕  
○議長(奥繁三郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、許シマス、  
佐々木千秀君  
○佐々木千秀君 只今議題ト相成シテ居リマスル海軍ノ  
軍備縮少ニ依シテ生ズル失業労働者ニ對シテ、救濟ノ途ヲ  
講ズルト云フ事ハ、今更申上ケル迄モナク、之ヲ道義上ノ點  
カラ申シマシテモ、最モ適切デアリ、更ニ又最モ當然ノ事デアル  
テ見マシテモ、最モ適切デアリ、更ニ又最モ當然ノ事デアル  
ト云フ事ハ、只今井上氏ニ依シテ言ハレタ通りデゴザリマス、  
殊ニ又御承知ノ如ク現代ニ於キマシテ、文化ノ發達ト共ニ  
人類共存ノ大精神ト云フモノカ盛ニ主張セラレテ居ルノデ  
アル、此時代ニ於テ、政府ガ國家ノ政策ヲ變更シタルガ爲ニ、  
由テ以テ起ル所ノ失業者ニ救濟ノ途ヲ立ツルト云フコトハ、  
國家當然ノ責務デアラネバナスト信ズルノデアリマス(拍  
手)然ルニ最ニ總理大臣ガ施政方針ノ演説トシテ爲サレタ  
ル所ノ其演説ニ於キマシテ、軍備縮少ニ依シテ生ズル所ノ此  
財源ハ、治水教育費ニ充ツルト云フ事ヲ述ベラレテ、軍備縮  
少ニ由ツテ起ル所ノ失業者ニ對シテ要スル所ノ經費ニ充ツル  
ト云フコトニ、一言モ論及セラレナカッタノデアリマス、之ガ爲  
ニサナキジニ彼等關係ノ勞働者ト云フモノハ、生活ノ不安ト  
云フ事ニ及シテ大恐慌ヲ來シテ居タノアリマス、誠ニ當  
局大臣ト致シマシテ、當然彼等ニ向テ救濟ノ途ヲ講ズベキ  
モノデアルトスルナラバ、一日モ早ク其意ノ在ル所ヲ天下ニ  
聲言セラル、ト云フ事が、彼等ヲシテ安定セシムル所ノ途デ  
アルト信ズルノデアリマス、此點ニ付テハ甚ダ遺憾トスルノデ  
アリマス、斯様ナ事情デゴザイマスルカ故ニ、我ガ憲政會ハ  
昨年ノ末ニ於キマスル大會ニ依シテ決議セラレタル所ノ政  
策ノ一項ニ軍備縮少ニ依シテ生ズル所ノ財源ハ、先以テ之

ヨ軍縮ニ伴フ必要ナル經費ニ充ツト云フコトヲ明記致シテ  
廣ク天下ニ之ヲ公示致シタノデアル、此趣旨ニ於キマシテ  
本員ハ之ヲ決議案ト致シテ提出致サウカト存ジテ居タノ  
デアリマス、所ガ時偶々各派ノ有志ニ依テ一致ノ歩調ヲ以  
テ、只今上程セラレタルガ如キ建議案トシテ、提出スルニ至  
タト云フコトハ、目的ヲ貫徹スル上ニ於キマシテ、誠ニ至便  
デアリ、甚ダ本員ノ至幸トスル所デアリマス、申上げル迄モナ  
ク華盛頓會議ニ於ケル所ノ協約ハ、今ヤ既ニ終結ヲ告ゲテ、勿論全土三瓦ツテ廣ク  
及ブコトニアラウト思ヒマスガ、併ナガラ何ト言テ此打擊、  
居ル、隨テ近ク御批准ニ俟チマシテ、軍備縮少ト云フモノガ  
實行セラル、ダラウト思フ、軍備縮少ガ實行セラル、曉ニ於  
キマシテハ、其影響其打擊ノ及ブ所ハ、勿論全土三瓦ツテ廣ク  
此影響ヲ最モ深刻ニ更ニ又最モ直接ニ被ル所ノ者ハ、即チ本  
建議案ニ掲ゲテアル通りニ、軍備ノ作業ニ從事致シテ居ル所  
ノ即チ勞働者デアルノデアリマス、此勞働者ガ直接ニ而モ深  
刻ニ打擊ヲ被ルト同様ニ、更ニ又海軍ノ將校ノ如キモ亦其  
中デアル、今一ツ進ンデ同様ナル打擊ヲ被ル所ノ者ハ、軍港ノ  
存在ニ依ツテ生レ出デタル所ノ軍港都市デアリマス、御承知  
ノ如ク軍港都市ト云フモノハ、軍港ニ依ツテ生レタト同時ニ  
軍港ノ消長ニ依ツテ軍港都市ハ同ジク消長致スノデアル  
故ニ軍港都市ノ市民ト致シマシテ、幾十萬ノ市民ハ今ヤ將  
ニ將來ヲ顧ミテ不安ノ状態ニ陥テ居ルト云フコトハ事實  
デアリマス、而シテ官營工場ニ於ケル所ノ勞働者、此勞働者、  
等勞働者ノミデハゴザイマセヌ、恐ラクハ政府當局セ爾ク信ジ  
テ居ラレタノデアル、又吾ヒ一般國民モ爾ク信ジテ居タ  
ノデアル、故ニ彼等勞働者ハ、軍備ニ關スル所ノ政策作業  
ニ從事致シテ居ルコトハ、決シテ一時的ノモノデナイ、是ハ  
永久的ノモノデアル、斯様ニ信ズルカ故ニ、一般普通ノ民營  
工場ニ於ケル勞働者ニ對スル所ノ給與金、或ハ賞與金、其  
他待遇ニ於キマシテモ、官營工場ノ勞働者ハ甚ダ冷タク扱  
ハレテ居タノデアル、斯様ニ冷タク扱ハレテ居リマシテモ、尙  
ホ依然ト致シテ其處ニ勤務スルト云フコトハ、即チ只今申  
上ゲルガ如クニ、永久失職ノ憂目ニ遭遇スルト云フコトハナ  
イモノト信ジテ居ルガ故ニ、勤續致シテ居ルノデアル、而モ誠  
實ニ終身自己ノ勞務ハ保障セラレタルモノトシテ從事致シ  
テ居タノデアリマス、斯様ナ例ハ直ニ諸君ニモ御分リニナラ  
ウト思ヒマス、先年歐洲ノ戰亂當時ニ於キマシテ、我が帝國  
ノ財界ハ甚ダ好調アツタ、此時代ニ於テ勞力ト云フモノガ  
頗ル缺乏致シタノデアル、故ニ一般營利會社ハ其當時勞  
力ヲ充スペク高給ナル所ノ給與金、高給ナル所ノボーナス

有ユル方法ヲ以テ彼等官營工場ノ労働者ヲ誘致シタノ  
デアル、併ナガラ今申上ダタ如ク、永久失職ノ憂目ヲ見ザルト  
云フコトヲ唯一ノ樂ト致シテ、一時ノ利益ニ迷ハズ誠實ニ、而  
モ謹直ニ勤績シ來テ居ルノアリマス、是ガ國家ノ政策ノ  
爲ニ彼等ヲシテ失業セシムルト云フコトガアタナラバ、終身  
勞務ニ付テノ保障ヲ持テ居ルト信ジテ居タ所ノ彼等ノ確  
信ト云フモノハ、全ク裏切ラレルコドニ相成ルノアリマス、  
殊ニ又官營工場ノ労働者ハ、是ハ全部トハ申シマセヌガ、  
爲ニ彼等ヲシテ失業セシムルト云フコトガアタナラバ、終身  
勞務ニ付テノ保障ヲ持テ居ルト信ジテ居タ所ノ彼等ノ確  
信ト云フモノハ、其勞務ノ性質ト云フモノハ御推察下  
サルデアラウト思ヒマスガ、至テ特殊的デアリ、専門的デアル  
専門的デアリマスルガ故ニ、隨テ他ノ普通一般ノ民營會社  
ニ共通スルト云フコトガ甚ダ困難デアル、通用スルト云フコ  
トガ困難デアルガ故ニ、隨テ是ガ終身的ノ仕事ト相成ルノ  
デアル、此専門的ニ多年鍛上げタル所ノ其技能ト云フモノ  
ニ依テ、今日現在得テ居ル所ノ收入ヲ假ニ他ニ轉業シ得  
タト致シマシテモ、現在ト同様ノ收入ヲ得ルト云フコトハ頗  
ル至難デアル、斯様ナ不自由ナル場合ニ立至ルノアリマス  
デ斯ノ如ク甚ダ専門的デアリ、區域ガ狹ク其通性ニ乏シイ、  
斯様ナ點ハ恰モ軍屬軍人ト相共通シテ居ル點ガ澤山アル、  
私ハ此機會ニ於キマシテ、尙ホ政府當局ニ此將校ニ對スル  
將來ノ生活ノ保障ニ付テ、十分ノ御攻求ヲ願ヒタイト思ツ  
テ居ルノアリマス、海軍將校ハ從來社會ニ於キマシテ多  
少ノ尊敬ヲ受ケ、多少ノ生活上ノ保障ヲ得テ居ル譯デア  
リマスケレドモ、此將校ハ何等ノ自己ノ過失モナク、更ニ又  
自己ガ無爲無能ニアラズシテ、更ニ又將校ハ青年ノ時ヨリ  
特殊ノ教育ヲ受ケ、特殊ノ技能ニ長ジテ居ルノアリ、是が  
軍備縮少ノ爲ニ職ヲ失ハレ、他ニ轉業セヨト言ダ所デ、轉  
業スルコトガ出來ナイ、殆ド是ハ不可能デアラウト思フ、  
現在退職手當ノ制ハ勿論ゴザイマスケレドモ、此退職手當  
ノ制ト云フモノハ、謂ハハ舊式ノ頭ニ依テ作ラレタ所ノ制  
度デアラズ、斯ノ如キ異様ノ事情ニ於テ失職スル場合ニ  
於テハ、何等ノ意義ヲ爲サナイト云フコトニ相成ラウト思フ  
ス、事業振ハズシテ事業ニ依テ利益ヲ出シ得ナイミナラ  
ズ、寧ロ損失ヲ被テ會社ヲ閉鎖スル爲ニ、労働者、從業者  
員ヲ餓首シ、解僱スルト云フ場合ニ於テスラモ、現在ニ於テ  
ハ彼等ガ就職口ヲ見付ケルノミ、十分ナル期間ヲ見越シテ、  
般ノ營利會社、民營ノ會社ニ於キマシテ、而モ其會社ガデ



度ニ於テ五億五千七百万圓ノ多額ニ上<sup>マ</sup>テ居ルノアリマス、是ハ大正九年度ノ豫算デアリマスルガ、大正十年度、大正十一年度ハ更ニ此金高ガ、此以上ニ増額ヲ致シテ居ル。ト信ジマス、之ニ對シテ大正十一年度ノ過日本會議ニ於テ論議サレマシタル豫算ノ中ニ於テ、國稅トシテ國民三賦課サルベキ租稅ノ總額ハ七億三千四百万圓デアリマス、之ヲ雙方合セマスト、現在日本ノ國民ハ少クモ、十三億圓以上ノ租稅ヲ負擔シテ居ルト云フ有様ニナ<sup>ツ</sup>テ居ルノアリマス、此多額ノ負擔ノ中ニ於テ、帝國ノ教育ニ向<sup>ツ</sup>テ使<sup>ツ</sup>テ居ル金ガ、ドノ位ノ金高ニ上<sup>マ</sup>テ居ルカト云フコトヲ更ニ内譯ヲ致シテ見マスルト、約二億八千万圓ニ達シテ居ルノアリマス、此教育費ノ中ニ於テ、小學校ノ教育費ガ其大部分ヲ爲シテ居ルト云フコトハ申ス迄モナイ事、吾<sup>ミ</sup>ハ此莫大ナル地方政府ノ負擔ノ救濟ヲ圖リ、地方民ノ負擔力ノ増大ヲ圖ル意味ニ於テ、少クトモ市町村ノ財源ニ對シテ、相當ノ屈伸力ヲ與ヘタイト云フ考ヲ常ニ持<sup>ツ</sup>テ居ルノアリマス、言葉ヲ換へテ申シマスルナラバ、市町村住民ノ負擔ノ輕減ヲ圖リタイアリト云フコトヲ常ニ考ヘテ居ルノアリマス(拍手)此方法ハ獨リ國費ヲ以テ、此多額ナル自治體ノ經費ニ補助ヲ與ヘルトシテ地方民ノ負擔力ノ屈伸力ノ増大ヲ圖ルコトモ一ツノ方法デアラウト思フノアリマス、併ナカラ之ヲ爲スニハ尙ホ多數ノ日子ヲ要シ、多數ノ手續ヲ要スルノアリマスガ、大正十一年度ヨリ直ニ此場合ニ實行ヲシナケレバナラヌ問題ハ、其中ニ於ケル教育費ノ問題デアリマス、殊ニ小學校ノ教育費ニハ國民全體ノ教育ノ普及ヲ圖ル上ニ於テ、國家ニ於テ主トシテ之ヲ爲スベキモノアリマス、此見地ヨリ試ニ列國ノ狀態ヲ見ト致シテ居ルノアリマス、此見地ヨリ試ニ列國ノ狀態ヲ見マスルト、獨逸ニ於テハ小學校教育費ニ對スル三割強ヲ、國費ヲ以テ負擔ヲ爲シテ居リマス、英吉利ニ於テハ六割強ノ負擔ヲシテ居リマス、佛蘭西ハ七割、亞米利加ハ各州ニ依<sup>ツ</sup>テ多少ノ差ガアリマスルガ、大體ニ於テ殆ド半額ヲ國費デ負擔ヲ致シテ居ルノアリマス、我國ハ大正十年度ノ豫算ニ依リマスト、小學校ノ教育費ノ總額ハ一億八千七百七十萬圓、其中ノ大部分ハ小學校ノ教員俸給デアリマシテ、國費ニ對シテ一割ニ足リナイ金ヨリ國費ノ負擔ハナノニアリマス、斯<sup>ノ</sup>如キ狀態ヲ持續致シマスルコトハ、地方民ハ堪へ難キ負擔ヲ負ウテ、是ガ爲ニ警察費、土木費、勸業費、其百五十萬圓、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、小學校教育費ニ對シテ一割ニ足リナイ金ヨリ國費ノ負擔ハナノニアリマス、斯<sup>ノ</sup>如キ狀態ヲ持續致シマスルコトハ、地方民ハ堪へ難キ負擔ヲ負ウテ、是ガ爲ニ警察費、土木費、勸業費、其

○議長(奥繁三郎君) 日程第十八ニ付テ、樋口秀雄君  
〔樋口秀雄君登壇〕  
國庫負擔額増加ニ關スル建議案ノ趣旨ハ、只今國民黨ヲ  
代表シテ砂田君ノ御述ニナリマシタ案ト殆ド同一ニアリマ  
ス、即チ小學校教育ノ待遇ヲ改善致シ其品位ヲ向上セシ  
メテ國民教育ノ振興ヲ圖ルノガ刻下ノ急務デアリマス、然  
ルニ近年市町村ニ於ケル義務教育費ノ負擔が多額ニ上リ  
マシテ、爲ニ市町村ノ財政上危殆ニ瀕シテ居リマスガ爲ニ、  
吾ニハ市町村教育費國庫負擔法制定ノ當時ノ本旨ニ則  
リマシテ、政府ハ速ニ本年度ヨリ増額支出サレンコトヲ望ム  
ト云フノガ建議案ノ趣意デアリマス、只今砂田君ガ英米各  
國ノ例ヲ引イテ御話ニナリマシタ通り、歐米ノ各國ニ於キ  
マシテハ戰前ニ於テモ然リニアリマシタガ、戰後ニ於テモ一  
層此普通教育、國民教育ノ充實ニ全力ヲ傾注シテ居ル次  
第ニアリマス、其戰前ニ於ケル英、佛、米等ノ各國ガ、義務  
教育費ニ對シテ多額ノ國庫ノ負擔ヲ致シテ居リマスルコト  
ハ、砂田君ノ御申述ニナク通りアリマス、其上ニ尙ホ教  
育費全體ト、國庫ノ歲入歳出ノ總豫算等ノ關係ヲ見マシテ  
モ、著シク我國トハ徑庭ガアルノデアリマス、例ヘ英吉利ノ  
教育費ニ對シテ多額ノ國庫ノ負擔ヲ致シテ居リマス、此行政費ノ總額ニ比較  
例ヲ引キマスルト云フト、英吉利デハ本年度ノ豫算ハ行政  
費ノ總額ガ三億八千万磅、即三十八億圓デアリマス、之ニ  
對シテ教育費ノ總額ガ六千四百五十万磅、即チ六億四千  
五百万圓ノ多キニ達シテ居リマス、此行政費ノ總額ニ比較  
致シマスルト、教育費 文部省ニ於テ使ハレテ居ル所ノ全ハ  
約一割六分五厘ニ當テ居リマス、更ニ英吉利政府ニ於ク  
ル歲入歳出總豫算ニ較ベマスルト云フト、約五分ニ當テ居ル  
ノデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ、文部省ノ經費ハ  
數年來次第ニ增加ハ致シテ居リマスル、ガ本年度ノ豫算ヲ  
見マシテモ、約二千二百万圓少シ追エテ居ル許リ、之ヲ十  
四億ニ達シマスル所ノ總豫算ニ比較シマスルト云フト、殆ド  
物ノ數ニモナラヌ程度ニアリマス、又英吉利ニ於ケル此教  
育費、就中總テノ國家カラ補助致シマスル文化施設ニ對ス  
ル英吉利ニ於ケル支出額ニ較ベマスルト云フト、此教育費  
ハ約七割八分ニ當テ居ルノデアリマス、更ニ其陸軍、英吉  
利ノ陸軍ノ總經費ニ比較致シマスレバ、殆ド六分八厘、海  
軍ノ經費、世界第一ノ海軍國ト申シテ居リマスル英吉利ノ  
大海軍ノ經費ニ比較致シマスレバ、八割ニモ達シテ居ルノ  
デアリマス、現内閣ノ諸公ハ屢々財政問題ニ付キマシテモ、  
物價問題ニ付キマシテモ、世界ノ大勢ト云フコトヲ仰セラレ  
テ居リマスルガ、世界ノ大勢ハ戰前ヨリハ戰後ニ於テ、更ニ  
此教育文化的施設、就中國民教育ニ全力ヲ擧ゲン、アリ  
マス、即チ千九百十九年戰爭——世界戰爭終結ノ年ニ於

卷之六

〔守屋松之助君登壇〕  
○守屋松之助君　只今國民黨ノ砂田君、並ニ憲政會ノ  
樋口君ヨリ本案ニ對シマシテ、十分ナル御説明ガアツノデ  
ゴザイマス、本員ハ昨年第四十四議會ニ於キマシテ、本案ノ  
骨子タル義務教育國庫負擔法ノ改正法律案ヲ提出シタ  
ノデアリマス、然ルニ政府ハ義務教育費ニ付テ整理節約ヲ  
スル、若クハ増加シテモ構ハナイト云フ意味ノ御明言ガアタ  
ノデアリマスカラ、尙ホ其上三政友會ニ於ケル井上角五郎君  
ノ提出ニ依リマスル教育費整理ニ關スル建議案ガ、吾ニ提  
出ノ案ト同一ノ委員會ニ付託サレタコトニ依リマシテ、委  
員會ノ協調維持ヲ保ツ爲ニ私ハ法律案ヲ撤回致シマジテ、  
政友會ノ案ニ賛成致シタ一人デアリマス、然ルニ政府ハ昨  
年以來臨時教育行政調査會ヲ設置サレマシテ、サウシテ此  
調査會ニ御提案ニナリマシタ第六號ヨリ第一號案ニ至ル  
案ヲ見マスルノニ、私等ガ期待致シテ居リマシタル所ノ教育  
整理ニ對シテハ、甚ダ遺憾ナガラ裏切ラタノデアリマス、此  
點ニ依リマシテ、更ニ本員ハ此議會ニ於テ建議案ヲ提出ス  
ルノ已ムナキニ至ラタノデゴザイマス、而シテ此建議案ヲ提出  
致シマス多クノ理由ハ、先程國民黨並ニ憲政會ヨリ御説  
明ニナリマシタコトニ依リマシテ、十分ナル意味ヲ盡シテ居  
ルノデアリマスルガ、要スルニ國家ハ國民教育ノ基礎ヲ國民  
ニ要求シテ居ルノデアル、同時ニ又國家ハ國民教育ヲ施ス  
ベキ義務ガアルノデアルト私ハ信ズルノデゴザイマス、尙ホ更  
ニ進ンデ是等ノ國民教育ノ義務ヲ果ス爲ニ法律命令ニ依  
リマシテ、町村ニ向シテ色々ナル施設ヲ強要サレテ居ルノデア  
リマスルガ、此強要ニ對シテ町村ハ費用ノ負擔ニ堪ヘナイ、  
先程申セラマシタ通ヨニ、大正七年ニ於ケル國庫負擔法制  
定ニ於テ、其當時ニ於ケル町村費ノ費用ト今日大正十年  
ノ調ニ依リマス費用トヲ比較致シマスト云フト、殆ド二倍  
四分ノ増加ニ至ニテ居ルノデゴザイマス、斯ノ如ク町村費ハ  
増加シテ居リマスカラ、ソレガ爲ニ町村ハ自治體ノ本體ヲ  
盡スコトガ出來ナイ狀態ニ在リマシテ、教育費ニ對シテハ  
汲々トシテ費用ヲ支出シ、其他勸業並土木費ニ對シテハ、殆  
ド町村ガ施設スペキ總代ノ事業ヲ放棄スルノ已ムナキニ至  
テ居ルヤウナ狀態ニナッテ居ルノデゴザイマス、サウシテ一而

是等ノ町村ニ於ケル小學校ノ施設經營ハ、如何デアルカト云フコトヲ觀察致シマシタナラバ、遺憾ナガラ吾々之ガ期待シテ居リマス所ノ施設經營ニ付テハシテ居ラナイノデアリマス殊ニ教員ノ優遇方法デアリマス、是ハ先程憲政會ノ権口君ヨリ申サレマシタ通りニ、教員ノ優遇ノ途ヲ講ジテ云フコトガ第一義デアル、即チ兒童ノ教員ヲ直接ニ掌<sup>ツ</sup>テ居ル所ノ教員三對シテハ、相當ナ優遇ノ途ヲ講ジテ遣ラケリヤナラナガ、是ハ俸給ニ對シテノ増加、即チ物質的ノ増加ハ或ハ行<sup>ス</sup>ジテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、現在小學校教員ノ俸給ヲ增加シタデハナイカト云フ論者ガ或ハアルカモ知レマセヌガ、是ハ俸給ニ對シテノ増加、即チ物質的ノ増加ハ或ハ行<sup>ス</sup>ジテ居ルカモ知シマシタナラバ、恐ラクハ彼ノ肉體勞働ヲ以テ精神的待遇ニ於テハ或ハ缺陷シテナイカト云フコトヲ御承知ニナリマスレバ、此點ニ付テ大ニ考慮シナケレバナラヌト私ハ信ズルノデゴザイマス、譬<sup>ヘ</sup>テ申シマスレバ——一例ヲ舉ダテ申シマスレバ、現在小學校ノ教員ガ、ドレ程ノ時間ヲ小學校教育ニ——小學校ノ教授ニ時間ヲ費シテ居ルカ、又小學校ノ教員ガ此教授時間ニ費ス爲ニ色ニナル教案ノ整理或ハ答案ノ處理ニ對シテドレダケ時間ヲ費シテ居ルカト云フコトヲ考慮致シマシタナラバ、恐ラクハ彼ノ肉體勞働ヲ以テヤカマシク言<sup>ハ</sup>テ居リマスル八時間勞働以上ノ勞働ニ服シテ居ナイトカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、吾々が最モ心配致シマスノハ、是等ノ大切ナル國民ノ基礎教育ヲ受ケベキ、サウシテ國民道徳ノ基本トナルベキ小學校ノ教員ガ、斯<sup>ク</sup>モ多數ノ勞働時間ヲ費シ、而モソレガ精神的ニ内體的ニ於テ費シテ居ルコトヲ考ヘマシタナラバ、何所カニ是等ノ優遇ノ途ヲ講ズルハ色ニナル形式ヲ要シマスルケレドモ、是ハ矢張町村ノ費用ヲ要スルノデゴザイマス、尙ホ町村ノ費用ヲ要スルト同時ニ、之ニ對シテ町村ガ教員ニ對スル精神的懸安ヲ與ヘル、何等ノ施設ヲ爲シテ居ナイト云フコトヲ遺憾ニ思フノデゴザイマス、更ニ進ンデ小學校ノ現狀ヲ考ヘテ見マスレバ、正教員ノ數ト准教員、代用教員ノ數ノ比例ハ、吾々が期待シテ居ル程比例ガ少クナインデアリマス、即チ正教員ノ數ト准教員、代用教員ノ數トヲ比較シマスレバ、約三割ノ數ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、正教員ノ數ハ即チ各府縣ニ於ケル師範學校卒業生ニ依テ、補充スルコトガ出來ルト考ヘマスケレドモ之ニハ二ノ理由ガアラウト私ハ信ジマス、其第一ハ各縣ニ於ケル經濟費ノ關係デ、尙ホ此正教員ヲ補充シタトキニ於テ、町村ガ之ヲ引受ケルヤ否ヤト云フ關係デ、尙ホ町村ニ於ケル教員ノ老朽淘汰ノ關係ニ依リマシテ、成ベク正教員ノ數ヲ少ク養成スルヤウナ途ヲ執<sup>ス</sup>テ居ルノデハアルマイカト思フノデアリマス、又一ハ町村ニ於テハ正教員ノ數ハ成ベク少クシテ、サウシテ町村費ノ輕減ヲ圖リタイ

卽チ自己ノ財政難ニ對シテ、相當ニ苦痛ヲ遁レルコトノ出來ルヤウニシタイト云フ希望カラ致シマシテ、成ベク其配當ヲ受ケナイヤウニシテ居ルノデハナイカト思ヒマス、此二ツノ理由ヲ綜合シテ見ルト、詰リ町村ノ財政ガ、優良ナル教員ヲ受ケル資格ガナイ程、町村ノ財政ニ窮乏ヲ來シテ居ルト云フコトヲ證スルノデアリマス、教員ノ素質ノ善イ惡イト云フ事ハ吾と最モ心配致シマス、全國ノ兒童三百八十万人々感化ニ於テ、將來如何ナル影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ考ヘタナラバ、ドウシテモ教員ノ素質品位ノ改造ト云フ事ニ對シテ居ルノヲ、政府ハ今日迄開却シテ居ルノデアルカドウカ、大正七年國庫負擔法が制定セラレマシタ當時カラ、今日ノ教育費ハ殆ド倍額以上ニ達シテ居ルノデアリマス、此倍額以上ニ達シテ居ルノヲ、政府ハ今日迄開却シテ居ルノデアルカドウカ、トシテ見テ居ルノデハナイカト云フ感ジガアルノデアリマスが幸ニシテ議會ノ初頭ニ於テ、總理大臣ハ太平洋會議ノ結果、海軍縮少ニ依リマシテ、教育費ニ對シテ相當ナル增加ヲスルト云フ御明言ガアッタノデゴザイマスガ、或ハ此明言ハ願クハ此重要問題ニ對シテ一時ノ御座ナリデナイヤウニ、相當ナル御考慮ヲ願ヒマシテ、現在支給シテ居リマス教員俸給ノ、少クトモ半額以上ハ國庫が負擔ヲシテ戴キタイコトヲ希望スルノデアリマス、此町村ノ窮乏ニ對シテハ、町村以外ニ誰モ之ニ對シテ負擔ヲシテ補助スル者ガナイノデアリマス、單リ政府ノ力ヲ待ツヨリ外ニハナイノデアリマス、ソレガ爲ニハ全國ノ町村長ハ勿論、其他ノ有識階級ノ者ハ、此問題ニ對シテハ殆ド普通選舉問題以上ノ熱誠ヲ以テ政府ニ迫テ居ルト云フコトハ私ノ言ヲ待タヌデモ既ニ御承知ノコト、存ジマス、願ハクバ本案ハ全會一致ヲ以テ通過スルコトヲ偏ニ希望致シタインデゴザイマス

割二分、市ノ方ニナリマスト、幾分數字が違ヒマスガ、大正七年ニハ一割二分、大正八年ニハ一割七分、大正九年ニハ一割二分、斯様ナ状態デ負擔ノ額八年々加ハルト云フ状態ニナッテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シマシテ政府ハ小學教育ノ爲ニ、即チ明村ノ負擔ノ輕減ヲ圖リ、又教員ノ優遇ノ途ヲ講ジ、小學教育ニ從事致シマスル所ノ此重大ナル職責ヲ持テ居ル教員ガ、安ンジテ吾ニ少年ノ教育ニ當ルト云フ方法ヲ執ルト云フコトハ、極テ重大ナ事デアルト信ズルノデアリマス、政府ハ或ハ高等ノ教育ニ、或ハ大學ノ教育ニ著々解決ノ方法ヲ執テ居ルノデアリマスルガ、是ト同時ニ中等教育及小學教育ニ對シテ、同ジク苦心ヲシテ居ルト云フコトハ吾ニハ之ヲ認メルノデアル、併ナガラ此苦心ガ唯苦心ダケニ止ラズシテ、直ニ實際ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ望ム次第デゴザイマシテ、本建議案ヲ提出シタ理由デアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君)　此四案ノ説明ヲ終リタル場合ニ於テ質疑ガアルト云フコトデ、野溝君ヨリ通告ガアリマス、之ヲ許シマス

〔野溝傳一郎君登壇〕

○野溝傳一郎君　私ハ此小學教育問題ニ關シテ、政府當局ニ質問書ヲ提出致シテ置イタノデアリマスルガ、丁度本案ガ上程ニナリマシタニ付キマシテ、之ヲ審議スル上ニ於テ、私ノ曩ニ質問書ヲ出シマシタ其點ヲ此場合伺シテ置クトガ便宜ト考ヘマシテ、茲ニ當局ノ御意嚮ヲ伺ハウツスルノアリマス

○議長(奥繁三郎君)　此案ノ提出者ニ質問ト達ヒマスカ

○野溝傳一郎君　政府ノ意嚮ヲ…

○議長(奥繁三郎君)　豫テ質問ガ出テ居ル…

○野溝傳一郎君　サウデス

○議長(奥繁三郎君)　ソレハ矢張當リ前ノ質問ノ時ニヤアテ戴キタイ、質問ガ既ニ出テ居リマスナラバ…

○野溝傳一郎君　ケレドモ本案ヲ審議スル上ニ付テ…

○議長(奥繁三郎君)　本案ニ付テノ質疑ナラ宣シイ

○野溝傳一郎君　當局ノ意嚮ヲ質シタイト思ヒマス(ヤリ給へ)「ヤリ給へ」下呼フ者アリ此小學校ノ教育費問題ヲ容レラレテ、地方教育行政調査會ヲ設ケラレテ、サウシテ云フコトハ、今更呶々ヲ要シナイン所デアリマス、ソレ故ニ政府當局ニ於カレテモ、前議會ニ於テ本員ガ建議シタ所ノ趣意解消ヲセナケレバナラヌト云フコトガ、刻下ノ急務デアルト云フコトハ、今更呶々ヲ要シナイン所デアリマスルガ、爾來此調查會ノ經過ヲ見テ居リマスルト云フト、既ニ其設置以て半歳以上ヲ經過致シテ居ルニモ拘ハラズ、今ニ至テモ尙ホ何等ノ成案ヲ得テ居ラレバ、唯僅ニ假決議ト云フモノガ

出來テ居ルノデアル、併ナガラ其假決議ハ發表ニナルト同時ニ世上ノ非常ナル物議ヲ醸シテ居ルト云フヤウナ次第デアッテ、今後是ガドウ云フコトニ處置サレルヤト云フヤウナ事ニ付テハ、滿天下非常ナル疑惑ヲ持テ居ルノデアリマス、ソコデ此教育費ノ解決ニ付キマシテ、當局ガ是迄ニ漏ラサレタ所ノ意嚮ヲ承リマスルト、當局ニ於テモ最早ドウシテモ、此解決ヲシナケレバナラスト云フコトハ認メテ居ル、相當ノ増額ヲシテヤラケレバナラスト云フコトハ認メテ居ル、ソレニ付テハ海軍制限ノ結果、ソレヨリシテ相當ノ金ガ生ミ出サレルノデアルカラシテ、之ヲ振り向ケルト云フヤウナ事ヲ漏サレ、ツイ先頃全國町村長ノ代表者ガ、當局者ト會見シタ場合ニ當リマシテモ、矢張當局者ハサウ云フヤウナ意嚮ヲ以チマシテ、何レ其中ニ臨時議會ヲ開イテ、其場合ニ追加豫算トシテ之ヲ計上シヤウト云フヤウナコトマテ言ハレタト傳ヘラレタガ、其事ハ其後ニ至テ當局カラシテ取消サレテシマテ居ルヤウナ譯デアル、ソレ故ニ今日迄ノ當局者ノ態度ニ付テ見マスレバ、全ク此問題ニ對シテ如何ナル御考ヲ持テ居ルノデアルカ、洵ニ有耶無耶ニ歸シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、今日此地方ノ自治體ハ御承知ノ如ク、來年度ノ豫算ヲ決定セネバナラヌ時期ニ際會シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ其町村費ノ大部分ヲ占メテ居ル所ノ教育費ニ關係シタル此問題ガ、如何ニ解決ヲサレルカト云フコトニ付キマシテ、其事が判然シマセヌ爲ニ、町村トシマシテハ來年度ノ事業計畫ヲ如何ニズベキカ、政費ノ安排ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付テハ、非常ナル當惑ニ陥リ居ルコト、斯ウ思フノデアリマス、此等ノ點ヲ當局が顧ミラレマシタラバ、一日を速ニ此解決ヲ告ダラレナケレバナラヌ、相當ノ處置ヲ講ゼラレナケレバナラナイトスウ思フノデアリマスルノニ、只今申上ダタヤウナ態度デアル、而モ此事が前年來ノ懸案デアルニモ拘ラズ、當局ハ海軍制限ノ結果生ミ出サレル所ノ其金ニ依テ此解決ヲ付ケヤウト云フヤウナコトヲ言ハレルコトハ、吾ニハ甚ダドウモ其意ヲ得ナイト思フノデアリマス、此海軍制限ノ事ハ、言フマテモナク是ハ天カラ降テ湧イクヤウナ事デアルノデアリマス、斯様ナ事ヲ當ニシテ此懸案ヲ解消シヤウトナサレルノデアルカ、若モ此海軍制限ノ事ガ現レテ來ナカタナラバ、當局ハ如何ニシヤウト爲サルノデアリマスカ、ソレヤ是ヤヲ考ヘテ見マスルト、當局ノ此問題ニ對スル態度ト云フモノハ如何ニモ不深切デアル、如何ニモ不誠意デアルトスウ思フノデアリマス、然ルニ今日又此建議案ヲ持出サレルノデアリマスルガ、當局ノ斯様ナ態度ヲ以テシマシテハ、折角此議會ニ於テ全員一致デ之ヲ決議致シタシマシテモ直ニ其目的ヲ達シ得ラレルヤ否ヤ、甚ダ疑ハシク思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此場合ニ於テ、當局ハ此建

○議長（奥繁三郎君） 中橋文部大臣  
〔國務大臣中橋德五郎君登壇〕  
○國務大臣（中橋德五郎君） 只今各派ヨリシテ國庫負擔金ノ増額ノ御建議ヲ御提出ニナリマシテ、各々其御説明ナサル御方ノ御演説ヲ拜聽致シマシタ、當局ニ於テハ大體ニ於テハ御同意ヲ致シテ居ル譯デアリマス、色ニ其中ニ理由ヲ御述ニナリマシタガ、ソレニ付テ一々當局ノ意見ヲ申上げルノモドウカト思ヒマスルカラ、大體ヲ御詰致シマス、昨年地方教育行政調査會ヲ、當局が當院ノ建議ニ基キマシテ、設置致シマシタヤウナ譯デアリマス、之ニ付キマシテハ、色ニダルノモドウカト思ヒマス、當局ト致シマシテハ、十一年度豫算編成ニ申述ベマシタヤウニ、軍縮ノ金ガ出ル其曉ニ、之ヲ以テ第一此補助費ニ充テル、斯ウ云フノニ御同意ノ御方モアルヤウニ見受ケマス、當局ト致シマシテハ、十一年度豫算編成ニ推測モアリ、疑惑モアリ、誤解アルヤウニ思ヒマス、當局ノ考ハ、是ハ年々教育費ガ増額スルモノデアリマスカラ、之ヲ一面ニハドウシテモ而ニハ整理ノ途ガアレバ出來ルダケ整理シテ見タイ、有效ニ之ヲ使ヒタイト云フ考ヲ執テ居リマス、一面ニハドウシテモリ考ヲ持テ居ル譯デアリマス、唯中ニハ當局ノ頻リニ誠意ヲ御疑ヒニナッテ、今日マテ出サナイノハドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ洵ニ殘念デアリマス、當局ハ之ニ對シテ年々國庫ノ補助ヲ増額ヲ致サレバナラスト云フコトヲ豫テヨリ支出スルヤウニト云フ御趣意ガ多イ、ソレニ加フルニ町村心配ヲシテ居ル次第アリマス、又此方法ニ付キマシテハ、今日御提出ニナリマシタル建議案ニ於キマシテモ、色ニ違シテ居ルヤウニ見受ケマス、或ハ教員ノ俸給ノ半額ヲ國庫ヨリ支出スルヤウニト云フ御趣意ガ多イ、ソレニ付キマシテハ、

シナケレバナラスト云フ考ヲ持テ居リマス、之ニ反シマシテ、ソレカラ十一年度ノ追加豫算ニ提出ヲシロト云フ御注意ガアリマシタ、又中ニハ先日總理大臣ガ施政ノ方針ニ付テ申述ベマシタヤウニ、軍縮ノ金ガ出ル其曉ニ、之ヲ以テ第一此補助費ニ充テル、斯ウ云フノニ御同意ノ御方モアルヤウニ見受ケマス、當局ト致シマシテハ、十一年度豫算編成ニ當リマシテ、色ニ財源ヲ見付ケルコトニ苦心ヲ致シマシタ、又ソレニ付テ方法モ考ヘマシタケレドモ、是ハ今日當局ノ苦心トシテドウソ御聽ク願ヒタイト思ヒマス、其折丁度此華盛頓會議ノ軍縮ノ問題ガ米國ニ於テ發議ヲサレタト云フコトデアリマスカラ、我國ノ大體ノ財政ト云フモノニ對シテ影響ヲ及ボシタ、即チ好影響ヲ及ボシタ譯デアリマス、是ナラバ此會議ヲ終ルノヲ待ツノガ目的ヲ達スルニ宜カラウ、金ヲ支出ヲ致シマシタ所ガ、出ス以上ハ相當ノ金額ヲ出サナケレバナラヌ、是ナラバ或ハ相當ノ金額ヲ支出スル途ガ開ケルダラウ、斯ウ云フ事ニ當局ハ苦心致シマシテ、十一年度追加豫算ヲ提出スルノヲ止メマシタノデアリマス、財源ガ乏シノデアリマス、ソレニ付キマシテ先程政府ハ、折角高等教育ノ財政ノ救濟ヲ致シタイト云フコトニナシテ居リマス、當局ガ今日マテ實行致シマシタル建議案ニ於キマシテモ、色ニ違シテ居ルヤウニ見受ケマス、或ハ教員ノ俸給ノ半額ヲ國庫ヨリ支出スルヤウニト云フ御話ヲ承リマシタガ、是ハ蓋シ御記憶違ヒ、格違ヒダラウト思ヒマス、又格違ヒデモソレ程モ話ガアリマシタ中ノ一例ニ、一億五千萬トカ、高等教育機關ニ金ヲ出斯塔ラウト云フ御話ヲ承リマシタガ、是ハ蓋シ御記憶違ヒ、格違ヒダラウト思ヒマス、又格違ヒデモソレ程モ出ナイカモ知レマセヌト云フヤウナ譯デアリマス、從來高等教育機關ニ力ヲ用キタ、斯ウ云フ御話ガ段々アリマスルガ、無論其通リテアリマス、當局ハ熱心ニ高等教育機關ノ擴張ニ力ヲ用キマシタ、之ニ一大缺點アリト思ヒマシタカラ、之ニ力ヲ用キタノデアリマス、然ルニ初等教育ニハドウデアスノハ小學校ノ教員ノ給料ノ補助ト致シマシテ、前内閣ノルカ、初等教育ニ向テモ餘リニ政府ハ力ヲ用キナイト云フヤウナ御話ガ段々アリマスガ、是ハ國庫ノ金ヲ使シタト云フダケノ單純ナル意味ト、私ハ解釋スルノデアリマス、ト申シマスノハ小學校ノ教員ノ給料ノ補助ト致シマシテ、前内閣ノ時ニ一千方圓ヲ支出シ、ソレガ今日ニ來テ居リマス、現内閣ニナリマシテ、是ハ急速ニ實行ヲスル考デヤリマシタノデ、市町村テ之ヲ支拂フ、斯ウ拂フニ其村ノ資力ガ乏シイ、斯ウ云フノハ第一ニ之ヲ救濟

云フコトニナシテ居リマス、殆ド教員ノ給料ヲ倍ニシタ、シナケレバナラスト云フ考ヲ持テ居リマス、之ニ反シマシテ、ソレカラ十一年度ノ追加豫算ニ提出ヲシロト云フ御注意ガアリマシタ、又中ニハ先日總理大臣ガ施政ノ方針ニ付テ申述ベマシタヤウニ、軍縮ノ金ガ出ル其曉ニ、之ヲ以テ第一此補助費ニ充テル、斯ウ云フノニ御同意ノ御方モアルヤウニ見受ケマス、當局ト致シマシテハ、十一年度豫算編成ニ當リマシテ、色ニ財源ヲ見付ケルコトニ苦心ヲ致シマシタ、又ソレニ付テ方法モ考ヘマシタケレドモ、是ハ今日當局ノ苦心トシテドウソ御聽ク願ヒタイト思ヒマス、其折丁度此華盛頓會議ノ軍縮ノ問題ガ米國ニ於テ發議ヲサレタト云フコトデアリマスカラ、我國ノ大體ノ財政ト云フモノニ對シテ影響ヲ及ボシタ、即チ好影響ヲ及ボシタ譯デアリマス、是ナラバ此會議ヲ終ルノヲ待ツノガ目的ヲ達スルニ宜カラウ、金ヲ支出ヲ致シマシタ所ガ、出ス以上ハ相當ノ金額ヲ出サナケレバナラヌ、是ナラバ或ハ相當ノ金額ヲ支出スル途ガ開ケルダラウ、斯ウ云フ事ニ當局ハ苦心致シマシテ、十一年度追加豫算ヲ提出スルノヲ止メマシタノデアリマス、財源ガ乏シノデアリマス、ソレニ付キマシテ先程政府ハ、折角高等教育ノ財政ノ救濟ヲ致シタイト云フコトニナシテ居リマス、當局ガ今日マテ實行致シマシタル建議案ニ於キマシテモ、色ニ違シテ居ルヤウニ見受ケマス、或ハ教員ノ俸給ノ半額ヲ國庫ヨリ支出スルヤウニト云フ御話ヲ承リマシタガ、是ハ蓋シ御記憶違ヒ、格違ヒダラウト思ヒマス、又格違ヒデモソレ程モ話ガアリマシタ中ノ一例ニ、一億五千萬トカ、高等教育機關ニ金ヲ出斯塔ラウト云フ御話ヲ承リマシタガ、是ハ蓋シ御記憶違ヒ、格違ヒダラウト思ヒマス、又格違ヒデモソレ程モ出ナイカモ知レマセヌト云フヤウナ譯デアリマス、從來高等教育機關ニ力ヲ用キタ、斯ウ云フ御話ガ段々アリマスルガ、無論其通リテアリマス、當局ハ熱心ニ高等教育機關ノ擴張ニ力ヲ用キマシタ、之ニ一大缺點アリト思ヒマシタカラ、之ニ力ヲ用キタノデアリマス、然ルニ初等教育ニハドウデアスノハ小學校ノ教員ノ給料ノ補助ト致シマシテ、前内閣ノルカ、初等教育ニ向テモ餘リニ政府ハ力ヲ用キナイト云フヤウナ御話ガ段々アリマスガ、是ハ國庫ノ金ヲ使シタト云フダケノ單純ナル意味ト、私ハ解釋スルノデアリマス、ト申シマスノハ小學校ノ教員ノ給料ノ補助ト致シマシテ、前内閣ノ時ニ一千方圓ヲ支出シ、ソレガ今日ニ來テ居リマス、現内閣ニナリマシテ、是ハ急速ニ實行ヲスル考デヤリマシタノデ、市町村テ之ヲ支拂フ、斯ウ



ト、私ハ國民生活ノ苦痛ヲ自ラ嘗メナイ所ノ官僚者流ノ言  
トシテ、多ク之ヲ惟マナイガ、私ハ其簡單ナル議論ニ驚サル  
ヲ得ヌ、丁度帝國主義ノ穢積流義ノ憲法デガチニ固メ  
ラレタ無智ノ學生ガ、少シ風ノ吹キ廻ハシデ「ウキルソン」ノ  
十四箇條ニ有頂天ニナッテ嘆美スル、「轉シテ「マルクス」ニ  
ナリ、再轉シテ「クロボトキン」ニナル、ソレト同ジデアル、昨日  
マデ西伯利出兵ヲ裏書キシタ内閣ノ外務大臣ガ、今度ノ日  
本ノ外交ガ退潮ニナッテ、敵ハストナッテノ穩健沙汰デ、今度  
ハ協力ダト云フ、丁度無智ナル學生ガ穢積流ノ憲法ヨリ「ク  
ロボトキン」ニ急轉直下シタ同ジデアル、是ハ頭腦ガ無イカ  
ラデアル、現實ノ苦惱ヲ經テナイカラデアル、内閣諸公ノ中  
ニハ高橋總理大臣ノ如キ、野田卯太郎君ノ如キ、今度華  
盛頓會議ニオイデニナッタ横田千之助君ノ如キ、現實ノ波  
ヲ清々タ人ガ居ラレル、政友會ノ領袖諸君ガ、戰鬪力ヲ有セ  
ラル、ノハ、其現實ノ試練ヲ受ケテ居ラレル其人々ガ、モウ  
少シ世界ノ狀況ヲ常識ヲ以テ判断シ、其常識ヲ以テ國ヲ  
立テル根本精神ヲ何故維持セラレナイカト言ヒタインデア  
リマス（拍手）巴里講和會議ニ於ケル世界ノ外交ガ舊式ノ  
駆引デナクシテ、國際生活ノ現實ノ相磨擦スル舞臺デアルコト  
ヲ知ラズシテ、殿上人ノ西園寺公ヲ任命シタル内閣ハ、同ジ  
ク華盛頓會議ニ徳川公爵ヲ任命シタ（拍手）私ハ徳川公  
爵ニ對シテ何等批評ヲ挾マナイ、サリナガラ彼ノ人ハ生レナ  
ガラニシテアノ貴人デアル、國民生活ノ現實ヲ經ナイアノ  
人ガ、國民生活ヲ按排セントスル所ノ國際舞臺ニ立ッテ、何  
程ノ胸中ノ衝動ヲ感ブルカ（拍手）假ニ英語ヲ話シテモ、外交  
ヲ論ジテモ、產業ヲ説イテモ、ソレハ自ラ體驗セザル言葉デア  
ル、左様十事デハ、主張ニ壓力ナク、世界ノ列國ノ千辛萬苦  
ヲ經來タタル政治家外交家ノ中ニ立テハ、恰モ田舎ノ  
酋長カ何カノヤウナ感ジヲ與ヘタコトハ、理ノ當然デアルガ、  
國民トシテハ最モ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアル、抑モ我當局  
者ハ、最初ヨリ華盛頓會議ノ意味ヲ了解シテ居ナカク、軍  
備制限ナドト云フコトハ、先づ出來ル問題デモナカラウ、出  
來タ所デ徹底的ニ行クマイ、ソレニハ地位アリ、名望アル公  
爵ヲ出シタラ、ソレ宜カラウト、其態度ガ國際競爭ノ間ニ  
立チテ、我國ヲ困難ニ陥ル、根本理由デアルト私ハ思フ（拍  
手）「ノウー」抑モ華盛頓會議ナルモノガ如何ナル理由ニ  
依テ始メラレタカ、軍備制限ナル聲ハ、是ハ世界人類ノ聲  
デアル、此軍備制限ト云フ案ヲ協定シタダケガ成功デアルト  
云フナラハ、如何ナル人ヲ出シテモ、又日本ヨリ委員ヲ出サ  
ズ、英米ニ委託シテ盲印ヲ捺シテモ、是ダケハ成功スルニ決  
マテ居ル（ヒヤー）（拍手）世界ハ四年半ノ大戰爭ヲ經ア  
彼ノ一大破壊ヲ終ヘタル後ニハ、經濟ニ於テモ、金融ニ於テ  
モ其組織ヲ恢復スルコトガ急務デアル、國民ハ又負擔ノ輕

ニ於テモ其レデアル、即チ軍備縮少ト云フ聲ハ、世界人類ノ  
ノ生活問題ト關聯シテ居ル、即チ力ノ第一義ノ上ニ居ル、  
此軍備縮少即チ世界人類ノ生活問題ト關聯スル案ヲ提  
ゲテ立上タア米利加ノ政治家ハ、如何ナル者デアルカト云  
ヲコトヲ、當局者ハ了解シテ居ナイ、亞米利加ノ國民ハ租  
稅ノ輕減ヲ希フ外ニ別ニ考ハナイ、サリナガラ亞米利加ノ時  
局ニ與シテ居ル、此共和黨ノ「ハーディング」其背後ニ居ル幾  
多ノ政治家ハ、皆帝國主義者デアル、此人々ガ世界人類ノ  
生活ヲ緩和セントスル其力ニ依リテ、外交問題ヲ解決シヤウ  
ト云フノガ、今度ノ華盛頓會議デアル、即チ軍備制限ト云  
フモノハ、生活問題ニ關聯スル、譬へバ機關車デアレハ隨分  
強イ石炭ガ燒カレタ、此強力ナル機關車ヲ以テ、世界萬國  
ノ反對シ得ザル問題ヲ先キニ立て、實際ノ外交問題ヲ處  
理シヤウトシタノガ、即チ亞米利加ノ政治家ノ魂膽デアル、  
此意味ガ日本ノ政治家ニ徹底シテ居ナイ、私共ハ軍備制  
限ニ付テハ、少シモ異議ヲ挾マスト共ニ、最モ熱心ナル貧成  
者デアル、サリナガラ抑モ軍備制限ト云フ問題ヲ起シテ、之ニ  
太平洋ト云フモノノ關聯シテ提案シタ時ニ、政府當局者ハ  
何故モウ少シ考ヘナカッタカ、太平洋問題——軍備制限ナラ  
バ、世界普遍ノ問題デアル、世界到ル處ニ戰爭ノ危機ハ伏在  
シテ居ル、其戰爭ノ危機ヲ除カンガ爲ニ、軍備制限ト共ニ外  
交問題ヲ議スルナラバ、國際聯盟ノ繼續ナ宣シイ、何モ太平  
洋ニ限ルコトナナイ、軍備制限下太平洋問題トテ關聯セシ  
度問題會議ヲ開カウト言ダラ、英吉利ハ之ヲドウシマスカ、  
メテ提案シタ所ニ、亞米利加ノ實際政治家ノ魂膽ガアル、而  
モ太平洋問題ナラバマダ宜イガ、軍備制限及太平洋極東問  
題ト來テ居ル、若シモ英吉利ニ對シテ軍備制限及印度洋印  
度問題會議ヲ開カウト言ダラ、英吉利ハ之ヲドウシマスカ、  
亞米利加ニ對シテ太平洋問題及墨西會議ヲ開カウト言  
タラドウシマスカ、佛蘭西ニ對シテ地中海問題及「モロッコ」  
問題ヲ會議ノ題トシヤウト言ダラ賛成シマスカ、軍備縮少  
ト共ニ太平洋極東問題、即チ日本生死殺活ヲ託スル重大  
問題ノ中心ヲ世界ノ一番人氣ノ好イ軍備制限問題ト結  
付ケテ提案シタ所ニ、亞米利加ノ實際政治家ノ深キ手腕  
ガアル、私ハ國際問題ニ對シテ、他ヲ疑フ心ヲ持ツコトヲ必  
要トハシマセヌガ、他ニ欺カレザル聰明ハ、國民ノ爲ニ政府  
當局者ガ持チテ居ナケレバナラヌト思フ、其極東會議が開カ  
レル、太平洋會議が開カレルノヲゾット見テ居テ御覽ナサイ、國防制限  
問題即チ太平洋問題トナタ、更ニ御覽ナサイ、國防制限  
區域ヲ御覽ニナルト、東經百八十度以西ノ問題

而モ赤道以北ニシテ北緯三十度以南ト云フ丁度日本ヲ  
中心トシテ日本ノ國防ヲ制限スル所ダケガ國防制限區域ノ  
中ニ置カレテ居ル（拍手）東京府下小笠原島ガ國防制限區域ノ  
接シタル布哇ヲ十分ニ防備シテ宜イコトニナッテ居ル、常識  
デ考ヘテ、東京府下ニ防備制限ヲ命ゼラレ、他ヲシテ二千  
哩ニ突出セシムル、此ヤリ方ガ果シテ常識ヲ以テ成功テアル  
ト見ラレルカドウカ、太平洋問題ヲ軍備縮少會議ト結付ケ  
タル事、既ニ失敗アル、更ニ其太平洋ガ太平洋ノ波打ツ  
所ノ總テノ問題トシ、或ハ墨西哥ニ及ボシ、或ハ巴奈馬ニ  
及ボシ、南米ニ及ボシ、全太平洋ノ問題トシテ、日本ガ世界  
人類ノ爲ニ最モ公平ナル立場ヲ闡明スルト共ニ、亞米利加  
ヲシテ此日本ノ態度ニ倣ハシムルダケノ大主張ヲ爲シ得ズ  
シテ、唯有耶無耶ノ間に自己ノ主張ニミ制限ヲ加ヘルガ  
如キ會議ト爲シタルゴトハ、常識ヨリ判断シテ、甚シキ大失  
態ト私ハ斷言シタインデアル（拍手起り「十年臥薪嘗膽」ト  
呼フ者アリ）凡ソ斯ノ如キ立場ニナタ時ニ——臥薪嘗膽ト  
仰シヤルガ、臥薪嘗膽ハ當年ノ武力侵略ニ對スル國民ノ覺  
悟デアルガ、私ハ此經濟的難局、經濟的列國ノ壓迫ニ對ス  
ル據經營ヲ諸君ノ前ニ説クノデアル、是ガ最モ必要デア  
ルト私ハ思フ、太平洋問題ハ斯ノ如クシテ解釋セラレ、四國  
協約ハ英米佛三國ノ多數決ヲ以テ臨ム時ハ、日本ノ生死  
殺活ヲ託スル大問題ヲ、此多數決ノ判断ニ御委セスルト云  
フ、三國干涉ヲ文字ノ上ニ許シタノガ、四國協約デアルト、  
此間此壇上ニ突込ンダ時ニ、外務大臣ハ何タル御答モ出  
來ル、支那問題ニ於テドンナ事ガ決マッタカ諸君御存ジデア  
マセウ、九箇國條約ガ決ダタ、「ルート」四原則ガ決マタ、更ニ  
支那ノ經濟開放ニ對スル日本支那兩國ノ宣言ガ發表セラ  
レタ、是等ヲ捉ヘテ當局者ハ總テ成功ナリト言ヒ、是レアル  
ガ故ニ日本ノ立場ハ益安泰トナッタト言ハレル、私ハ是等ノ  
條約及協約宣言ノ内容ヲ見マスルト云フト、餘リ具體的局  
モノハナイ、併ナガラ經濟學デ申セバ「コスマボリナカル」國際  
レタ、是等ヲ捉ヘテ當局者ハ總テ成功ナリト言ヒ、是レアル  
經濟主義ノ原則ガ亞細亞ニ適用セラレルト云フ意味テア  
ル、至極私ハ結構デアル、サリナガラ是程徹底的ノ國際經  
濟主義ヲ極東ニ適用スルナラバ、同ジク經濟開放ヲ何故南  
米ニモ、墨西哥ニモ、印度ニモ、適用シナイカト私ハ言ヒタイ  
（拍手）凡ソ世界人類ガ平和ヲ樂シマント欲セバ、世界人類  
各、立場ヲ曝ケ出シテ、互ニ公平ニ向フ事デナケレバナラヌ  
今日國際協力ト當局者ガ唱ヘラレルケレドモ、國際協力ノ  
基礎トナルモノハ、國際經濟政策デナケレバナラヌ、昔「アダ

ム、スミス」ガ國際經濟論ヲ唱ヘタ時ニ、ソンナモノデハ物ニナラスト人ガ言ッタ、何故カト云フト、國際協約ガ樹立シナケレバナラヌ、國際聯盟ノ如キモノガナケレバ駄目ダト言ウタ、今日モ同様デアッテ、國際協力ヲ說クナラバ、國際經濟主義、國家經濟ヲ超越シタ超國家的經濟主義、國境ヲ排スルヤウナ經濟主義デナケレバナラヌ、然ラザル限り、其國際協高調シ來ソテ居ルノガ現實デナイカ、私ハ之ヲ衷心ヨリ遺憾ニ思フ、支那ニ於ケル門戸開放、機會均等ト云フコトハ、言換ヘレバ支那ノ自主的、自發的意見ニ藉リテ、他ノ強力ナル經濟的ニ優越ナル國ガ、日本ヲ支那ヨリ驅逐スル前提トナルコトハ明白ナル事實デアルト私ハ論斷シタイ（拍手）斯ク申セバトテ、私ハ亞米利加ノ帝國主義ヲ云々スルノデハナイ、亞米利加ノ產業立國主義ハ、既ニ斯ノ如キ政策ニ出ツルノ已ムヲ得ザル所ニ進ンデ居ル、亞米利加ハ當年ノ原料占シ、市場ヲ獨占スル所ノ政策ヲ生ムハ必然ノ勢デアルト思フ、是ト協力セント欲セバ、是ト協力スルニ足ル堅實ナル立場ヲ以テ、彼ヲシテ侵サシメザルダケノ地位ヲ維持セザレヲ躍リ越エテ、支那ニ進ンデ來ル時、茲ニ支那ノ原料ヲ獨占シ、市場ヲ獨占スル所ノ政策ヲ生ムハ必然ノ勢デアルト思フ、常識アル諸君ガ御考ヘニナレバ、私ハ明白ナル事實トシテ分ルデアラウト思フ（拍手）モウ一ツ諸君ト共ニ一考セザルタヤウナ大勢ヲ促シタル曉ニ、此極東ニ於ケル列國トノ角バ、協力ハ無意味デアル、絕對ノ強者ト絕對ノ弱者トノ間逐ニ於テ、日本ガ如何ナル地位ニ陥レラレルカト云フコトハト云フコトハ、私ガ巴里講和會議ヲ見テ歸シテ來タ時ニ、天下ニ宣傳シタ、當局者ハ其時ニ、何ヲ言シテ居ルノダ、別ナ事ハ免モ角モ、山東問題ハ巴里デ立派ニ濟シダ、之ヲ以テ天下ニ御臨ミニナシタ、サリナガラ支那ガ對獨講和條約ニ調印解シ得ベキ事實ヲスラ否認シテ、華盛頓會議ニ臨ンダデハセズ、亞米利加ガ自ラ唱ヘ出シタル國際聯盟ヲ足蹴ニシテ、聯盟ノ外ニ立チタル時ニ、米國ガ支那ヲシテ山東問題ヲ次ニ提ゲシムルコトハ、明白ナル事實デアッタ、此常識ヲ以テ了解シ得ベキ事實ヲスラ否認シテ、恰モ緣日商人ガ懸念ヲ言フヤウナモノダ、先ツ青島膠州灣ニ對スル議論ハ、最初專管居留地論、其次ハ共同居留地、モウ一ツ讓テ今度ハ自開商埠トナシテ居ル、巴里ニ於テ共同居留地ニ出

來ルコトヲ、華盛頓マデ引張ンテ自開商阜ニシタ、山東鐵道問題デモ、最初ハ山東鐵道ヲ自ラ獨占スル積リ、其次ハ借款鐵道ニスル積リ、モウ一ツ讓テ買收——買收ヲ許ス其年限モ、二十年カラ十年、五年ト云フ風ニ段々讓テ、其讓ダルハ何ガ故ニ讓、タカト云ヘバ、支那ニ對スル親善ノ意義ヲ徹底セシメン爲デハナクシテ、英米ニ對スル恐怖屈辱ノ政策ガ產ンタル結果デアル（拍手）宜ナル哉、支那ノ全權ハ華盛頓ニ於テ山東問題ヲ日本ト共ニ議スル時ニ、日本ニ向テハ議論セズ、恰モ陪審官ノ如キ地位ニ置カレタル英米ニ向テ哀訴難顧シタ、英米ガ睨メバ何處マデモ下ル、自ラ極底ニ支那ニ對シテハ何處マデモ高壓主義ヲ持ナガラ、英米カラ睨マレテ敵ハスト見テハ穩健沙汰トナル、乃チ奇メレバ何處マデモ下ル、此大和民族ノ傳來の仁俠ノ精神ニ背タヌ、國際協力ノ時代トナシナド、仰シャルケレドモ、腹ノシタカト云フコトハ、諸君ト共ニ如何ニモ殘念ニ堪ヘヌノデアリマス（拍手）ソコデ山東問題ガアンナ風ニ解決シタ、アレデ御安心ニナシテ居ルト、又次ノ問題ガ起リマス、巴里デ夢ヲ見テ居ダト同様、華盛頓會議デ山東問題ガ濟ンダト思ッタ最初ニ於テ、當局者ハ揚言シテ曰ク、特殊國家間ノ條約テ居レバ、又次ニ問題ガ起ル、何カト申シマスレバ、山東問題ハ既定ノ事實ニハ断ジテ遡ラナイト仰シヤッタ、ソレガ遡ラヌ、山東問題ハ遡テ日本ノ立場ヲ今日ノ如ク極メタノデアル、此ニ於テカ對支二十一箇條ノ要求ナルモノハ、既ニ部分的ニ破壞セラレタ、又當然投出シテ然ルベキ第五項ノ保留ヲ投出サレタノモ尤デアル、ソレモ支那ニ對スル親善ノ大策ニ依ルニアラズ、英米ノ前ニ恐怖シテ投出シタノデアル、此ニ於テカ英米ニ對スル恐怖ノ爲ニ日本ハ對支二十一箇條ノ問題ヲ切放シテ、既ニ讓歩シ始メタ、ソコデ今日テカ次ノ問題ハ必然ニ起テ來ル、諸君ト共ニ大ニ警戒スベキ事デアル、對支二十一箇條ノ要求ニ於テ、旅順、大連ヲ含ム關東州ノ租借期限ハ、二十五箇年ヨリ九十九年ニ延バ、ラズシテ、未定ノ問題トシテ、今懸案トナサレテ居ル、此ニ於テカ次ノ問題ハ必然ニ起テ來ル、諸君ト共ニ大ニ警戒スベキ事デアル、對支二十一箇條ノ要求ニ於テ、旅順、大連ヲ含ム關東州ノ租借期限ハ、二十五箇年ヨリ九十九年ニ延バ、サレタノデアリマスルカ、既ニ對支二十一箇條ノ要求ヲ切レ、ニ拋棄シタスレバ、此問題モ亦起テ來ル、二十五箇年トスレバ千九百二十三年、乃チ來年ハ旅順大連ヲ含

ム關東州ノ租借期限ガ切レル、支那ハ必ズ是ガ還付ヲ要  
求スル、亞米利加ハ必ズ之ヲ後援スル、更ニモウ少シ延ビテ、  
千九百三十九年ニハ例ノ三十六箇年ノ満洲鐵道ノ期限  
ガ切レル、滿鐵モ千九百三十九年ニハ支那ガ之ヲ要求シテ、  
亞米利加ハ必ズ之ヲ後援スル、而シテ満鐵ヲ其際日本ガ  
投出シタ刹那、支那自ラ之ヲ經營スルコト能ハズシテ、其後  
ノ富強ナル國ノ影が映ジ來テ、我満洲ニ太平洋ノ彼岸ニ  
於ケル加州ノ如キ狀態ヲ演出シ來ルコトハ、今日ヨリ豫メ  
警戒スベキ問題デアルト私ハ思フ、斯ノ如キ事ハ國家ノ根  
本問題デアル、決シテ政黨ノ立場ニ依テ見解ヲ一ツニスベ  
キ事デナイ、或ル政府當局者ノ宣傳係ハ述べテ曰ク、ソシナ  
夢ヲ見ナクテモ宜イ、華盛頓ニ於ケル空氣ハ全然サウデナイ  
亞米利加人モ現ニ言々テ居ル、關東州トカ滿鐵トカ、云フモ  
ノガ問題ニナルモノカト言シテ居ル、併シソシナコトヲ言ヒナ  
ガテ何時モソレガ問題ニナッテ來ルノデス、問題ニシナインナ  
ラバ、此機會ニ是ハ問題ニナラナイト云フコトヲ國際條約ニ  
於テ極メナケレバナラヌ、明白ニ極メズシテ、窃ニ亞米利加  
人ガ言々タカラ大丈夫ダ、是ハ問題ニナラヌト言アセ呑氣ニ  
レルノカ、今マデノ傳統的ヤリ方デブル、斯ク申セバトテ私ハ  
構ヘテ居ルト云フコトガ、是ガ所謂日本ノ今迄ノ傳統的外  
務省ノヤリ方デアツテ、有利ナ事ハ決定セズシテ延シテ置ク、レト言フノデ  
ハナイ、滿洲鐵道ノ如キハ世界列國ノ公ノ道トシテ、世界ノ  
前ニ公開スルコトニ付テ、其ヤリ方ニ依テハチットモ私ハ反  
對シナイ、例へバ滿鐵ヲ投出し、露西亞ヲシテ西伯利鐵道  
ヲ投出サシメ、日露兩國ヲ以テ西伯利滿洲鐵道ノ合辯ヲ  
ヤル、亞米利加ガ異存ヲ提起スルナラバ、亞米利加ヨリモ金  
ヲ借りテヤルト云フ位ノ雄圖大略ハ、日本人ガ持タナケレバ  
ナラヌガ、今日ノ當局者ノ頭ハ、依然トシテ「インペリアルズ  
ムニアリマシテ、讓々タノ言譯スル爲メニ、世界ハ以前ノ如  
ク競争時代ナクシテ、協力時代デアルト云フヤウナコトヲ  
ガ偏務的ノモノデアルカト云フコトハ、此時何事カ發言スル  
陳ベテ居ル、是ガ日本ノ爲メニ最モ憂慮スベキ現象デアルト  
私ハ思フ（拍手）マダ（見レバ澤山アリマスガ）太平洋ノ防  
備協定區域ヲ御覽ニナシテモ、如何ニ太平洋會議ナルモノ  
スペク國民ニ桔据經營セヨト云フ、桔据經營ヲスル前提ニ  
先づ此新時勢ヲ了解セヨト云フノデス、徒ラン自己ノ地位  
ヲ維持センガ爲メニ、ウカ（ト色ミナ事ヲ言フテ、日本ハ三  
大國ノ地位ニ上タクトカ、或ハ我當局者ノ立場トシテ大イニ

君ノ所見ヲ發表セラレタモノ、ヤウデアリマス、此決議案ノ理由ヲ説明スルモノトシテハ、甚ダ其要領ヲ捉フルニ苦ンダノデアリマス(拍手)華盛頓會議ハ御承知ノ通リ一月六日至シテ結了致シタノデアルニ一月六日ニ於テ重要ナル條約等モ調印ヲ了シ、愈、閉會ヲ告ゲタノデアル、十二月末ニ於キマシテハ、マダ此會議ガ如何ナル結果ニナルカ、確定的ノモノトハナツテ居ナカッタノデアリマス、其十二月末ニ於テ此決議案が出来サレテ、華盛頓會議ノ經過ニ付テ國民ノ理解ヲ求ムルニ不十分デアルト御叱責ニナリマシタガ、此場合ニ於テハ、マダ此會議ノ成績等ニ付テ、十分ノ説明ヲスキ場合ニモ實ハナツテ居ナイノデアル(拍手)本年ノ一月ニ至テ議會が開カレマシテ、一月二十一日ノ本議場ニ於テ、外務大臣ハ稍大體ノ經過ニ付テノ説明が出来マスノデ、ソレルニ必要ノ部分ニ又説明シ得ラレル部分ニ付テハ、此處デ演説ガアツタノデアリマス、サウシテ其時ノ演説ノ最後ノ部分ニ於キマシテ、今日ノ國際狀態ハドウデアル、世界ノ大勢ハ如何ニ動キツ、アルカ、又今日ノ場合ニ於テ、吾ミトシテ如何ナル點ニ注意スベキデアルカト云フ、餘程廣イ國際政治ノ全局ニ涉テノ注意スベキ點ヲ外務大臣ガ指摘シテ居ラレルノデアリマス、中野君ハ先程ノ御演説ノ中ニ、國家ノ地位ノ諒解ヲ爲サシメルコトが必要デアル、國民ヲシテ居ルノ末節ヲ御一讀ニナリマスナラバ、今日ノ場合ニ於テ、我國民ハ如何ニ此國際政局ヲ見ルベキデアルカ、今日我國ハ如何ナル状況ノ下ニ居ルカト云フコトヲ、十分説明シテ居ルニモ其通りデアルガ、此一月ノ二十一日ノ外務大臣ノ演説君ニ向テ、應更ニシレラ縁返シ、一讀セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、中野君ノ段々御話ヲ承テ居リマスト云フ、實ハ斯ウ云フ風ニ見ルノデアリマス、政府當局ハ華盛頓會議ニ付テ理解ガナイ、華盛頓會議ト云フモノガ能ク多少テ居ナカッタノダ、軍備制限、海軍制限ト云フ、サウ云フ問題ニ付テモドウ云フモノデアルカト云フ理解モナク、大體此華盛頓會議ト云フモノニ付テ、分ラズニ居タノダト云フヤウナ意味ノ御意見ガアツヤウデス、ソコニナレバ華盛頓會議ニシタ事柄ニ付テ、太平洋ノ防備現狀維持ノ協定ノ意味アリマセウ、之ニ付テ斯クニナツカトハ、是ハ日本ニ取テ不利益ナ協定ニナツカモノト認メラレルヤツデアル、是ハ併ナガラ御意見、

若シ彼ノ太平洋防備現狀維持ニ付テノ協定ニ御不滿デアル、國家ノ爲ニ甚ダ不利益ナルモノデアルト云フ御意見デアレバ、ソレハ又御意見デアッテ、若シ其問題ヲ提ゲテ政府ヲ決議案ト云フノハ、唯政府ガ國民ノ理解ヲ求メルニ不十分デアルト云フ趣意カラノ決議案デアリマス、華府會議ノ成績ニ付テ、是ガ成功デアルトカ、失敗デアルトカ、サウニ云フコトヲスルノガ今日ノ問題デハナイト私ハ考ヘル、若シ華府會議ノ成績ニ付テ、果シテソレガ成功デアルカ、失敗デアルカ、ドノ點ニ付テ國家ノ爲ニソレガ禍ヲ爲スモノデアルカ、サウ云フコトヲ大ニ論ジテ當局ヲ責メヤウト云フコトデアルナラバ、私ハ更ニ案ヲ改メテ、サウ云フ問題ヲ御提出ニナルコトヲ希望スル（拍手）山東問題ニ付テモ同ジク然リデアリマス、山東問題ニ付テ、日本ハ大ニ譲歩シテ斯ク～デアルトカ、或ハ第五項ノ問題ガドウデアルトカ、或ハ更ニ滿洲ノ問題ガ是カラ後ニ問題トナルデアラウトカ、色々御意見ガアリマシタガ、是ハモウ唯承リ置ケキダケノモノデアッテ、今之ニ付テ論戰ヲ交ハス必要ハナイト思フ、要スルニ中野君ノ御演説ハ、幾多ノ外交上ノ事柄ニ付テノ御意見ヲ御發表ニナシタノガ主デアリマシテ、此決議案ノ文面ニ對シテ、其趣旨ヲ説明セラレルモノトシテハ、甚ダ其要領ヲ捕捉シ難カツノデアリマス、併ナガラサウ暢氣ニ居ラレルモノデハナイ、中ニ國際ノ競争ト云フモノハ激シイ、英米皆色々々ナタクラミヲ以て我ニ壓迫ヲ加ヘントシテ居ルノデアル、油斷シ難キ場合デアル、東洋ノ問題、極東ノ問題ニ付テモ、如何ナル事ヲ他ニ國等ガ持チ出シテ來ルカモ知レヌ、決シテ油斷ハ出來ナイ、敢テ臥薪嘗膽トマデハ言ヘナイガ、併シ是ハ用心シテ掛ラネバナラヌ、危險ナモノデアルト云フコトヲ思ハネバナラヌ、其點ニ付テ政府當局者ガ、十分ニ國民ニ向シテ其御意見ハ承シテ置キタイ、ノコトヲシナインガ不都合デアル、斯ウニ精神デハナイカト思フ、多分斯ウニ御精神デアラウト思フ、ソレハ成程中野君ノ御意見トシテ、私ハ尊重シテ其御意見ハ承シテ如何ナルモノデアラウカ（拍手）所謂先程モ常識ヲ以テ判断セヨト云フ御尋デアリマシタガ、此邊ハ少シク常識デ御考ヲ願ヒタイ

ト思フ（拍手）政府當局トシテハ大體ニ於テ、今日ノ國際狀勢ノ如何ニ推移シテ、アルカ上云フコトヲ見テ、國際聯盟ハ夢ノ如クニ思ハレテ居タモノガ、既ニ成立ヲシタ、華盛頓會議ニ於テハ益々平和正義ノ思想ガ國際政治ノ上ニ現レツ、アル、此國際協調ノ新シイ大ナル機運、大ナル傾向之ニ順應ヲシテ立ツト云フノガ、即チ今日ノ場合ニ於テ最モ吾ノ心掛ケネハナラヌ點デアル、即チ其點ニ於テ政府當局者グ機會アル毎ニ之ヲ高調スルト云フノハ是ハ至當ノ事デアル、サリナガラ又反面ニ於テ中野君ノ言ハレルヤウニ、競爭モアルデアラウ、油斷シテ居レナイト云フコトモアルデアラウ、ソレハソレデ又愛國者ガ識者ガ、ソレト國民ヲ警醒スレバ宜シイ、政府ノ當局者ガサウ云フコトヲ言ハナイ、何ダカドウモ唯平和ノ風許リ吹イテ居テ、一向國際競争上ノ臥薪嘗膽トマデ行カナイニシテモ、國民ノ油斷ナリ難シト云フコトニ付テノ注意ヲ喚起スルヤウナコトヲ言ハナイノガ不都合デアル、シレガ即チ國民ヲ十分ニ理解セシメザル點デアルト云フ御趣意デアルト、私ハ察セラレルガ、ソレハソレヲ爲ス人自ラ他ニアルベク、中野君ノ如キ即チ最モ其人デアル（拍手）私ハ同君ニ對シテ其方ノ意味ニ於テ重大ナル使命ヲ有セラルコトヲ敢テ同君ニ申上ゲルノデアリマス（拍手）國際問題ヲ論ズルニ當ダテハ、各、其立場々々ガアル、ソレニハ其人ノ責任ノ地位ガアリ、無責任ノ地位ガアル、是ハ大抵常識ヲ以テ解シテ居ルコトデアリマス（笑聲起ル）故ニサウ云フ次第デアリマスルカラ、此議決ノ文面、即チ華盛頓會議ノ經過ニ付テ、國民ノ理解ヲ求ムルニ不十分ナリト認ムト云フ此文面ハ甚ダ嘗ヲ得ナイモノト吾ニハ信ズル、政府當局ハ機會アル毎ニ、華盛頓會議ニ付テノ情報ヲ發表シ、或ハ各種ノ決議等ニ付テモ、出來ルダケ之ヲ速ニ發表シ、或ハ確定トナラザル場合デスマモ、之ヲ發表スルコトハ努メテヤテ居ル、サウシテ啻ニサウ云フ文書類ヲ發表スルバカリデハナイ、又演説ニ於テ――外務大臣ノ演説ニ於テモ、ソレドヽ必要ナル言明モシテ居ル程デアリマス、之ニ對シテ理解ヲ求ムルニ不十分ナルモノト認ムト云フ決議ヲシヤウト云フコトハ、甚ダ是ハ穩當テナイ、當ヲ得ナイモノト思フノデアリマス、若シ政府ニ甚ダ怠慢ノ點ガアリ、大ニ之ヲ彈劾セザルヲ得ズト云フ次ハ、私モ大ニ尊敬ヲ拂テ承リマシタカ、此決議案ノ理由ト致シテハ、甚ダ承服シ難イノデアリマス、且又斯ノ如キ理解ヲ求ムルニ不十分ナリト認ムト云フヤウナ、甚ダ要領ヲ得ナリマス、要スルニ中野君ノ段々長ク御述ニナリマシタ御意見ハ、私モ大ニ尊敬ヲ拂テ承リマシタカ、此決議案ノ理由ト決スルト云フコトハ如何ノモノデアルカ、是モ亦私甚ダ提出

言ウテ怒ラナイヤウデアル、之ヲ否認シナイ所ヲ見ルト、アノ人モ慥カ亞米利加ヘ行タ人アル、分ラナイデ亞米利加ニ行、タノデアルト云フコトヲ是認ナスカト云フコトヲ聽キタイノデアル、何ガ何ヤラ分ラヌ、一國ノ大使ハドウシテ行タノカト云フ事ガ分ラヌ、ソレカラ私ハドウモ怪シカラスト思フノデアリマス、私モハッキリ先生ノ演説ガスッカリ分ラナンダカ、斯ウ云フ風デアリハセヌカ、私ニハ分ラヌコトガ多イカラ問ヒタノイノデアル、亞米利加カドウダ、支那カドウダト云フ事ハ、彈劾案ヲ出セバ宜イノデハナイカト言ハレルケレドモ、ドウモ言ウタコトガ少シハ彈劾的ニナルカモ知リマセヌケレドモ、政府ハモウ是デ天下ハ泰平ダ何デセ宜イ、是ハ世界ノ大湖ニ順應シタノデアルト言ハレルガ、吾ミハサウ云フ事ハ少シモ分ラヌノデアル、故ニソレヲ問ヒタイノデアル、サウ云フ林君ノ辯明ト云フモノモ、私ハドウモハッキリ分ラヌヤウニ思フ、マア林君ダケノ事ヲ思圖々々言ダフテ仕方がナイカラ、私ハ此位デ描キマスガ、唯私ノ問ヒタイノハ、ドウモ外務省及政府ガ— 政府當局グアズネドウモ國民ヲ嘘欺シテ居ルヤウニガ私ハ思フ、ソレカラシテ第一分ラヌ、私カラシテ申シマスト、ドウカ外交上ノ問題ハ成ベク外國ニモ嘘フ吐クノハ惡イケレドモ、日本人ニハ成ベク嘘フ吐イテ貴ヒタクナイト云フノガレガ—々此處へ來ル、外交調查會モ關係ガアルダラウガ、サウ云フ所カラ來ル、吾ミハ少シモ關係ガナイ、此處へ來テ居ラレマセヌガ、内田サンナドモ一寸何カ聽キニ行クト、何モ言モノハ「エゼント」ヲ置イテ、大使館トカ何トカノ置イテアルソナル、行ク時カラ殆ド何モ分ッテ居ナカツ、ソレデ行フテ來テカラドウカト云フト、殆ド成ッテ居ナイ、故ニ吾ミハ眞面目ニニ國家ノ大問題ヲ議スルニ當ラ、非常ニ材料ニ困ルト云フヤウナ状態デアル、是ハ私ハ非常ニ殘念ニ思テ居ル、今回デモサウデアル、行ク時カラ殆ド何モ分ッテ居ナカツ、ソレデ行フテ來テカラドウカト云フト、殆ド成ッテ居ナイ、例ヘバ大臣ノ言フ事ニ付テモ、私ハ非常ニ懸念ヲ持テ居ル、斯ウ云フ事ヲ高橋是清サンガ貴族院ヲ答ヘラレテ居ル、江木君ニ對スル説明デ、斯ウ云フ事ガ第一私等ニ分ラヌ、即チ防備ノ事柄ニ付テハ先刻モ申述ベク云々ノ項デアル、ソレニ「無論日本ニ於テモ小笠原島等ニ於テ防備ハ現狀ヲ維持スルモノト云フ、其諒解ヲ十分ニ遂ゲテ居ナカツト云フコトガ分ッテ來タト、經緯ノ詳シイコトハ分リマセヌケレドモ、サウ察シラレテ居ルテ大體ノ定タモノヲ條約文ニ作ルト云フ場合ニ於テ、其互ノ理解ヲ十分ニ遂ゲテ居ナカツト云フコトガ分ッテ來タト、斯ウ察シラレルノデス、ドウモ暗號電信ヤ何カデアリマスカラテ、斯ウ云フ事ガ第一私等ニ分ラヌ、即チ防備ノ事柄ニ付テハ以上申上ゲルコトハ出來ナインオデアリマス、總テノ商議

カ海ミマスルト云フト、其邊モ明瞭ニナリマセウ「トスウ云フコトデアリマス、是ガ私ハ譯ガ分ラヌ」トウ云フ譯デアルカ之ヲ私ハ知リタイ、詰リ御存知ノ通り要塞問題ニ付テ本土ト日本ニヤカマシクナッテ來タカラ、本土ハ取除ケテ貰ハナケレバナラヌ、併シオ前等ハ承諾シタデヤナイカト言フ、ソレガ日本グ困ヅタ、多分私ハ向フノ「ヒユーズ」トカ何トカト聯絡シテ斯ウ云フ事ニシタソレデ本土ト云フコトハ亞米利加ヘ言ハ置イテ貰ヒタ、其代リニ何ミト云フ島ヲ列舉致シマセウ、ソレハ別デスガ他ノ島ハ列舉致シマセウト、島ニ變化致シタノデアリマス是ハ私ノ推察テヨザイマスケレドモマサカ私ノ馬鹿ナ頭デモ、判断ハ誤ラナイモノト確信スル者デアリマス、然ルニシレガドウモ暗號電信ヤ何カデアルカラ、經緯ノ詳シイ事ハ分ラナイ、暗號電信ハソレガ分ラナイヤウニヤッテ居ルノデハナイカト云フ疑ガアル、其罪ヲ暗號電信ニ持テ行シテ、暗號電信デヤッテ居ルカラ間違ノ起ルノハ當然ダト云フヤウナコトデアル、サウ云フヤウニ暗號電信ガ分ラヌヤウデハ、千里ニ使スル所ノ者ハ、昔ノ全權ノヤウニヤラナケレバナルヌ、然ルニ日本ノ全權ハ遠イカラ電報ヲ以テヤッテ居ル、固ヨリ成シテ居ナイ、ソレデ以テ暗號電信デアルカラ分ラヌト云フコトヲ言フノハ、亞米利加ノ諒解ノ上デサウ云フコトヲ言ッテ貴族院ノ速記録ニハ斯ウ云フコトガチヤント戴ッテ居ルト云フノハ、亞米利加トグルニナシテ、日本國民ヲ馬鹿ニシテ騙シタノデ、怪シカラシコトデハナイカ(笑聲)諸君之ヲ御覽ナサイ、笑ヒ事デハナイ、重大ナル問題デアル、サウデセウ、第二ニ於キマシテ、私ガ聽キタイノハ此海軍ノ比例ト云フモノヲ、七割ト言ッタコトハ覺エハナイト云フコトヲ内田大臣ガ言ハレテ居ル、七割ノ主張ハ七割トカ何トカ云フヤウナ的確ニ申シタコトハアリマセヌト言テ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態デアル、是ハ軍事當局モ言ッテ居ル、或ハ其當時行々タ所ノ人々皆ナ之ヲ唱ヘテ居ル、亞米利加デハソレガチヤントニナツテ居ルダラウト思フ、日本デ吾ニ衆議院ニ於テ聽イテ見ルト、サウ云フコトヲ言ウタ覺ガナイト云フコトハ、何タル國民ヲ愚ニスルコトデハナイカ、亞米利加デハソレガチヤント分シテ居ル、日本デハ斯ウ言ウタ者ガアルト云フコトヲ英語ニ直シテ持テ行フテ日本人ハ大ナル抗議ヲ掲ゲルト云フコトヲ言ハレタノハ、日本ノ外交ト云フモノハ内兜ヲ見透サレテ浅マシト思フ、斯ウ云フコトハ諸君ハ何ト見マスカ、非常ナ大ナル失策デハナイカト私ハ思フノアリマス、其他色々

ノ斯ウ云フ點ニ付テ、非常ニ疑惑ヲ懷イテ居ルヤウナ次第アリマス、一體此海軍比例ニ致シマシテモ、詰リ向フガ五デアレバ、此方モ五デ、對等ニ行カナケレバナラヌモノニアリマセウ、此方ガ任意ニ金ガ無イカラヤルト云フノハ宜シテレドモ、向フカラ「ヂクテート」サレテ、オ前ノ所ハ三デ宜イト云フヤウナコトヲ言ハレテ、ハイ——宜シイト言ウテ承知シタコトヲ成功ト稱シテ居ルガ、何ガ成功アル、「ヂクテート」サレテ居ル、日本ハ土耳古デハナイ、墨西哥デハナイ、併ナガラ英米ノ言フ通リニナッテ居ル「ヂクテート」サレテ居ルノデアリマス、ソレダウシテ成功ト言ハレヤウカ、私ハ非常ニ之ヲ遺憾トスル者デアリマス、シレカラ要塞ノ點ニアリマス、日本ノ總テノ要塞ヲ取ッテ——大方總テノ要塞ヲ取ッテシマッテ、而シテ布哇ト云フモノハ中野君ノ言ウタ通り、他ノモノハ悉ク填メテ居ルケレドモ、布哇ハ嚴然トシテ填メテナイコトニナシテ居ル、而シテ海軍ハドウデアルカトニ云フト、米國ハ五デアッテ、日本ハ三デアルト云フノデアリマス、サウ云フヤウナ殆ド戦ヘナイヤウナ狀態ニ置イテ、サウシテアノ布哇ヲ措キ「ニユーギニヤラ」措イテ、而シテ日本ガ皆取テシマフト云フコトハ、果シテソレデ國防ガ十分ニ完全ニ出來マセウカ、高橋是清サンモ國防ガ保テル所ノ最少限ダケハ承認シタト言ヒマスケレドモ、是ハ眞赤ナ偽デアラウト私ハ思フノデアリマス、然ラバドウシテモ亞米利加ニ敵ハナカタカラ、斯ウ——斯クスクシタノデアルケレドモ、トウ——負けテ歸<sup>タ</sup>テ來タノデアル、政府モ仕方ガナク承認シタノデアルナラバソレ迄デアル、マルデ成功ノヤウナコトヲ言ウテ居ルノハ、國民ヲ侮辱シタモノデ約トカ他ノ條約トハ、マルデ違<sup>タ</sup>モノデアルト聞イテ居リマス、私ハ聞ク所ニ依ルト、太平洋上ノ孤島ニ起タ所ノ争フ、互ニ寄<sup>タ</sup>テ集テ極メヤウチャナイカト云フノデ、日英條約トカ他ノ條約トハ、マルデ違<sup>タ</sup>モノデアルト聞イテ居リマス、日英同盟ガ無クナタガ、四國協約ガ有ルカラ宜イデヤナイカト云フコトヲ、私ハ片腹痛イト思フノデアリマス、是等モ一體國民ヲ愚ニシテ居ルノデナイカト思フ、ソレカラ私が言ヒタノハ、全權等ノ非常ニ手落ト云フ事ニモナリセウカ、批准デス、批准ニ付テハ亞米利加ハ前科者デアル、言葉ハナト酷イカモ知レマセヌガ、非常ニ惡イノデアリマス、亞米利加ハ、彼「ウイルソン」ガ「ヴエルサイン」會議ニ於テ、堂々ト決メテ來タモノヲ批准シナイデハアリマセヌカ、然ラバ今回ノ事デモ批准スルカラモ知レス、シナイカモ知レスト云フヤウナ状態ニ思シテ居ルデハアリマセヌカ、日本ガ先づ批准スルト云フコトハ、或ハ國威ヲ失墜スルヤウナ狀態ヨ來スデハナイカト思フ、故ニ亞米利加ガ批准シタナレバ、日本モシヤウト云フコトニシナケレバナラヌ、何デモ彼デモ亞米利加ノ言フ通り

ニナルト云フコトハ、日本ノ軟弱ナル所ノ外交ノ致ス所ト思ヒマス、此點ニ於テモ大ニ考慮スル必要アルト思フノデアリマス、ソレカラ其他私ハ四五述ベタイノデアリマスガ、第二ニ全權ノ任命ニ付テモドウモ旨ク行テ居ナイヤウニ思フ、支那通ナント云フ者ハ行シテ居ナイ、或ハ作病ヲ起シタト云フヤウナ噂モアル、或ハ又此貴族ノ人ヲ送シテ、唯夕政友會ガ、間違タ所ガ轉ンデモ只タ起キヌト云フヤウナ政策ヲ執ツテ、サウニ云フ人ヲ派遣シテ居ルト云フコトハ、詰リ内政上ニ使テ居ルヤウナ點ガアル、實ニ是等ノ人ニ對シテハ氣ノ毒ノヤウナ感ジガスルノデアリマス、皇太子殿下ハ、陛下御病中ニ拘ラズ、萬里ノ波濤ヲ跋シテ彼ノ民情ヲ視察シ、日本ノ國威ヲ輝カス爲ニ御出デニラレタノデアル、然ルニ原君ハニ週間テモ三週間デモ向フヘ行シテ、大體ノ條項ヲ決メテ歸シテ來ルノガ當然デアルト云フコトハ當時國論アツタ、然レドモ彼ハ行カナカッタ、故ニ氣ノ毒ニモ到頭殺サレタト云フ狀態デアル、詰リ向フデハ御承知ノ通り、彼ノ「バルフォア」トカ、「ヒューズ」トカ、「ブリアン」トカ、或ハ「シャンデル」ト云フヤウナ有名ナ人ガ行テ居ルノニ、日本ハ唯タ二三見物ノヤウナ状態デ生命賭ケデヤタノデナイ、彼ノ「ヴエルサイユ」ノ會議ト同ジヤウナ趣意デアッタト云フコトハ、如何ニ此華盛頓會議ハ、戰後海牙會議以後初メテデアルト云フヤウナ有名人ガ行テ居ルノニ、日本ハ唯タ二三見物ノヤウナ状態デ生命賭ケデヤタノデナイ、彼ノ「ヴエルサイユ」ノ會議ト同ジヤウナ趣意デアッタト云フコトハ、如何ニ此華盛頓會議ハ、戰後海牙會議以後初メテデアルト云フ此種ノ時クト云フ時ニ當テ、日本が眞面目ニシカカリ掛テ居ナイト云フコトハ、後年又必ズ此收獲ト云フモノヲ、吾ミハ積ラナケレバナラスト云フコトヲ知ラナケレバナラズ、然ルニ之ニ付テ政府並ニ政友會ハ、何等考慮シテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ國民ノ大ナル任務ヲ負ウテ居ル人ト私ハ信ズルコトハ出來ナインデアリマス、私ハ斯ウニ云フヤウナ意味カラシテ、今回ノ會議ト云フモノハ、マルデ失敗デアルムナラズ、失敗シタト云フ時ニ當テ、少シモ國民ニ知ラシメナイヤウナ、斯ウ云フ遣口デハ、日本ト云フモノハ非常ニ危イノデアリマス、政友會ノ諸君ハ危クナイト言ハレルカモ知レマセヌガ、吾ミハ危イト思フ、故ニ諸君ニ警告シ、又大臣ニ警告シ、此日本外交官ニ警告スル所以デアリマス、彼等ハ世界ノ大勢ニ通ジナイデ、吾ミハ悉ク物ヲ知テ居ルト云フヤウナ顔ヨシテヤテ居ルノハ、是ハ非常ニ怪シカラヌ事ト思ヒマス、私ハ此日本ガ何ガ故ニ此日英同盟ト云フモノヲ、斯ノ如ク輒スク破棄シタカト云フ點ニ付テモ、大ナル疑ヲ持テ居ル者テゴザイマス、此二十年モ績イタ所ノ同盟之ヲ即チ廢メルト云フコトハ専ラデアリマシタケレドモ、是ト手ヲ切ルト云フトキニハ、非常ナル慎重審議ヲシテソレト切レタナラバ、他ハドウスルト云フ重ナル事ヲ考ヘナケレバナラヌコトハ、吾々國民ノ分り切タ事デアリマス、然ルニ是ガドウナルカト云フコトモ知ラナイデ、我が全權ガウカ」ト華盛頓會議ニ行シタ、國民ガ如何ナル

程度マデ輿論ガ考ヘテ居ルト云フコトヲモ糺サズニ行シタ  
米國々民、英國々民ニ失禮デアルカ知ラヌガ、私ノ推察ヲ少  
シ述べテ見タク、彼ノ英國ノ愛蘭ノ問題ニ付テ、「エドワード  
グレー」ガ愛蘭問題ノ爲ニ、英米ハ戰争ヲシナケレバナラ  
スト云フコトヲ言ッテ居ル、其位ニ重大ニ思テ居ル、詰リ此  
亞米利加ガ愛蘭ニ軍器トカ金ヲ貸シテ、其獨立ヲ助ケテ居  
ルト云フコトデアリマス、故ニ此愛蘭問題ヲドウカ助ケナイ  
ヤウニ、亞米利加ニ賴ミタイト云フコトガ、一ツノ英國ノ魂  
膽デハナイカト思フノデアリマス、他ノ一ツノ魂膽ハ何カト言  
ヘバ、英國ガ米國ニ非常ニ大ナル借金ヲシテ居ルト云フコト  
デアリマス、他ノ一ツハ戰争ノ創傷ヲ受ケテ居ルテ、租稅ガ嵩  
ムトカ、色ニノ費用ガ嵩ムカラ、軍艦ヲ成ベク縮少シタイト  
云フヤウナ意思ガアル、或ハ現狀ニ置キタイト云フヤウナ意  
思ガアル、之ヲ満足シナケレバナラヌ、而シテ勞働黨ガ勃興  
シテ來マシテ、其勢ガ強クナシテ來タ、又勢ヒ潦洲ハ英國ガ  
負擔シナケレバナラヌ七割何分ヲ英本國カラヤラナケレバナ  
ラヌ、サウスルト英國ガ費用ガ嵩サンデ來ルカラ、日本ノ海軍  
ヲ成ベク減セセタイ、米國ノ海軍ニモ競争サセナイヤウニシ  
タイ上云フノデ、ソコデ英國ガ彼ノ「ノースクリップ」記者ト  
ナダタト申シマスガ、亞米利加ト手ヲ組ンデ、サウシテ亞米利  
加ニモ軍備ノ擴張ヲセヌヤウニシテ貴ヒタイト言フタンデアリ  
ル、亞米利加宜シイ、然ラバ日英同盟ヲ破棄ナサイ、サウ  
ハ何故カ上云フノデ、ソコデ英國ガ獨逸ニ居リマシタ時ニハ、戰  
爭ノ一二年前ニ、獨逸ニ對シテ既ニ三十ト十六ノ割合ト云  
割合、十ト六ノ割合デヤラセレバ宜イデハナイカト、米國、英  
國ガ共同ノ上ニ決メタンデハナイカト思フノデアリマス、ソレ  
ハ何故カ上云フノデ、戰前私ガ獨逸ニ居リマシタ時ニハ、戰  
爭ノ一二年前ニ、獨逸ニ對シテ既ニ三十ト十六ノ割合ト云  
フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、獨逸ガ應ジナカッタ、詰リ  
英國ガ勃興シテ、其跡ニ跟イテ行カウト云フノデハ國  
威ニ臨ヌルト云フコトデ、之ニ反對シマシタカラ、到頭遂  
ニ戰争ニナダト云フヤウナ狀態ガアル、此十ト六ノ關係  
ヲ移シテ、日本ト米國、日本ト英國ニ持シテ來タノハ、獨逸ニ  
對スル條約トマルデ、一緒デアルト思フノデアリマス、斯ウ云  
フヤウナ意味ニ於テ、英國ガ米國ノ背後ヲツツイテ、而シ  
トサレタ、日本ニ好意ヲ裝フテ居ルト言ッテハ少シ失禮カモ  
知レマセヌガ、日本ニ好意ヲ持シテ居ルト推定サレタ「バルフ  
オアーチ」ガ、日本ヨ、オ前ハドウシテモ之ヲシナケレバカヌヨ  
ソレガ檢事ノ格デ、オ前サウシナサイトニ云フコトゾジクテ  
トサレタ、日本ニ好意ヲ裝フテ居ルト言ッテハ少シ失禮カモ

持シコトサヘモ出來ヌト云フ、不平等極マル所ノ法律ヲ以テ、吾ミヲ侮辱シテ居ルデハアリマセヌカ、片方ニハサウ云フ事ニヤシテ居リナガラ、一方ニ於テハ人種平等、機會均等トカリキ口吻ヲ以テ言ハル、ノハ國民ヲ欺クモノデハナカラウカト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ於テモ、吾ミハ非常ニ諒解スルコトガ出來ナイソレカラ彼ノ「ヴエルサイエ」會議二人種平等案が提出サレタ、其人種平等案が提出サレタ時ニ、日本ノ使節が何ト言タカト云フト、是ハ移民問題トハ別問題ダカラ、通シテ吳レト言テ哀願シテ居ル、實ニ怪シカラヌ事デアル、移民問題ハ吾ミハ堂々ト言フベキモノデアル、又政府が言フコトガ、移民問題ヲ言フコトガ出來ナケレバ、人種平等問題ニ付テ、何故ニ堂々ト華盛頓會議ニ於テ言ハナイノデアルカト云フコトヲ不思議ニ考ヘル、少シモサウ云フコトハ云々テ居ナイデヤナイカ、私ハ「シャンテンヌ」ト見ヨ同ジウスル、戰爭ト云フモノハ唯々單ニ兵隊トカ、或ハ要塞トカト、或ハ軍艦ヲ滅スノミシ以テ戰爭ヲ廢スコトハ出來ナイ、是ハ「エコノミー」デアル、戰爭ノ禍根ヲ絶シコトガ、戰爭ノ根ヲ絶シコトデアラウ、思フ然ラバ其戰爭ノ根ヲ切ルト云フノハドウダ、日本ノ人民ガ彼ノ廣イ所ノ漆太利、或ハ加奈陀、或ハ亞米利加ト云フヤウナ國ニ溢レテ行クコトガ一ツ、又食糧問題ノ自給ガ旨ク解決ヌルト云フコトガ一ツ、日本ノ海外貿易ガ旨ク發展スルト云フコトガ一ツ、日本ノ接壤地ニ於クル石井「ランシング」協約ト云フモノガ、十分ニ實行サレルト云フコトデナケレバ、假令五年八年平和ガ績イテモ其後ニナル慘劇ト云フモノガ必ズ來ルモノデアルト云フコトヲ吾ミハ庚レルノデアル、此點ヲドウ云フ風ニ見ラレテ居ルカト云フコトガ、私ハ非常ニ慨嘆シ堪ヘナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ問題ニ於テ、日本ガ非常ニ大ナル侮辱ヲ受ケテ居ルノデアリマス、彼「ヂントランド」ガ佛蘭西ヲ引受ケテ小國ヲ聯合シテ大國ニ當ッタト云フヤウナ歴史ガアルノデアリマス、日本ハ今ヤ此小國ノ味方ヲシテ、而シテ大國ニ向シテ堂堂ト反抗シテ行カケレバナラヌ立場ニ在ル、斯ウ言ヒテハ失葬ニ付テモ反対シナケレバナラヌヤウナ立場ニ在ル、大キナモノニ附カナケレバナラヌ、小ナルモノニモ附イテ行カナケレバナラヌヤウナ苦シイ立場ニ在ル、原サンノ死ト云フモノニ付テモ反対シナケレバナラヌ、或ハ又山縣サンノ國神葬ニ付テモ反対シナケレバナラヌヤウナ事ヲ言ウテ、善イカトエイカト云ソコトニ迷シテ居ルヤウナモノノハナイト思フ、挂ダ失禮デハゴザイマスケレドモ、日本ノ状態ガサウ云フヤウナ状態デアル、故ニ日本ハ未だ積極的ノ十分ナル政策ヲ

執ルコトハ出來ナイ、政友會ハ内政ニ於テハ積極々々ト言フ

テ居ルニレドモ、外政ニ於テハマルニ消極退嬰ノ主義ヲ執ル

ルト思フノアリマス、私ハ今日日本人ダトカ、支那人ダト

カ、或ハ色ニ民族ガ非常ニ蹴ダリ、踏マレタリシテ居ル、國

際的政策ト云フモノト、平和ト云フモノハ兩立スベキモノデ

アル、國際的主義ノ衝動及實行ナクシテ、眞ノ平和ト云フ

コトハ出來ナイ、故ニ此點ニ於テハ十分ナル所ノ吾ヒハ覺悟ヲ以テ、反對ノシナケレバナラヌ、詰リ諸君モ御存ジノ通

リ、「デモクラシー」ト國際主義ト云フモノガ段々起テ來

ル、又國際主義ニ於テモ、或ハ「インターナショナリズム」イン

ダラルナシヨナリズム」ト色ニ形式ニ於テ段々進ンデ、博愛

主義ガ盛ニ進ンデ來ルニ違ヒナイ、併ナガラ今日ハ亞米利

加及英國ガ斯ノ如キ態度ヲ執ルト云フコトハ、私ハ非

常ニイケナイト思フ、獨逸ノ哲學者「デンメル」方言ハレタエ

ボリューション」ハ、唯人文ノ進ムノミガ進化デハナクシテ、色

色ノ條件ヲ具備シテ、此條件ヲ綜合シテ進ムト云フコトガ

進化ノ大原則デナケレバナラヌ、然ルニ唯空漠ナル所ノ世辭

ヲ貰テ來タ日本ガ餘リニ頭ガ頑ナナカタト云フコトヲ

メラレタノヲ以テ、日本ノ外交ト云フモノハ、行詔テ居ル

ト云フコトヲ言ハレルト云フコトハ、私ハ非常ニ大ナル誤リ

デハナイカト思フノアリマス、彼ノ「バーネル」ガ言ハレテ居

ル、諸君此所ヘ進メ、併ナカラソレ以上ハ進ムコト勿レト云

フコトハ、誰が明言スルコトガ出來ルカ、今米國ヤ英國ガ此

所迄進メ三迄ハ宜イガ、四迄ハ惡イカ、此要塞ハ取ラナク

出来マセウカ、諸君ガサウ云フヤウナ責任ヲ持ツト云フナラ

バ、私ハ諸君ニ良心ガ有ルカ無イカト云フコトヲ疑ハザルヲ

得ヌト云フ狀態デアリマス、私ハ思フノアリマス、今ヤ英國ガ引心的勢力、求心的勢力ノ爲ニ、今ヤ餘程熟シテ居ル寶ノヤウナモノデ、植民地ト云フモノハ彼ノ果實ノ如キ物デアレ、熱スレバ遂ニ木カラ落チル、故ニ潔洲、或ハ加奈陀ノ運命ハドウ云フモノニナルカ分ラヌ、亞米利加モサウデアリマス、何時迄其大勢力が續クカ分ラヌ、吾ヒ東洋ニ於テハ朝鮮ナリ、或ハ支那ナリ、或ハ印度ナリ、或ハ波スト希臘トハ大戰争ニナ、或ハ羅馬「カルセージ」ガ戰争ニナリ、或ハ英國ト和蘭、西班牙、佛蘭西、獨逸ト云フモノガ戰争ニナ、或ハ米國ト班牙、我が日本ト云フモノハ、何時如何ナル所ノ大ナル衝突ヲ起

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス  
（「賛成」聲起ル）

○議長（奥繁三郎君） 討論終結ノ動議ガ出マシタ、成規ノ賛成ガアルト認メマス

○議長（奥繁三郎君） 通告ハアリマスガ、今動議ガ出テ賛成ガアルト認メマス

サヌトモ限ラヌノアリマス、吾ヒハ此大衝突ヲ避ケンガ爲ニ、議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

此會議ニ列席シテ居ルノデハナイカ、唯ダ單ニ豫算ガ數億万圓減ルト言テ、此會議ニ臨ンデ居ルノデハナイ、此大ナル衝突ヲ避ケテ、世界ノ平和ヲ招來センガ爲ニ、之ヲヤテ居ル

ノデハナイカ、諸君ガ治水費教育費ヲ言フモノモ結構デアル、結構デハアリマスケレドモ、ソレガ十分ニ吾ヒガ唯ダソレノミ

ニ著目スルノデハナ、國家ノ安危興亡ト云フモノガ、大ニ吾ヒノ雙肩ニ繋テ居ルト云フコトヲ知ラケレバナラヌ、故ニ吾ヒハ今回華盛頓ニ於ケル所ノ會議ハ、平和ノ戰爭ト見ルノアリマス（デュットランド）ア戦争ヨリモ大ナル所ノ戰争

が行ハレテ居ル、日本ハ海軍ヲ下ゲル、要塞ヲ斯ノ如クスル、サウシテ英國及米國ハ五ナラ五ト云フモノヲ持ツト云フヤウナ、大ナル紙ノ上ノ戰爭ガ行ハレテ居ル、是ガ條約ニ規定サレテモ、吾ヒガ遵奉シナケレバナラヌ、詰リ惡ク言ヘ日本ガ大ナル

海軍ノ敗戦ヲシタモノト思フノアリマス、故ニ吾ヒハ大ニ我ガ日本ノ前途ハ如何ニナルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、然ラバオ前ハ軍國主義アルカト云フト、サウデハナイ、吾ヒハ平和ヲ招來シタイト云フ熱心ナル希望ヲ持テ居ル、

人類ノ罪惡ハ即チ戰爭アルト云フコトヲ知テ居ル、併ナガラ歴史ヲ見レバ、悉ク戰爭アルガ、吾ヒノ理想ハ平和ニ在ルト云フコトヲ知テ居ル、海牙會議ノ開設以來未ダ十分ナル諒解ナキニ、今回ハ幾分ノ芽ヲ出シタモノアルト云フノハ喜バシイ事デアリマスケレドモ、吾ヒハ其間ニ亞米利加ヤ英吉利ノ「エゴイズム」ガ色ニ其間ニ吾ヒノ發達ヲ阻礙スルヤウナ點ガアルカ、ソレニ向テハ大ナル反省ヲ請ハナクテハナラヌトカ、此要塞ハ取テハナラヌトカ、或ハ何ハ斯ウシテハイカヌトカ、マルデ吾ヒ「デクテート」サレテ居ル、是デ三大國五大國アルト云フコトヲ吾ヒガドウシテ考ヘルコトガ所迄進メ三迄ハ宜イガ、四迄ハ惡イカ、此要塞ハ取ラナクテハナラヌトカ此要塞ハ取テハナラヌトカ、或ハ何ハ斯ウシテハイカヌトカ、マルデ吾ヒ「デクテート」サレテ居ル、是デ三大國五大國アルト云フコトヲ吾ヒガドウシテ考ヘルコトガ所迄進メ三迄ハ宜イガ、四迄ハ惡イカ、此要塞ハ取ラナク

レバナラヌトカ此要塞ハ取テハナラヌトカ、或ハ何ハ斯ウシテハイカヌトカ、マルデ吾ヒ「デクテート」サレテ居ル、是デ三大國五大國アルト云フコトヲ吾ヒガドウシテ考ヘルコトガ所迄進メ三迄ハ宜イガ、四迄ハ惡イカ、此要塞ハ取ラナク

○議長（奥繁三郎君） 起立少數——仍テ此決議案ハ否決サレマシタ——日程第二十二乃至第四十六ハ請願特別報告アリマスカラ、例ニ依テ一括シテ議題ニ供シタイト出ノ決議案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

（賛成者起立）  
〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長（奥繁三郎君） 異議ナシト認メマス、仍テ日程第二十二乃至第四十六ハ一括シテ議題ニ供シタイト思ヒマス、御異議アリマセカラ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長（奥繁三郎君） 異議ナシト認メマス、仍テ日程第二十二乃至第四十六ハ一括シテ議題ニ供シタイト

（委員長報告）  
〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

第三十二 (特別報告第十四號) 鴛泊漁港  
修築ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第十六號) 鍼灸灸術  
醫師法制定ノ請願

(委員長報告)

(委員長報告)

第三十四 (特別報告第十七號) 軍人恩給  
扶助料增加ノ請願外八件

(委員長報告)

第三十五 (特別報告第十八號) 大保村  
郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第三十六 (特別報告第十九號) 沼江郵便  
局集配事務開始ノ請願

(委員長報告)

第三十七 (特別報告第二十號) 洞戸郵便  
局電信、電話架設ノ請願

(委員長報告)

第三十八 (特別報告第二十一號) 宇久島  
平戸島間海底電線敷設ノ請願

(委員長報告)

第三十九 (特別報告第二十二號) 黒木村  
無集配郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十 (特別報告第二十三號) 池田村  
登記所新設ノ請願

(委員長報告)

第四十一 (特別報告第二十四號) 田名部  
町區裁判所設置ノ請願

(委員長報告)

第四十二 (特別報告第二十五號) 羽田村  
水澤區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第四十三 (特別報告第二十六號) 和寒村  
二名寄區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第四十四 (特別報告第三十號) 鐵道敷設  
法確定並鐵道既定線ノ敷設速成ノ請願

(委員長報告)

第四十五 (特別報告第三十一號) 白濱北  
條間鐵道敷設速成ノ請願

(委員長報告)

第四十六 (特別報告第二十二號) 田島、  
古町間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

(委員長報告)

特別報告第一號  
意見書

特別報告第二號  
意見書

請願文書表第三號  
意見書

城内郵便局三電信、電話事務開始ノ請願  
君

内村平民農南雲浩一外十九名呈出 (紹介議員青木恆太郎)

新潟縣南魚沼郡城

右請願ノ要旨ハ新潟縣南魚沼郡城内村ニハ大正十年五月三等郵

便局設置セラレタリト雖未タ電信、電話事務ノ取扱ナキ爲徒ニ

村民ノ商機ヲ失シ事業ノ經營等日常生活上ニ支障ヲ生スルコト

訟カラス依テ城内郵便局ニ電信、電話事務ノ採擇スヘキモノト議決

謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二號  
意見書

請願文書表第三號  
意見書

五日町郵便局三電話事務開始ノ請願  
新潟縣南魚沼郡大卷

村大字五日町七十二番戸農西野彌五郎外二十八名呈出

(紹介議員吉木恆太郎君)

右請願ノ要旨ハ新潟縣南魚沼郡五日町ハ大正十二年一月竣工ス

ヘキ上越鐵道開通ノ曉ニハ郡内百貨ノ集散地トシテ殷盛ヲ來ス

ヘキハ言ヲ俟タス依テ前記五日町郵便局ニ大正十一年度ヨリ電

話事務ヲ開始セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三號  
意見書

請願文書表第七號  
意見書

神邊三福山區裁判所出張所設置ノ請願  
廣島縣深安郡川北

村長黒瀬鶴松外一名呈出 (紹介議員井上角五郎君)

右請願ノ要旨ハ廣島縣深安郡中條村福山區裁判所出張所ノ管轄

區域ハ廣島縣深安郡中條村福山區裁判所出張所ノ管轄區域

右請願ノ要旨ハ阿土沿岸ニ至テハ鐵道ノ敷設ナク海運亦完カラサルカ爲

運輸ノ發展ヲ阻害スルコト多大ナリ依テ速ニ四國循環鐵道中阿

土海岸線トシテ德島縣勝浦郡小松町ヨリ同縣那賀郡羽之浦

町、海部郡日和佐町、牟岐町、高知縣安藝町ヲ經テ同縣長岡郡後免

町ニ至ル鐵道ヲ敷設シ以テ地方産業ノ開發ニ資セラレタシト謂

フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

右請願ノ要旨ハ政府ハ大正十一年度ヨリ三次、江津間鐵道敷設工事ニ著手セラルニ當リトト特殊ノ聯絡ヲ保ツ前記三次、江津間豫定線中瀧原ヨリ分歧シ大森町ヲ經テ山陰線大田驛ニ達スル鐵道ヲ速ニ敷設セムカ爲該工事費ノ豫算ヲ明示シ其ノ工事年度割ヲ定メラレタント謂フニ在リ  
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八號  
意見書

請願文書表第四號  
意見書

小松島町後免町間(阿上海岸線)鐵道敷設速成ノ請願  
同上  
縣那賀郡新野町長森新三外三名呈出 (紹介議員淺石思八君外三名)

第五號  
請願文書表第五號  
意見書

同上  
德島縣海部郡下木頭、中木頭村組合村長宮本則太郎  
外二名呈出 (紹介議員原田佐之治君外三名)

第六號  
請願文書表第六號  
意見書

同上  
德島縣那賀郡今津村長齊伊久太外五名呈出 (紹介議員淺石思八君外三名)

第七號  
請願文書表第七號  
意見書

同上  
原田佐之治君外三名

第八號  
請願文書表第八號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第九號  
請願文書表第九號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十號  
請願文書表第十號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十一號  
請願文書表第十一號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十二號  
請願文書表第十二號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十三號  
請願文書表第十三號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十四號  
請願文書表第十四號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十五號  
請願文書表第十五號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十六號  
請願文書表第十六號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十七號  
請願文書表第十七號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

第十八號  
請願文書表第十八號  
意見書

同上  
員原田佐之治君外三名

町八ノ六十三番地熊谷三左衛門君外二十二名呈出 (紹介議員平田民之助君)  
同 第二號

第三十二 (特別報告第十四號) 鴛泊漁港  
修築ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第十六號) 鍼灸灸術  
醫師法制定ノ請願

第三十四 (特別報告第十七號) 軍人恩給  
扶助料增加ノ請願外八件

第三十五 (特別報告第十八號) 大保村  
郵便局設置ノ請願

第三十六 (特別報告第十九號) 沼江郵便  
局集配事務開始ノ請願

第三十七 (特別報告第二十號) 洞戸郵便  
局電信、電話架設ノ請願

第三十八 (特別報告第二十一號) 宇久島  
平戸島間海底電線敷設ノ請願

第三十九 (特別報告第二十二號) 黒木村  
無集配郵便局設置ノ請願

第四十 (特別報告第二十三號) 池田村  
登記所新設ノ請願

第四十一 (特別報告第二十四號) 田名部  
町區裁判所設置ノ請願

第四十二 (特別報告第二十五號) 羽田村  
水澤區裁判所出張所設置ノ請願

第四十三 (特別報告第二十六號) 和寒村  
二名寄區裁判所出張所設置ノ請願

第四十四 (特別報告第三十號) 鐵道敷設  
法確定並鐵道既定線ノ敷設速成ノ請願

第四十五 (特別報告第三十一號) 白濱北  
條間鐵道敷設速成ノ請願

右請願ノ要旨ハ佐賀縣藤津郡鹽田地方へ生産物豊富ナルニ拘ラス未夕交通機關ノ便ヲ缺ク爲其ノ發展比較的の遅キハ該地方民ノ甚其遺憾トスルトコロナリ依テ之カ產業開發ニ資セムカ爲彼柱

設セラレタシト謂フニ在リ 駢ヨリ分歧シテ嬉野、鹽田ヲ經由シ武雄驛附近ニ至ル鐵道ヲ敷

設セラレタシト謂フニ在リ 衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十號  
意見書

請願文書表第四號  
酒田町、觀音寺村間輕便鐵道敷設速成ノ請願 山形縣飽海

郡日向村長兵藤喜哉外七名呈出(紹介議員熊谷直太君)

右請願ノ要旨ハ山形縣飽海郡酒田町ヨリ同郡觀音寺村ニ達スヘキ輕便鐵道敷設ノ件ハ第四十二回及第四十四回議會ニ於テ既ニ採擇セラレタルモノナルヲ以テ地方ノ開發上一日モ忽諸ニ附ス

手セラレタシト謂フニ在リ 舉業院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十一號  
意見書

請願文書表第七號  
元寇殉難將士ノ祀靈並史蹟保存ノ請願 長崎縣北松浦郡鷹

島村二百四十九番地士族農吉永綠外三名呈出(紹介議員中食方次郎君)

右請願ノ要旨ハ我國空前ノ一大國難タリシ元寇ノ役ニ於ケル殉難將士及功勞者ノ偉靈ヲ祭祀セシテ空シ地下ニ眠ラシメ

其史蹟保存ニ就テモ何等ノ方法ヲ講セサルハ現今思想界ノ狀況ニ鑑ミ甚々遺憾トスルトコロナリ依テ元寇殉難將士ノ靈ヲ祀リ

同時ニ其ノ史蹟ヲ永遠ニ保存セムカ爲長崎縣北松浦郡鷹島村ニ

相當ノ施設アリタシト謂フニ在リ 舉業院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十二號  
意見書

請願文書表第八號  
青年局急設ノ請願 朝鮮京城府本町四丁目八十九番地平民

鑑葉許斐謙造呈出(紹介議員井上角五郎君)

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

爲青年局ヲ急設シ以テ青年指導ノ機關ヲ完備セラレタシト謂フニ在リ

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十三號  
意見書

請願文書表第九號  
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

爲青年局ヲ急設シ以テ青年指導ノ機關ヲ完備セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第十四號  
意見書

請願文書表第十號  
軍人恩給並扶助料增加ノ請願 東京市麻布區谷町五十九番

地退役陸軍歩兵少佐中村中郎外五十名呈出(紹介議員近藤達見君外一名)

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

爲青年局ヲ急設シ以テ青年指導ノ機關ヲ完備セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第十五號  
意見書

請願文書表第十六號  
軍人恩給並扶助料增加ノ請願 東京市麻布區谷町五十九番

地退役陸軍歩兵少佐中村中郎外五十名呈出(紹介議員近藤達見君外一名)

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

請願文書表第七四號  
意見書

富士山ヲ國立大公園ト爲スノ請願 靜岡縣山林會長道岡秀彦呈出(紹介議員石井研二君外一名)

右請願ノ要旨ハ富士山ハ我國ノ代名詞トシテ廣く世界ニ知悉セラレ且其ノ莊嚴ナル風姿ハ内外人ノ均シク懼仰スルトコロニシテ山麓一帶ト共ニ一大天然公園ヲ形成セルヲ以テ之ニ相當ノ施設ヲ加ヘ以テ國立大公園トセラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十四號  
意見書

請願文書表第六八號  
鶴泊漁港修築ノ請願 北海道利尻郡鶴泊村字鶴泊村平民漁業西野與市郎外二百四十九名呈出(紹介議員東武君外七名)

右請願ノ要旨ハ北海道利尻郡鶴泊村字鶴泊灣ハ鮫漁ヲ以テ著名

ナル天然ノ港灣ナリト雖東風強烈ナルトキハ船舶ノ定繫困難ナ

ルヲ以テ屢不慮ノ慘害ヲ受クルコトアリ依テ速ニ鶴泊漁港ヲ修

築セラレタシト謂フニ在リ 衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十六號  
意見書

請願文書表第六四號  
鈍術灸術醫法制定ニ關スル請願 大阪市南區難波新地五番町四十番地平民大日本鍼灸師會長藤林高吉外千五百五名

右請願ノ要旨ハ人體保護ノ安全期シ我國獨特ノ理學的醫術ノ進歩圖ル爲私案ノ如キ鍼術灸術醫法ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十七號  
意見書

請願文書表第二六號  
軍人恩給並扶助料增加ノ請願 東京市麻布區谷町五十九番

地退役陸軍歩兵少佐中村中郎外五十名呈出(紹介議員近藤達見君外一名)

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

爲青年局ヲ急設シ以テ青年指導ノ機關ヲ完備セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第十八號  
意見書

請願文書表第二六號  
軍人恩給並扶助料增加ノ請願 東京市麻布區谷町五十九番

地退役陸軍歩兵少佐中村中郎外五十名呈出(紹介議員近藤達見君外一名)

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

爲青年局ヲ急設シ以テ青年指導ノ機關ヲ完備セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第十九號  
意見書

請願文書表第九號  
沼江郵便局ニ集配事務開始ノ請願 德島縣勝浦郡生比奈村

長良良理平外一名呈出(紹介議員原田佐之治君外二名)

陸軍憲兵中佐藤答淺吉外二十三名呈出(紹介議員高木正年君外一名)

請願文書表第七四號  
意見書

田英一外九十五名呈出(紹介議員副島義一君)

同 第九〇號  
第九一號

同上 佐賀市赤杉町百二十六番地士族無職陸軍步兵少佐坂

將河村秀一外二百八十五名呈出(紹介議員小山松壽君)

同 第九二號  
第九三號

同上 東京府豐多摩郡濱谷町大字下濱谷千百十四番地平民無職陸軍少將

同上 京都市上京區下鴨膳部町百四番地平民無職陸軍少將

同上 千葉縣安房郡北條町字八幡三百八十番地士族無職

軍少將久米猪一外六十七名呈出(紹介議員竹澤太一君)

同 第九四號  
第九五號

同上 千葉縣安房郡北條町字八幡三百八十番地士族無職

軍少將久米猪一外六十七名呈出(紹介議員竹澤純義君)

同 第九五號  
第九六號

同上 沖繩縣那霸區高崎町陸軍步兵中尉大見謝恒亨外四十

一名呈出(紹介議員高崎義君)

右請願ノ要旨ハ現行軍人恩給法第九條ニ依ル增加恩給ハ大正九年法律第十號ヲ以テ改正増額セラレタリト雖是等軍人ノ生計ハ

今尚安定ヲ保持シ難シ依テ國民最高ノ義務ヲ果セル犠牲者ヲ遇スルノ一端トシテ更ニ軍人恩給法ヲ改正シ増額給與セラレタリ

ト謂フニ在リ 衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十八號  
意見書

請願文書表第三號  
大俱村ニ郵便局設置ノ請願 德島縣阿波郡大俱村大字上喜

來庄二又子七百三十六番地商松水製治郎外六名呈出(紹介議員原田佐之治君外二名)

右請願ノ要旨ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決

セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十九號  
意見書

請願文書表第二六號  
軍人恩給並扶助料增加ノ請願 東京市麻布區谷町五十九番

地退役陸軍歩兵少佐中村中郎外五十名呈出(紹介議員近藤達見君外一名)

右請願ノ要旨ハ政府ハ社會風教ヲ維持シ國運ノ隆昌ヲ圖ラムカ

爲青年局ヲ急設シ以テ青年指導ノ機關ヲ完備セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二〇號  
意見書

請願文書表第九號  
沼江郵便局ニ集配事務開始ノ請願 德島縣勝浦郡生比奈村

長良良理平外二名呈出(紹介議員原田佐之治君外二名)



シタモノガ一件、之ヲ差引キマシテ只今審査中ノモノガ三百七十八件デアリマス、之ヲ御諒承ヲ願ヒマス、只今一括

シテ上程サレマシタ、日程第一十二ヨリ第四十六マデノ諸案ニ付キマシテハ、各紹介議員諸君ノ極テ熱誠ナル御說明

ト政府當局ノ説明並ニ必要アル場合ニハ意見モ聽キマシテ、最モ丁寧深切ニ審議調査ヲ致シマシタ、其結果採擇スペキ理由アル請願ト認ノマシテ、此日程ノ分ハ全部採擇致シタ

モノニアリマス、其理由ノ詳細ハ御手許ニ配付ニナシテ居リマス、速記録ニ就テ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、願ハクバ本

會ニ於テモ満場一致御採擇アランコトヲ希望致シマス

○鈴木錠藏君 日程第一十二以下ノ請願特別報告ハ之ヲ一括シテ請願委員長報告通り採擇アランコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 「賛成」(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナイト認メマス、仍テ日程第二十二乃至第四十六ノ請願ハ全部委員長報告通り採擇スルコトニ決シマシタ――詰問事項ガアリマス、第四部選出議算委員磯貝浩君ヨリ常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ了セラレテ届出アランコトヲ望ミマス――本日ハ是デ散會

午後六時三十六分散會

衆議院議事速記録第十一號中正誤

頁 段 行 誤 正

一五五 下 下 段 行 誤 正

一五五 下 一 西村丹治郎君 削ル

一五五 一 二 高柳覺太郎君前川虎造君 削ル

一五五 一 七 板野友造君 削ル

一五五 一 八 西村丹治郎君 削ル

一五五 一 九 高柳覺太郎君前川虎造君 削ル

一五六 上段第二〇行ノ次ニ左記ヲ加フ

一去三日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ  
(第一號)大正十一年度歲入歳出總預算追加案

衆議院議事速記録第十二號中正誤

頁 段 行 誤 正

一二 上 二九 制度廢止 動機

一二 上 三二 養生 動議

頁	段	行	誤	正
二五一	中	二九	動機	動議